

札幌市の出生率に係る意識調査  
報 告 書

平成 29 年 1 月

札 幌 市



# 目次

調査の概要.....	1
<b>I. アンケート調査</b>	
<b>1. 調査の概要</b> .....	2
<b>2. 調査結果</b>	
(1) 回答者の属性.....	3
(2) 属性間のクロス集計 .....	8
(3) 恋人との交際について .....	10
(4) 結婚観について .....	19
(5) 結婚と仕事について .....	29
(6) 未婚者の結婚観について.....	31
(7) 子どもや育児について .....	38
(8) 理想とする結婚後の仕事や育児について .....	45
<b>II. グループヒアリング調査</b>	
<b>1. 調査の概要</b> .....	51
<b>2. 調査風景</b> .....	52
<b>3. 調査結果</b>	
(1) グループヒアリング調査参加者の属性.....	53
(2) グループヒアリングの回答 .....	54
<b>III. 総括</b> .....	104
<b>IV. 資料</b>	
<b>1. アンケート調査・調査票</b> .....	107
<b>2. アンケート調査・ウェブページ、アンケートフォーム</b> .....	119
<b>3. グループヒアリング調査・説明資料</b> .....	121
<b>4. グループヒアリング・ヒアリング票</b> .....	123



# I. 調査の概要

---

## 1. 目的

平成 28 年 1 月に策定された「さっぽろ未来創生プラン」において、札幌市の合計特殊出生率が全国的にみて低位にある要因として、「高い未婚率」と「夫婦間の出産数の少なさ」と捉えている。

これらの要因について、20 歳代、30 歳代の若い世代が、結婚や子どもを持つことについてどのような意識を持っているかをアンケートやグループヒアリングにより、定量・定性の両面から調査し、さらに平成 27 年 3 月に内閣府が公表した「結婚・家族形成に関する意識調査」の「全国数値」との比較を行って、未来創生プランに掲げた施策を推進するための基礎資料とするために実施した。

## 2. アンケート調査

札幌市住民基本台帳より無作為に抽出した市内在住の 20 歳～39 歳の男女 5,000 名に対し、調査票の郵送発送、郵送回収・ウェブフォーム回答併用式にてアンケート調査を行った。調査期間は平成 28 年 6 月 3 日（金）〔調査票発送日〕～6 月 17 日（金）〔調査票回収締切日〕、回収数は 1,194、回収率 23.9%であった。

## 3. グループヒアリング調査

アンケート調査票の「グループヒアリング調査へのご参加のお願い」に対し参加の意思を示して下さった方の中から男性 15 名、女性 35 名のご参加により、平成 28 年 9 月 3 日（土）、9 月 17 日（土）の 2 回に分けて実施した。

## 4. 調査実施機関

本調査は、札幌市が株式会社ノーザンクロスに委託し、平成 28 年度に実施したものである。

# I. アンケート調査

## 1. 調査の概要

### (1) 対象者・発送数

札幌市住民基本台帳から無作為に抽出した 20 歳～39 歳の男女。内訳は下記の通り。

		男性	女性
年齢	20 歳～29 歳まで	1,250 人	1,250 人
	30 歳～39 歳まで	1,250 人	1,250 人

### (2) 調査期間

平成 28 年 6 月 3 日（金）〔調査票発送日〕～6 月 17 日（金）〔調査票回収締切日〕

### (3) 調査方法

■発送方法：調査票の郵送

■回収方法：①返信用封筒による調査票の郵送回収

②インターネットに設置したアンケートウェブフォームへの回答

③メールによる回収（インターネットに入力用の Microsoft Word 形式の調査票を掲載したウェブページを設置）

※②③のために調査票や調査票配布用封筒にウェブページの URL を表記するとともに、スマートフォンなどからアクセスするための QR コードを記載した。

### (4) 回収数（率）

1,194（23.9%）

#### 図表の凡例・注記

◎<SA> …シングルアンサー（単一回答）      ◎<MA> …マルチアンサー（複数回答）

◎<IN> …数値記述回答                              ◎N…サンプルサイズ

※各図表で示すサンプルサイズ「N」は、注記のない限り、非該当者（その設問に答える必要のない方）を除いた数であるため、回収数以下になる。

※「無回答」は、未回答（未記入）などで回答内容が不明であることを示す。

※マルチアンサー設問<MA>では、表記の割合の合計は 100%を超える。

※シングルアンサー設問<SA>に関しても、表記の割合は選択肢ごとに小数点第二位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合がある。

## 2. 調査結果

### (1) 回答者の属性

◎下線で示したものは「(2) 属性間のクロス集計」以降で行っているクロス集計の集計軸(区分)として用いたものである。

◎特に1) 性別、2) 年齢、6) 結婚の有無、7) 子どもの人数については「(3) 恋人との交際について」以降すべての設問について掲載している。

◎8) 雇用形態、9) 自身の昨年の年収額については、差が顕著なクロス集計結果を掲載した。

◎4) 出身地については「(2) 属性間のクロス集計」で、婚姻状況とのクロス集計を行っている。

#### 1) 性別

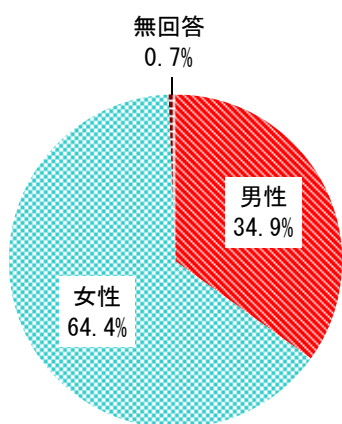
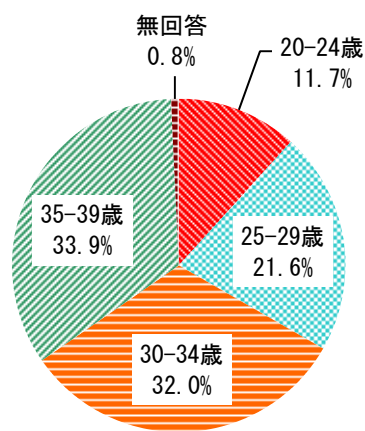


図 1-1 性別〈SA〉(N=1,194)

#### 2) 年齢



集計軸として「20代」「30代」に区分

図 1-2 年齢〈SA〉(N=1,194)

#### 3) 現在の居住区

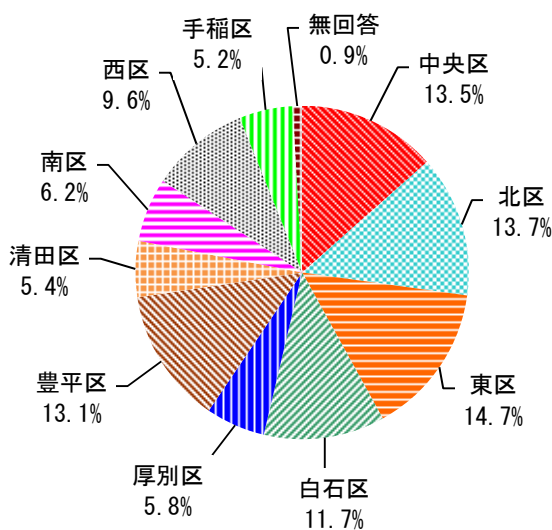
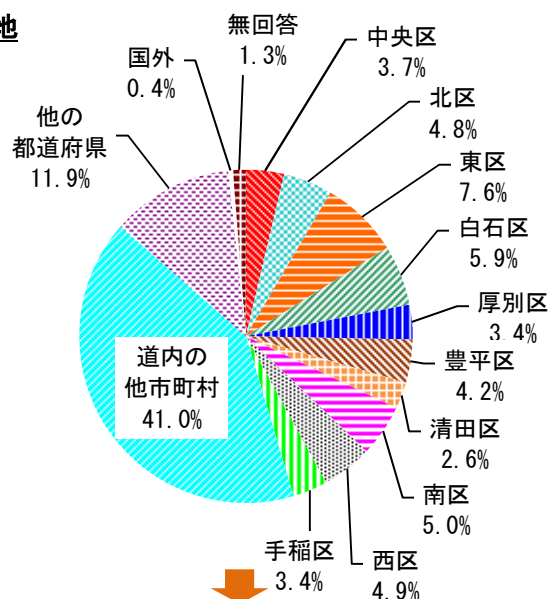


図 1-3 現在の居住区〈SA〉(N=1,194)

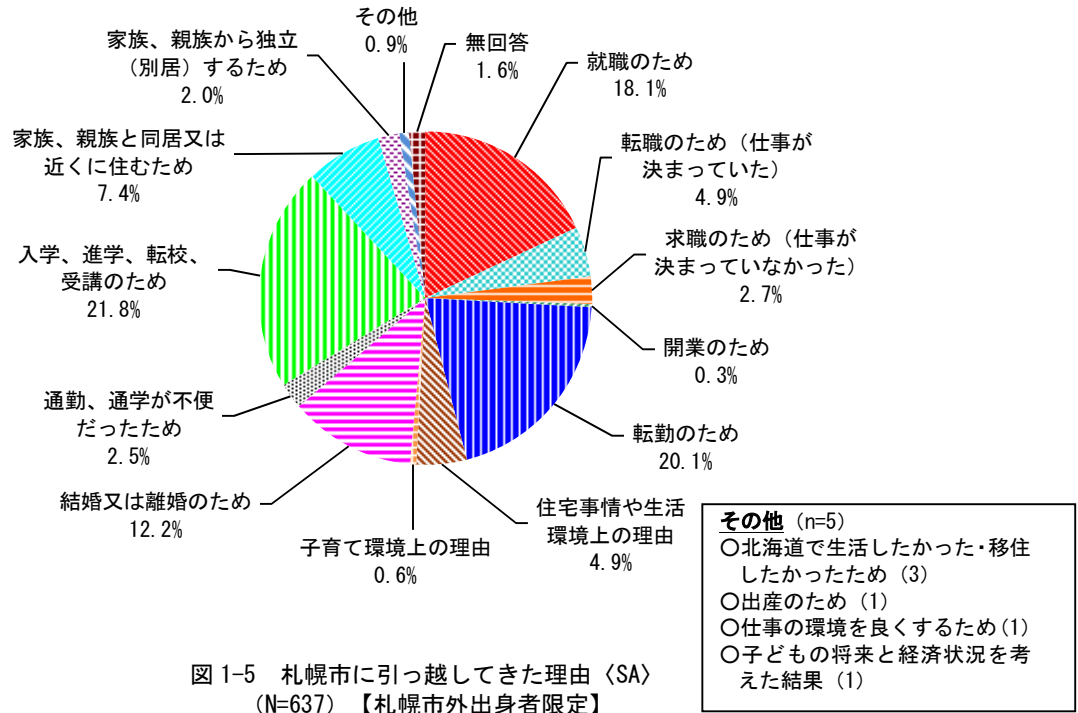
#### 4) 出身地



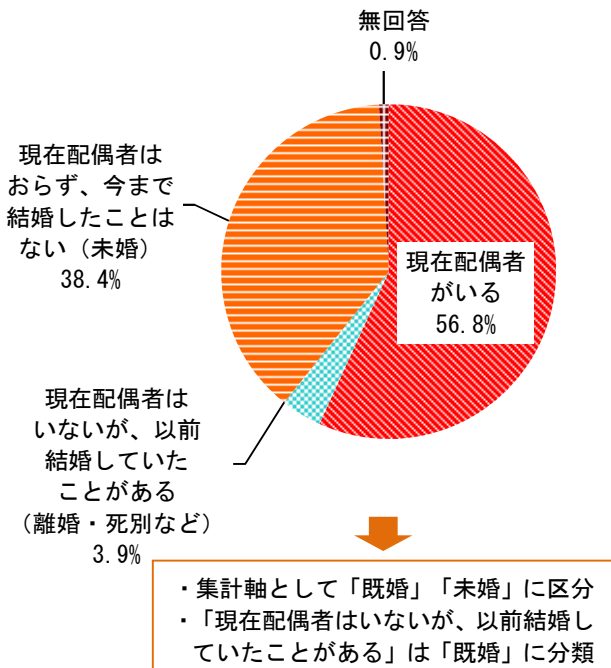
集計軸として「札幌市内」「道内の他市町村」「道外・国外」に区分

図 1-4 現在の居住区〈SA〉(N=1,194)

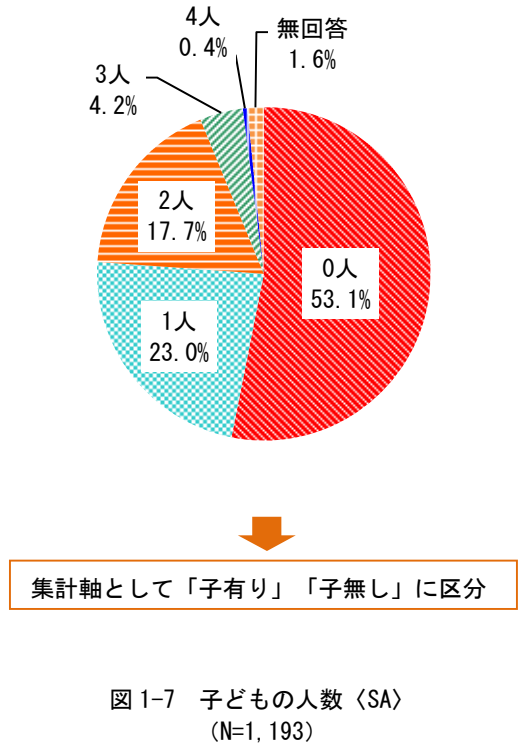
## 5) 札幌市に引っ越してきた理由



## 6) 結婚の有無

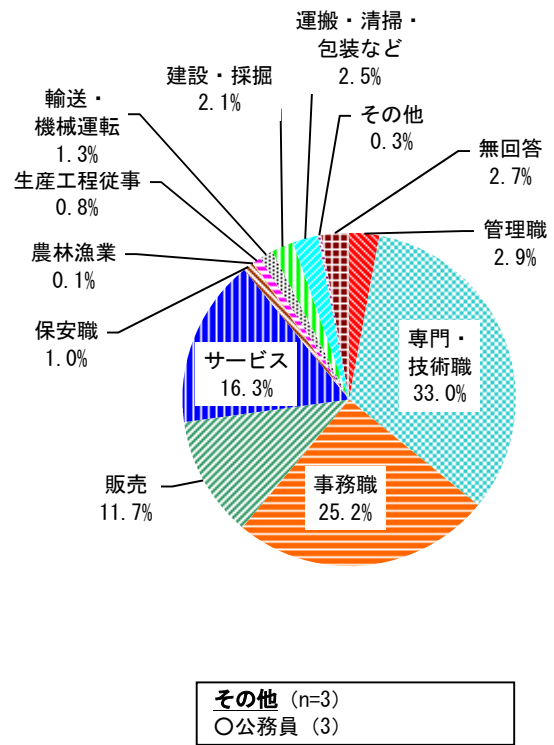
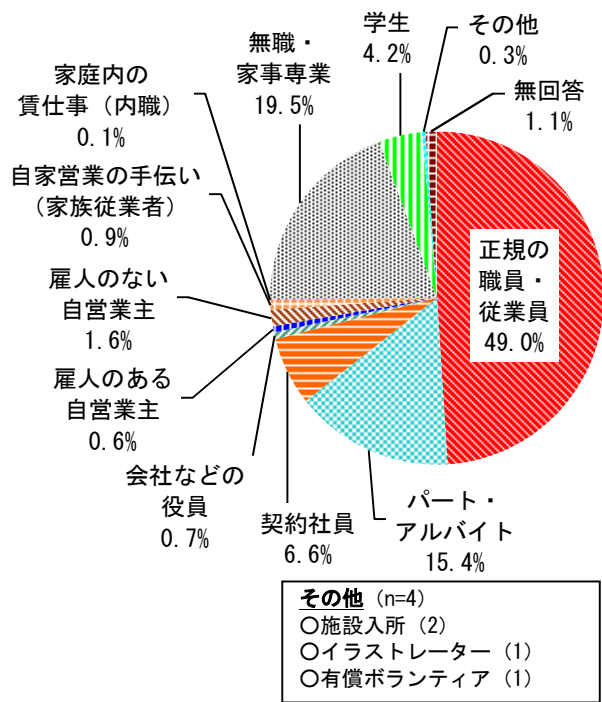


## 7) 子どもの人数





### 8) 雇用形態・職種

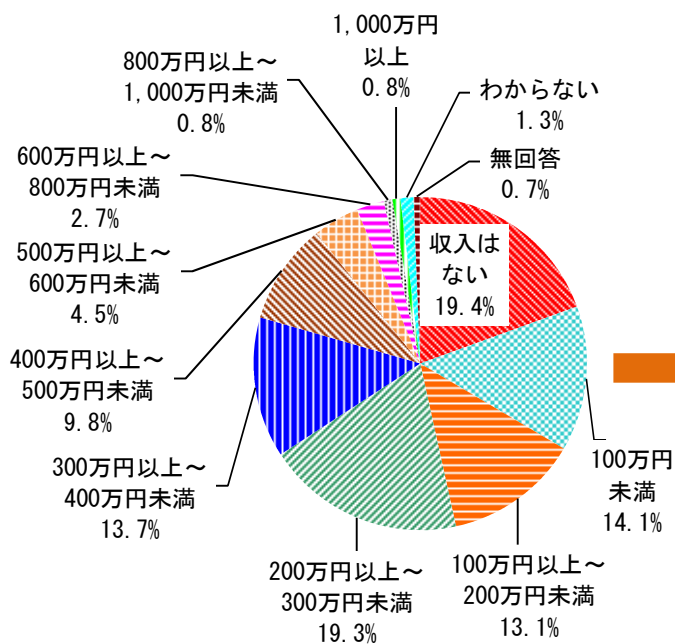


集計軸として下記のように区分  
 ・正規雇用：正規の職員・従業員  
 ・非正規雇用：パート・アルバイト、契約社員  
 ・無職（学生含む）：無職・家事専業、学生

図 1-8-1 雇用形態〈SA〉  
(N=1,194)

図 1-8-2 職種〈SA〉  
(N=894) 【有職者限定】

### 9) 自身の昨年の年収額



集計軸として性別により下記のように区分  
 ・男性は「収入はない」「400万円未満」「400万円以上」  
 ・女性は「収入はない」「200万円未満」「200万円以上」

図 1-9 自身の昨年の年収額〈SA〉  
(N=1,194)

## 10) 生活に費やす時間

表 1-10 生活に費やす時間（平均時間）〈IN〉

	平日		休日	
	N	平均時間	N	平均時間
仕事（残業、通勤往復を含む） ※有職者のみで集計	( 891)	9時間36分	—	—
家事	( 1,140)	2時間30分	( 1,077)	3時間06分
育児 ※「子どもがいる人」のみで集計	( 521)	6時間54分	( 487)	10時間12分

## 11) 自身の両親の家との距離

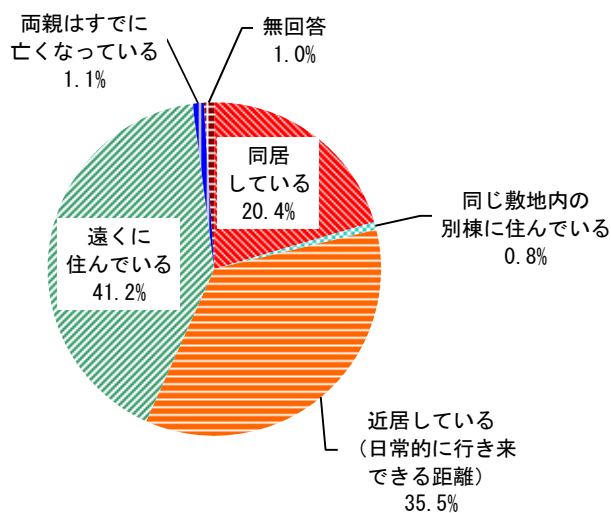


図 1-11 現在の住居と自身の両親の家との距離  
〈SA〉 (N=1,194)

## 12) 配偶者の両親の家との距離

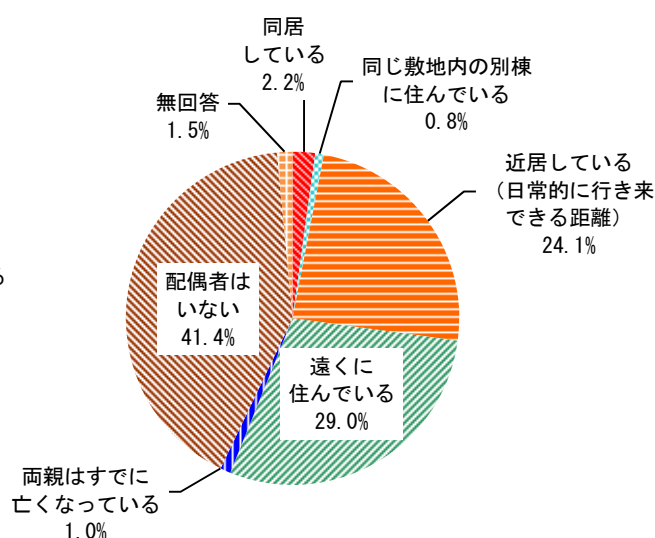


図 1-12 現在の住居と配偶者の両親の家との距離  
〈SA〉 (N=1,194)

## 13) 最終学歴

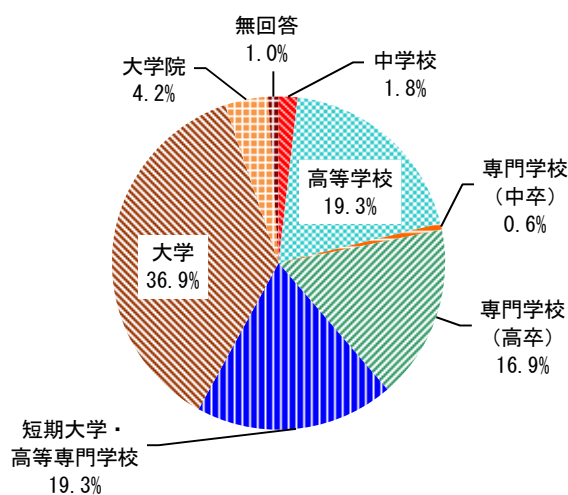


図 1-13 最終学歴 (SA)  
(N=1,194)

14) 配偶者の雇用形態・職種

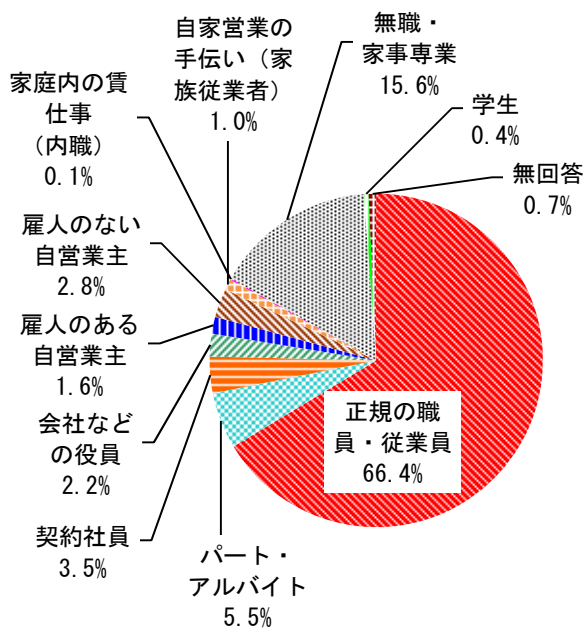


図 1-14-1 配偶者の勤務状況 <SA> (N=678)  
【現在配偶者がいる方限定】

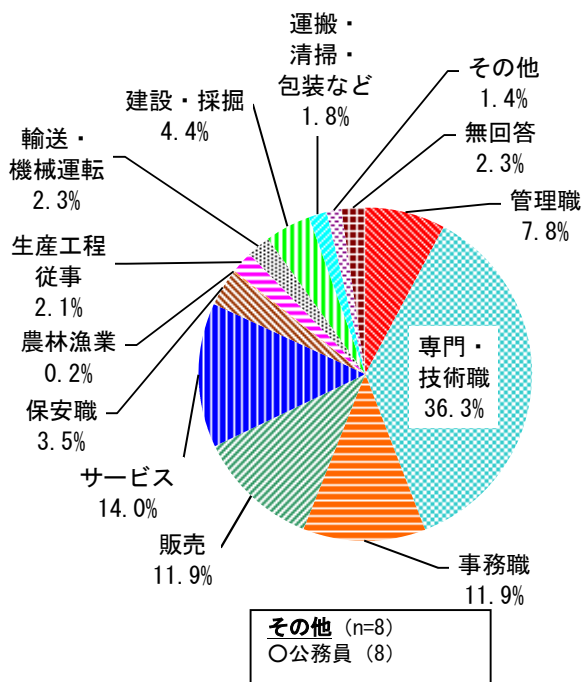


図 1-14-2 配偶者の職種 <SA> (N=564)  
【現在配偶者がいる、かつ配偶者が働いている方限定】

15) 夫婦の昨年の年収額

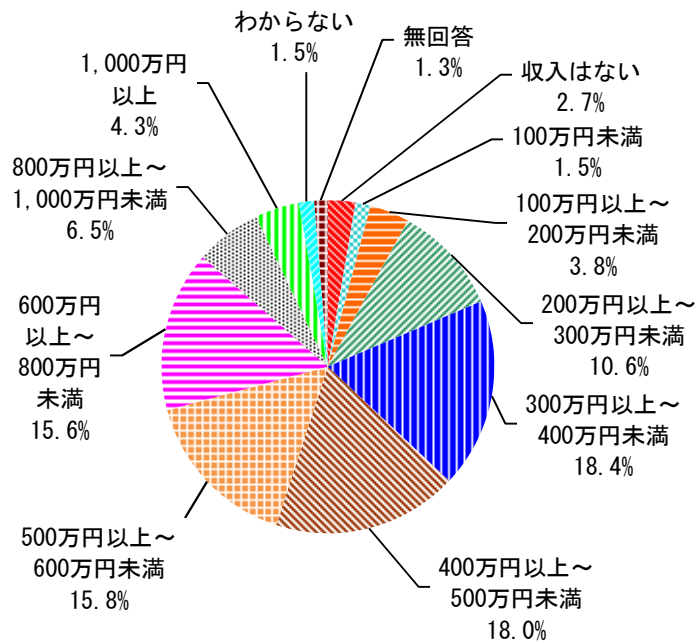


図 1-15 夫婦の昨年の年収額 <SA> (N=678)  
【現在配偶者がいる方限定】

## (2) 属性間のクロス集計

### 1) 未既婚・性年代別のサンプルサイズ

◎「(3) 恋人との交際について」以下では、主にこの区分により分析を行った。サンプルの内訳は下表の通り。

表 2-1 未既婚・性年代別のサンプルサイズ

区分	N	区分	N	区分	N	区分	N
全体	1,186	未婚 全体	458	既婚 全体	725	既婚 子有り	537
男性 全体	417	〃 男性 全体	182	〃 男性 全体	234	〃 子無し	188
女性 全体	769	〃 〃 20代	102	〃 〃 20代	33		
		〃 〃 30代	80	〃 〃 30代	201		
		〃 女性 全体	276	〃 女性 全体	491		
		〃 〃 20代	174	〃 〃 20代	89		
		〃 〃 30代	102	〃 〃 30代	401		

### 2) 婚姻状況

◎婚姻状況について、年収、雇用形態、出身地別で特に顕著な差が見られた。

◎【図 2-2-1】年収「400 万円未満」の男性の既婚者の割合が半数以下にとどまっている反面、「400 万円以上」では 8 割を超えている。なお、女性が年収が上がるほど未婚率が増えて見えるのは、既婚者ほどフルタイムの就業者が減り、パートタイムや専業主婦が増えるためである。

◎【図 2-2-2】「非正規雇用」の男性に占める既婚者の割合が約 7 割である反面、「非正規雇用」の男性で既婚者の割合は 3 割以下にとどまっている。女性については、上述した傾向があらわれている。

◎【図 2-2-3】「道内の他市町村」出身男性と、「道外・国外」出身女性の既婚率が際立って高い。

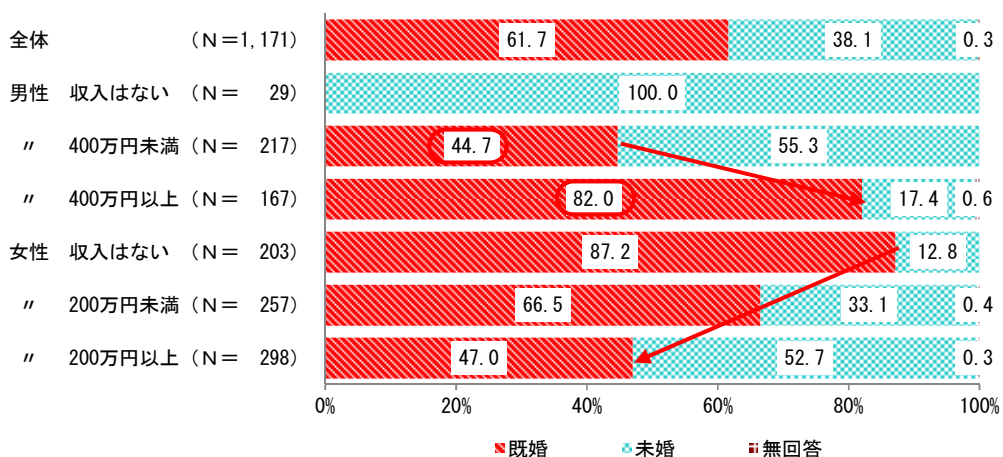


図 2-2-1 婚姻状況<SA>【性・年収別】

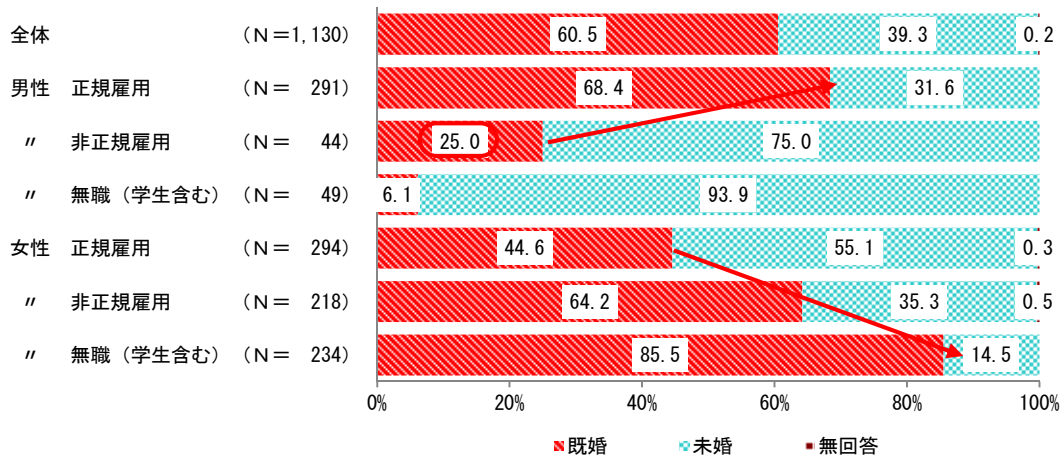


図 2-2-2 婚姻状況<SA>【性・雇用形態別】

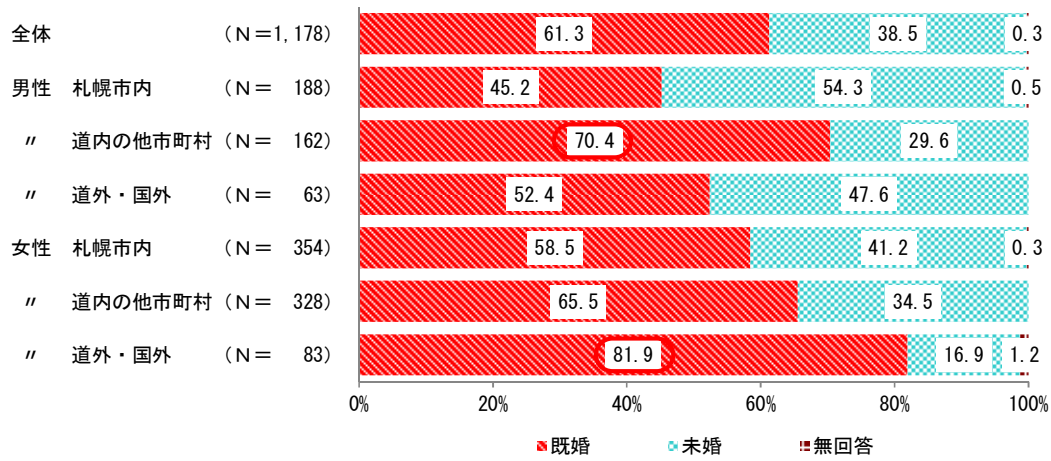


図 2-2-3 婚姻状況<SA>【性・出身地別】

### (3) 恋人との交際について

#### 1) 恋人との交際状況【未婚者を抽出】

- ◎【図 3-1-1】未婚者について、全体では約 6 割が「現在交際している恋人はいない」と回答（まだ交際経験がない）（かつてはいた）の合計）。
- ◎【〃】特に未婚男性において 7 割強が「現在交際している恋人はいない」と回答していることが注目される。
- ◎【〃】一方、未婚女性では「現在交際している恋人はいない」の回答割合は約 5 割であった。
- ◎【図 3-1-2】年収別に「恋人がいる／いた」人の率を見ると、男性の「400 万円未満」は約 7 割であった一方、「400 万円以上」では 9 割超と大きな差があった。女性についても男性ほど大きくはないが「200 万円未満」約 7 割、「200 万円以上」約 8 割と差が見られる。
- ◎【図 3-1-3】雇用形態別に「恋人がいる／いた」人の率を見ると、男性ではさらに大きな差が見られた。「非正規雇用」では約 5 割である一方で、「正規雇用」では約 8 割。女性についても同様に「非正規雇用」約 7 割、「正規雇用」8 割超となっている。

#### 【内閣府調査との比較 p.125】

- ◎【図 3-1-1】未婚全体について比較を行ったが、有意な差は見られなかった。

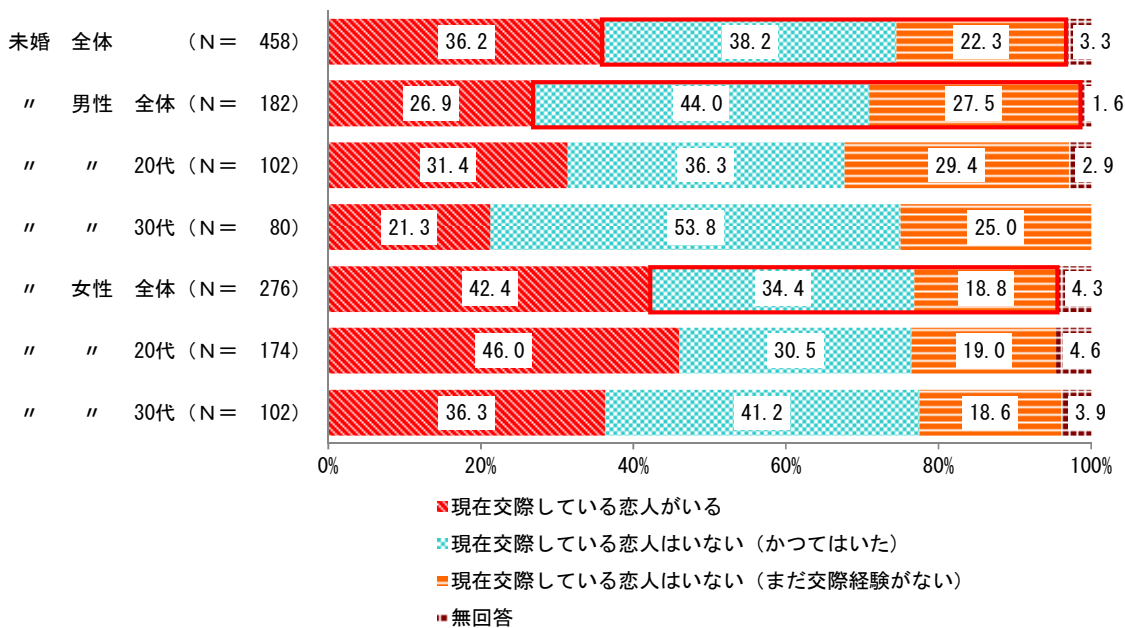


図 3-1-1 恋人との交際状態 (SA)  
【未婚を抽出、性・年代・未既婚・子有無別】



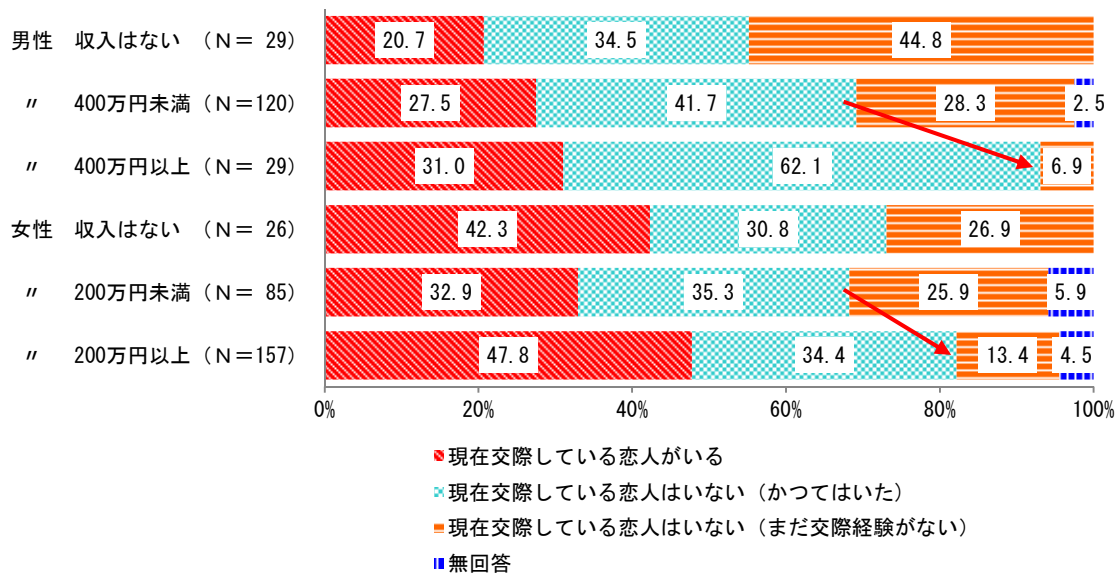


図 3-1-2 恋人との交際状態 <SA>  
【未婚を抽出、年収別】

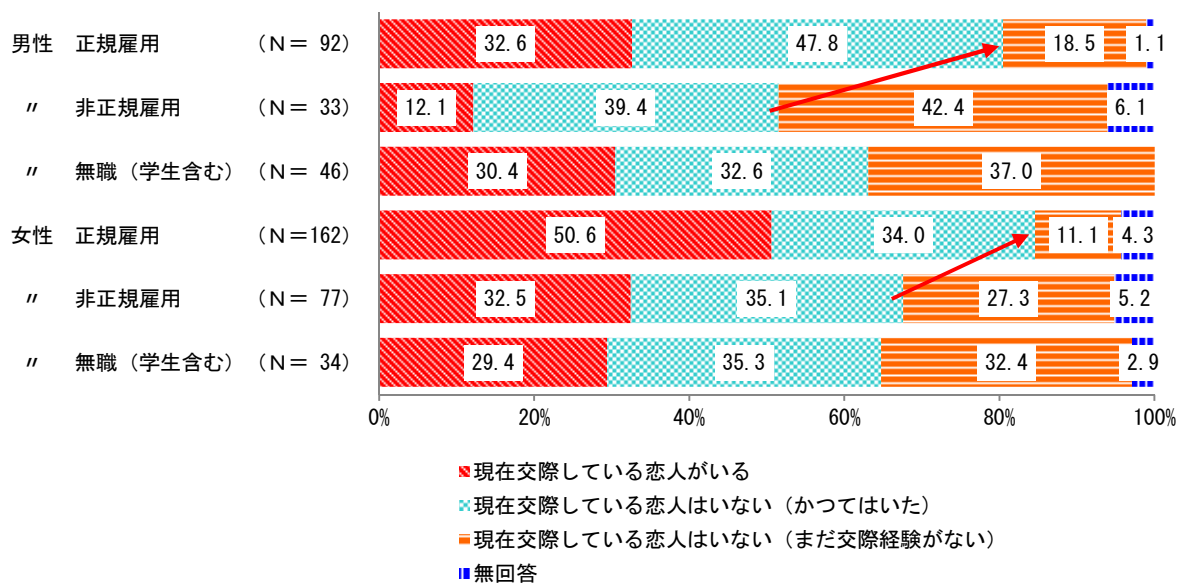


図 3-1-2 恋人との交際状態 <SA>  
【未婚を抽出、雇用形態別】

2) 配偶者、恋人と知り合ったきっかけ【既婚者／交際経験がある方限定】

- ◎全体では「職場や仕事の関係」「学校」「友人や兄弟姉妹を通じて」の順で多く挙げられている。  
また、ほとんどの区分（未既婚・性・年代別）でこれらが概ね3番めまでに挙げられている。
- ◎「合コンやパーティー」も1割弱存在するが、特に未婚男性全体で他と比較して低くなっている。

【内閣府調査との比較 p.125】

- ◎全体について比較を行ったが、有意な差は見られなかった。

表 3-2 配偶者、恋人と知り合ったきっかけ (SA) 【性・年代・未既婚・子有無別】

	N	学校	学校以外のサークルやクラブ活動・習い事	職場や仕事の関係	幼なじみ・隣人関係	地域の活動	ボランティア活動	友人や兄弟姉妹を通じて	見合い（親戚・上司の紹介も含む）	合コンやパーティー	結婚相談所	街なかや旅行先	アルバイト先	インターネット	その他	無回答
全体	( 1,061)	18.2	3.9	27.0	1.0	0.0	0.1	20.4	0.7	7.9	0.4	3.3	5.1	4.4	1.5	6.1
男性 全体	( 364)	22.8	4.1	27.5	1.1	0.0	0.0	17.9	0.8	6.3	0.0	3.3	5.2	4.1	0.5	6.3
女性 全体	( 697)	15.8	3.7	26.8	1.0	0.0	0.1	21.7	0.6	8.8	0.6	3.3	5.0	4.6	2.0	6.0
未婚 全体	( 341)	30.5	4.4	23.5	1.2	0.0	0.3	15.0	0.3	6.7	0.0	3.5	5.9	5.0	1.8	2.1
” 男性 全体	( 129)	37.2	2.3	24.0	0.8	0.0	0.0	13.2	0.0	3.1	0.0	3.1	8.5	3.9	0.8	3.1
” ” 20代	( 69)	47.8	2.9	13.0	1.4	0.0	0.0	10.1	0.0	2.9	0.0	4.3	10.1	4.3	0.0	2.9
” ” 30代	( 60)	25.0	1.7	36.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	3.3	0.0	1.7	6.7	3.3	1.7	3.3
” 女性 全体	( 212)	26.4	5.7	23.1	1.4	0.0	0.5	16.0	0.5	9.0	0.0	3.8	4.2	5.7	2.4	1.4
” ” 20代	( 133)	36.1	3.8	18.8	1.5	0.0	0.8	16.5	0.0	8.3	0.0	1.5	6.0	3.8	2.3	0.8
” ” 30代	( 79)	10.1	8.9	30.4	1.3	0.0	0.0	15.2	1.3	10.1	0.0	7.6	1.3	8.9	2.5	2.5
既婚 全体	( 719)	12.4	3.6	28.8	1.0	0.0	0.0	22.9	0.8	8.5	0.6	3.2	4.7	4.2	1.4	7.9
” 男性 全体	( 234)	15.0	5.1	29.5	1.3	0.0	0.0	20.5	1.3	8.1	0.0	3.4	3.4	4.3	0.4	7.7
” ” 20代	( 33)	33.3	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	21.2	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	3.0	0.0	12.1
” ” 30代	( 201)	11.9	4.5	31.3	1.5	0.0	0.0	20.4	1.5	9.5	0.0	3.5	4.0	4.5	0.5	7.0
” 女性 全体	( 485)	11.1	2.9	28.5	0.8	0.0	0.0	24.1	0.6	8.7	0.8	3.1	5.4	4.1	1.9	8.0
” ” 20代	( 88)	18.2	3.4	19.3	0.0	0.0	0.0	21.6	1.1	10.2	0.0	6.8	5.7	4.5	2.3	6.8
” ” 30代	( 396)	9.6	2.8	30.6	1.0	0.0	0.0	24.7	0.5	8.1	1.0	2.3	5.3	4.0	1.8	8.3
” 子有り	( 531)	13.0	2.8	28.6	0.9	0.0	0.0	24.9	0.9	7.5	0.2	3.2	5.6	3.8	0.8	7.7
” 子無し	( 188)	10.6	5.9	29.3	1.1	0.0	0.0	17.6	0.5	11.2	1.6	3.2	2.1	5.3	3.2	8.5

その他 (n=16)  
 ○飲食店などで近い席にいた (5)  
 ○行きつけのお店の客と店員として (2)  
 ○共通の趣味を通じて (2) など

1位 2位 3位



### 3) 恋人が欲しいか【まだ交際経験がない方限定】

◎全体、男性全体、女性全体とも「恋人が欲しくない」が半数を超えていた。

#### 【内閣府調査との比較 p. 22】

◎本市と内閣府調査の比較を行ったが、有意な差ではなかった（内閣府調査では「恋人が欲しくない」50.3%）。

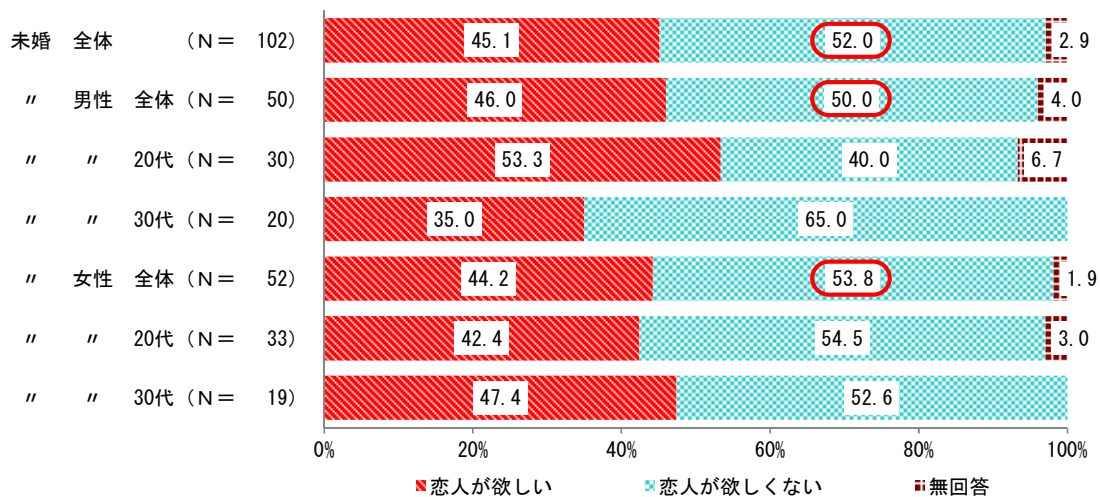


図 3-3 恋人が欲しいか〈SA〉  
【まだ交際経験がない方限定】

#### 4) 恋人が欲しいと思わない理由【未婚者、かつ現在恋人が欲しいと思わない方限定】

◎全体では「自分の趣味に力を入れたい」が最も多く、「恋愛に興味がない」「恋愛が面倒」が次ぐ結果となった。性・年代別でもほぼ同様の結果であった。

#### 【内閣府調査との比較 p. 23】

◎未婚全体について、本市の「恋愛に興味がない」の値が全国より 15.4 ポイント高い（内閣府調査 28.0%）。

表 3-4 恋人が欲しいと思わない理由〈MA〉  
【未婚者かつ現在恋人が欲しいと思わない方限定、性・年代別】

	N	仕事や勉強に力を入れたい	自分の趣味に力を入れたい	友人と過ごす時間を大切にしたい	過去に恋愛で失敗した	恋愛が面倒	恋愛に興味がない	他人と恋人として交際するのが	その他	無回答
未婚 全体	( 53)	22.6	52.8	9.4	1.9	39.6	43.4	15.1	15.1	5.7
" 男性 全体	( 25)	16.0	56.0	4.0	4.0	40.0	44.0	24.0	12.0	4.0
" " 20代	( 12)	16.7	58.3	8.3	0.0	50.0	58.3	25.0	8.3	0.0
" " 30代	( 13)	15.4	53.8	0.0	7.7	30.8	30.8	23.1	15.4	7.7
" 女性 全体	( 28)	28.6	50.0	14.3	0.0	39.3	42.9	7.1	17.9	7.1
" " 20代	( 18)	33.3	50.0	22.2	0.0	50.0	50.0	5.6	16.7	0.0
" " 30代	( 10)	20.0	50.0	0.0	0.0	20.0	30.0	10.0	20.0	20.0

1位 2位 3位

### 5) 交際への不安【未婚かつ現在恋人がいない人を抽出】

◎未婚全体、いずれの性・年代でも「そもそも出会いの場所がない」が最も多く挙げられ、「自分は魅力がないのではないかと思う」が次ぐ。

◎未婚男性全体については「気になる人がいても、どのように声をかけてよいかわからない」「恋愛交際の進め方がわからない」が3番めに多く挙げられている。

◎未婚女性全体では「自分が恋愛感情を抱くことができるのか不安だ」「気になる人がいても、どのように声をかけてよいかわからない」がほぼ同率で3、4番めに多く挙げられた。

#### 【内閣府調査との比較 p.25】

◎上記の部分について、有意差は見られなかった。

表 3-5 交際への不安〈MA〉【未婚者かつ現在恋人がいない人を抽出、性・年代別】

	合計	気になる声をかけてよいかわからない	気になる人がいても、どのように声をかけてよいかわからない	恋愛交際の進め方がわからない	なにかとして交際するの踏み切れ	過去の失恋経験からまた振られる	自分は魅力がないのではないかと思う	自分が恋愛感情を抱くことができるのか不安だ	そもそも出会いの場所がない	その他	特になし	無回答
未婚 全体	( 277)	23.8	16.6	20.6	13.4	12.3	32.5	20.9	55.6	6.1	16.6	1.4
" 男性 全体	( 130)	24.6	19.2	24.6	13.1	10.8	34.6	17.7	48.5	6.2	22.3	0.8
" " 20代	( 67)	20.9	19.4	26.9	11.9	7.5	31.3	14.9	44.8	7.5	25.4	1.5
" " 30代	( 63)	28.6	19.0	22.2	14.3	14.3	38.1	20.6	52.4	4.8	19.0	0.0
" 女性 全体	( 147)	23.1	14.3	17.0	13.6	13.6	30.6	23.8	61.9	6.1	11.6	2.0
" " 20代	( 86)	26.7	15.1	17.4	14.0	15.1	29.1	26.7	64.0	7.0	11.6	1.2
" " 30代	( 61)	18.0	13.1	16.4	13.1	11.5	32.8	19.7	59.0	4.9	11.5	3.3
									1位	2位	3位	

## 6) 恋愛に関する考え【未婚者を抽出】

- ◎未婚全体のほか、いずれの性・年代においても「交際をすると相手との結婚を考える」が最も多く挙げられている。
- ◎未婚全体では2番目が「相手からアプローチがあれば考える」で、約3割が挙げた。以降「恋愛することに自信がない」「恋愛は面倒だと感じている」「気になる相手には自分から積極的にアプローチする」が約2割で続く。
- ◎未婚男性全体では2番めに「恋愛よりも趣味を優先したい」が挙げられている。また、いずれの年代でも約3割が挙げていることが注目される。

### 【内閣府調査との比較 p.27】

- ◎未婚全体、いずれの性・年代においても本市では「交際をすると相手との結婚を考える」比率が高く（内閣府調査では、未婚全体 41.2%）、「相手からアプローチがあれば考える」比率が低い（内閣府調査では、未婚全体 40.8%）。

表 3-6 恋愛に関する考え（MA）【未婚者を抽出、性・年代別】

	N	恋愛よりも勉強や仕事を優先したい	恋愛よりも趣味を優先したい	交際すると相手との結婚を考える	それほど好きではない人も恋愛や交際をしてもかまわない	いつも恋愛をしていたい	気になる相手には自分から積極的にアプローチする	相手からアプローチがあれば考える	恋愛には興味がない	恋愛は面倒だと感じる	恋愛することに自信がない	この中に当てはまるものはない	無回答
未婚 全体	( 458)	10.9	20.3	50.2	8.3	14.4	20.3	32.3	5.7	22.5	23.4	8.7	1.5
" 男性 全体	( 182)	12.6	28.0	39.6	12.1	11.0	19.8	24.2	7.7	24.7	21.4	12.6	1.6
" " 20代	( 102)	13.7	29.4	38.2	10.8	9.8	15.7	19.6	9.8	20.6	21.6	12.7	2.0
" " 30代	( 80)	11.3	26.3	41.3	13.8	12.5	25.0	30.0	5.0	30.0	21.3	12.5	1.3
" 女性 全体	( 276)	9.8	15.2	57.2	5.8	16.7	20.7	37.7	4.3	21.0	24.6	6.2	1.4
" " 20代	( 174)	10.9	17.2	56.3	7.5	21.3	20.1	37.4	5.7	18.4	25.9	5.2	1.1
" " 30代	( 102)	7.8	11.8	58.8	2.9	8.8	21.6	38.2	2.0	25.5	22.5	7.8	2.0

1位 2位 3位

7) 出会いのために行いたいこと【未婚かつ現在恋人がいない人を抽出】

- ◎未婚男性では「特に何もしない」が約 5 割で最も多く挙げられ「友人に紹介を頼む」が次ぐ。以下「合コンやパーティーに行く」「趣味のサークルに入る」も比較的多く挙げられている。
- ◎未婚女性では「友人に紹介を頼む」が約 4 割で最も多く挙げられ、ほぼ同率で「特に何もしない」が次ぐ。以下「合コンやパーティーに行く」「趣味のサークルに入る」がほぼ同率で続く。

【内閣府調査との比較 p.29】

- ◎本市の未婚男性が「友人に紹介を頼む」「職場の同僚や先輩に紹介を頼む」率は全国と比較して約 10 ポイント低かった（内閣府調査の未婚男性全体で「友人に紹介を頼む」43.4%、「職場の同僚や先輩に紹介を頼む」25.3%）
- ◎また「特に何もしない」については 10 ポイント以上高くなっており（内閣府調査の未婚男性全体 34.2%）、本市の未婚男性の出会いに対する意欲の低さが目立つ結果となった。

表 3-7 出会いのために行いたいこと〈MA〉【未婚かつ現在恋人がいない人を抽出、性・年代別】

	合計	友人に紹介を頼む	職場の同僚や先輩に紹介を頼む	合コンやパーティーに行く	ネットの婚活サイトを利用する	趣味のサークルに入る	資格取得のための学校に通う	親や親戚に紹介を頼む	お見合いをする	民間の結婚支援事業を利用する	地方自治体や NPO などの団体の結婚支援事業を利用する	その他	特に何もしない	無回答
未婚 全体	( 277)	36.8	19.5	23.5	4.7	21.3	1.4	1.8	5.1	4.7	1.8	1.1	44.0	0.7
" 男性 全体	( 130)	30.8	16.2	21.5	3.1	16.9	0.8	1.5	6.9	4.6	0.8	0.8	50.8	0.0
" " 20代	( 67)	23.9	9.0	14.9	3.0	14.9	1.5	0.0	6.0	3.0	0.0	1.5	55.2	0.0
" " 30代	( 63)	38.1	23.8	28.6	3.2	19.0	0.0	3.2	7.9	6.3	1.6	0.0	46.0	0.0
" 女性 全体	( 147)	42.2	22.4	25.2	6.1	25.2	2.0	2.0	3.4	4.8	2.7	1.4	38.1	1.4
" " 20代	( 86)	40.7	23.3	30.2	4.7	24.4	1.2	0.0	1.2	3.5	3.5	0.0	39.5	1.2
" " 30代	( 61)	44.3	21.3	18.0	8.2	26.2	3.3	4.9	6.6	6.6	1.6	3.3	36.1	1.6

1位 2位 3位

### 8) 結婚相手の紹介者の属性【未婚かつ結婚相手の紹介意向のある人※を抽出】

※「結婚相手の紹介意向のある人」については、前問「出会いのために行いたいこと」で「友人に紹介を頼む」「職場の同僚や先輩に紹介を頼む」「合コンやパーティに行く」「親や親戚に紹介を頼む」「お見合いをする」いずれかに回答した人を抽出した。内閣府調査における抽出方法と異なることに留意。

◎未婚全体では「友人」が最も多く挙げられた。2番めに「特にない」、3番めに「職場の同僚」が挙げられている。いずれの性・年代でもほぼ同様の結果となっている。

#### 【内閣府調査との比較 p. 33】

◎本市の未婚全体では「紹介者がいる・計」の率は全国と比較して約 20 ポイント低かった（内閣府調査の未婚全体 85.9%）。また、いずれの性・年代を見ても低くなっている。

◎特に「友人」を挙げた率が低く、未婚全体では約 20 ポイント低かった（内閣府調査の未婚全体 77.8%）。また「職場の上司」についても 8.0 ポイント低くなっている（内閣府調査の未婚全体 14.9%）。一方で「特にない」は約 20 ポイント高い（内閣府調査の未婚全体 13.8%）。以上は各性・年代別区分でも同様の傾向が見られた。

表 3-8 結婚相手の紹介者の属性〈MA〉【未婚かつ結婚相手の紹介意向のある人を抽出、性・年代別】

	合計	(両)親	兄弟姉妹	親戚	友人	職場の同僚	職場の上司	近所の人	その他	特にない	無回答	紹介者がいる・計
未婚 全体	( 233)	5.2	6.4	1.7	57.9	26.6	6.9	0.4	0.0	33.9	0.4	65.7
" 男性 全体	( 75)	5.3	4.0	1.3	60.0	28.0	4.0	0.0	0.0	30.7	1.3	68.0
" " 20代	( 40)	5.0	2.5	2.5	57.5	17.5	2.5	0.0	0.0	35.0	0.0	65.0
" " 30代	( 35)	5.7	5.7	0.0	62.9	40.0	5.7	0.0	0.0	25.7	2.9	71.4
" 女性 全体	( 158)	5.1	7.6	1.9	57.0	25.9	8.2	0.6	0.0	35.4	0.0	64.6
" " 20代	( 98)	3.1	8.2	1.0	62.2	24.5	7.1	0.0	0.0	32.7	0.0	67.3
" " 30代	( 60)	8.3	6.7	3.3	48.3	28.3	10.0	1.7	0.0	40.0	0.0	60.0

1位 2位 3位

※「紹介者がいる・計」は「特にない」「無回答」以外を回答した人の合計。

#### (4) 結婚観について

##### 1) 自身の結婚観

- ◎【図 4-1-1】全体、未既婚、いずれの性・年代でも「結婚したほうが良い・計」が「結婚しなくて良い・計」を上回っていた。
- ◎【〃】既婚の男性全体と女性全体を比較すると、男性の方が女性より「結婚したほうが良い・計」の率が高くなっている。未婚では男性と女性で有意差はなかった。
- ◎【図 4-1-2】年収別でも有意な差が見られた。男性において年収「400 万円未満」より「400 万円以上」の方が、また、女性では「200 万円未満」より「200 万円以上」の方が「結婚したほうが良い・計」と回答した人の割合が高くなっている。
- ◎【図 4-1-3】雇用形態別ではさらに顕著な差が見られている。「結婚したほうが良い・計」回答者は、男性の正規雇用者で約 7 割であった一方で、非正規雇用者では 4 割となっている。女性についても同様の傾向がある。
- ◎【図 4-1-2、4-1-3】なお、以上は比較的高所得者や正規雇用者における既婚者の割合が高いからではなく、未婚者のみを見ても同様の結果となっている。

##### 【内閣府調査との比較 p.35】

- ◎【図 4-1-1】本市の「結婚したほうが良い・計」の率は全体で全国より 7.2 ポイント低くなっている（内閣府調査 68.1%）。
- ◎【〃】特に差が大きかったのが未婚男性 20 代で、14.0 ポイントも低かった（内閣府調査 70.9%）。それ以外の区分を見ても全国と比較して低い値となっている。

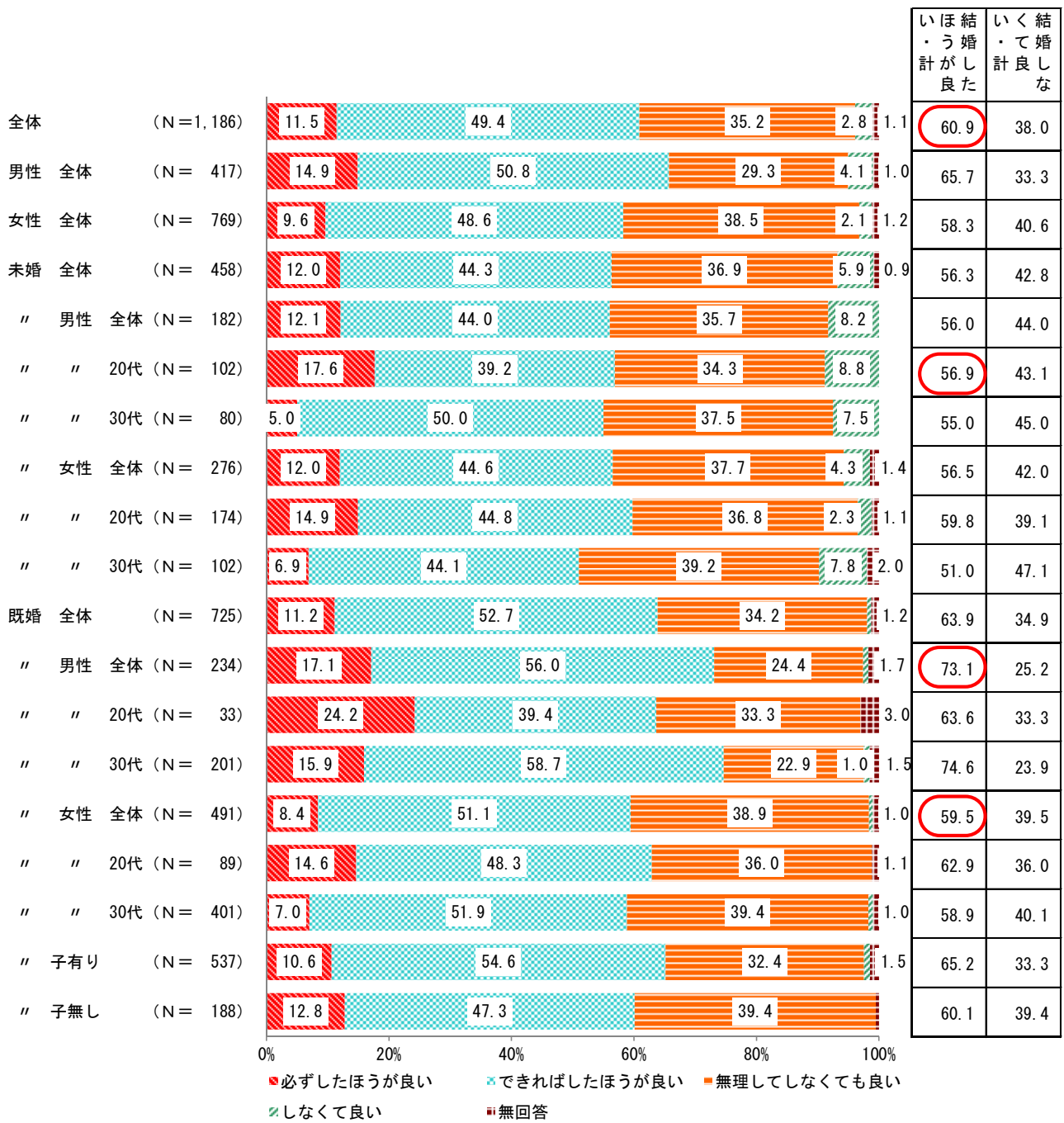
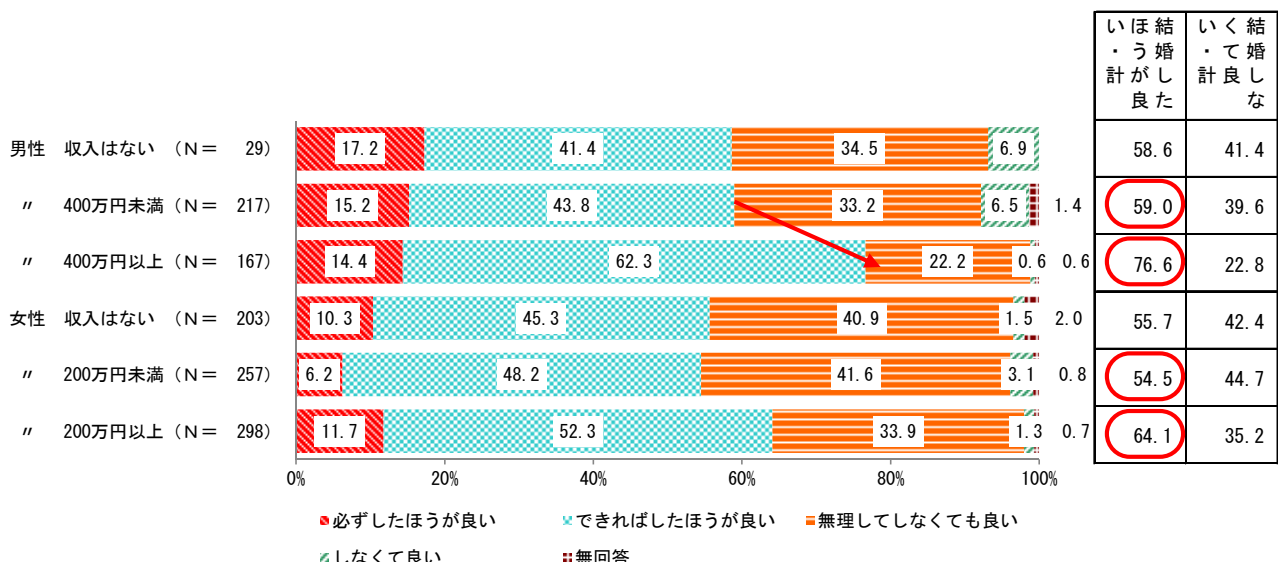


図 4-1-1 自身の結婚観〈SA〉【性・年代・未既婚・子有無別】





※「結婚したほうが良い・計」は、「必ずしたほうが良い」「できればしたほうが良い」の合計。  
「結婚しなくて良い・計」は、「無理してしなくても良い」「しなくて良い」の合計。

図 4-1-2 自身の結婚観〈SA〉【性・年収別】

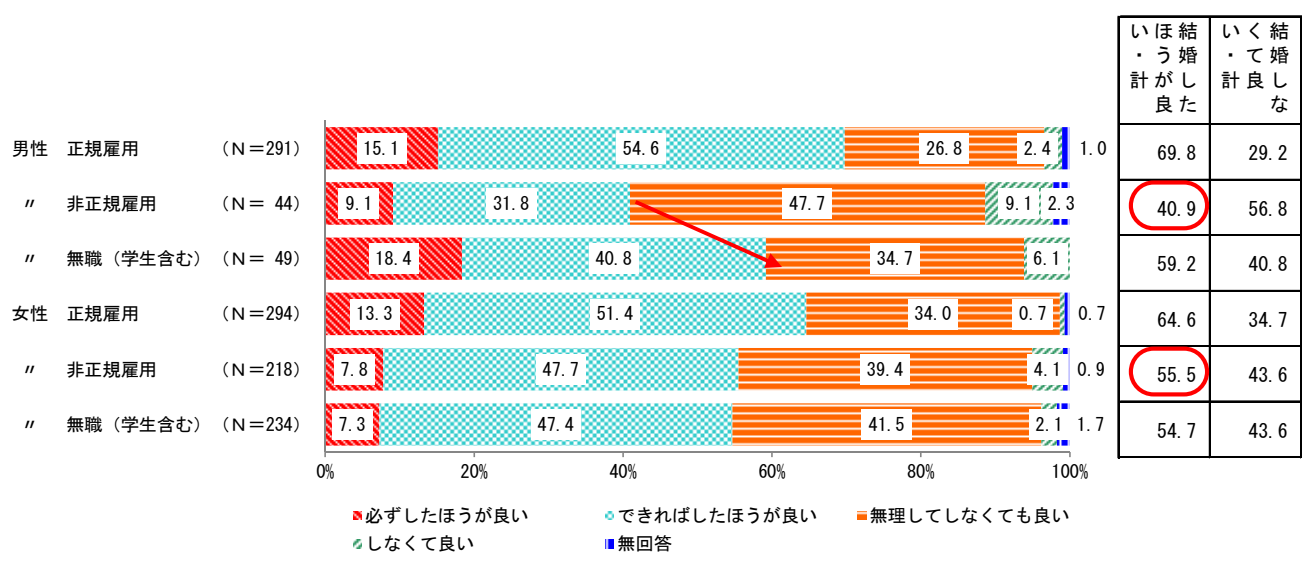
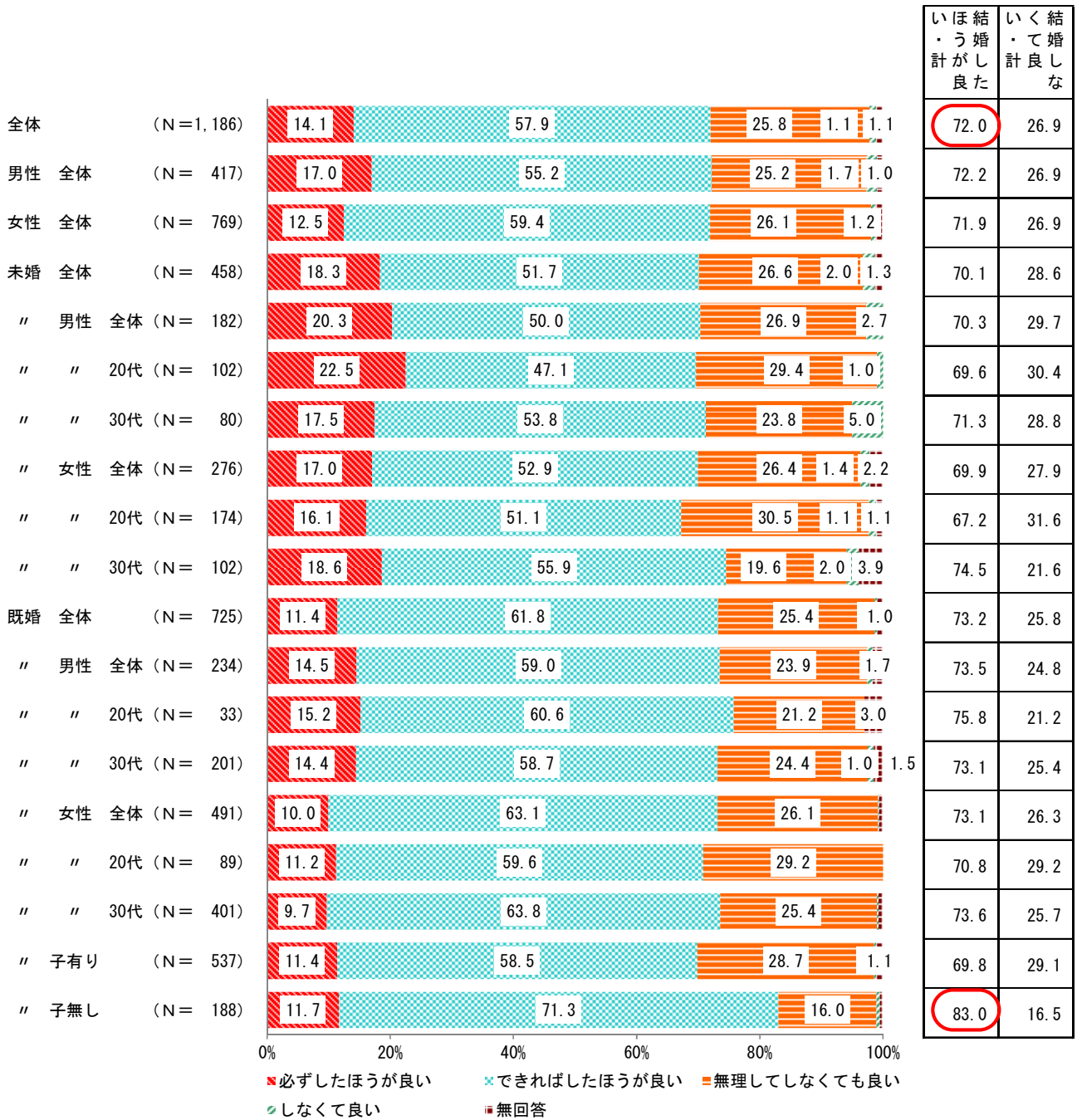


図 4-1-3 自身の結婚観〈SA〉【性・雇用形態別】

## 2) 世間が考えているであろう結婚観

◎全体、ほとんどの区分において「結婚したほうが良い・計」が約7~8割弱となっている。

◎「既婚子無し」で「結婚したほうが良い・計」の率が8割を超えていることが際立っている。



※「結婚したほうが良い・計」は、「必ずしたほうが良い」「できればしたほうが良い」の合計。  
 「結婚しなくて良い・計」は、「無理してしなくても良い」「しなくて良い」の合計。

図 4-2 世間が考えているであろう結婚観〈SA〉【性・年代・未既婚・子有無別】

### 3) 将来の結婚意向【未婚者限定】

- ◎【図 4-3-1】未婚全体では「いずれは結婚したい」が 36.5%で最も高かった。
- ◎【〃】男性より女性の方が「結婚したい・計」の割合が高くなっている(男性 68.1%、女性 76.8%)。
- ◎【図 4-3-2】年収別に見ると、男性では年収「400 万円未満」と「400 万円以上」の間に大きな差が見られた。特に、結婚時期を見定めている人(「すぐにでも結婚したい」「2~3 年以内に結婚したい」)を見ると、「400 万円以上」では 5 割を超えている一方、「400 万円未満」では 2 割強に過ぎなかった。「結婚したい・計」を見ても「400 万円未満」は「400 万円以上」を大きく下回っている。女性も同様の傾向があるが、男性よりはその差は小さい。
- ◎【図 4-3-3】雇用形態別でも上記と同様で、結婚時期を見定めている人は、男性の「正規雇用」で約 4 割であった一方、「非正規雇用」では 1 割にとどまっている。同様に「結婚したい・計」は「正規雇用」で 7 割を上回っているが「非正規雇用」では 4 割を下回っている。女性においても同様に「正規雇用」が「非正規雇用」を上回る結果となったが、男性よりその差は小さくなっている。

#### 【内閣府調査との比較 p.37】

- ◎【図 4-3-1】性・年代別の「結婚したい・計」の割合を見ると、有意な差ではないが、全体、いずれの性・年代においても本市は低い値となっている(内閣府調査の全体は 77.7%、-4.3 ポイント)。
- ◎【図 4-3-3】雇用形態別を見ると、本市における「非正規雇用」の「結婚したい・計」の率は全国各地を大幅に下回っていた(内閣府調査では 62.1%、-25.7 ポイント)。

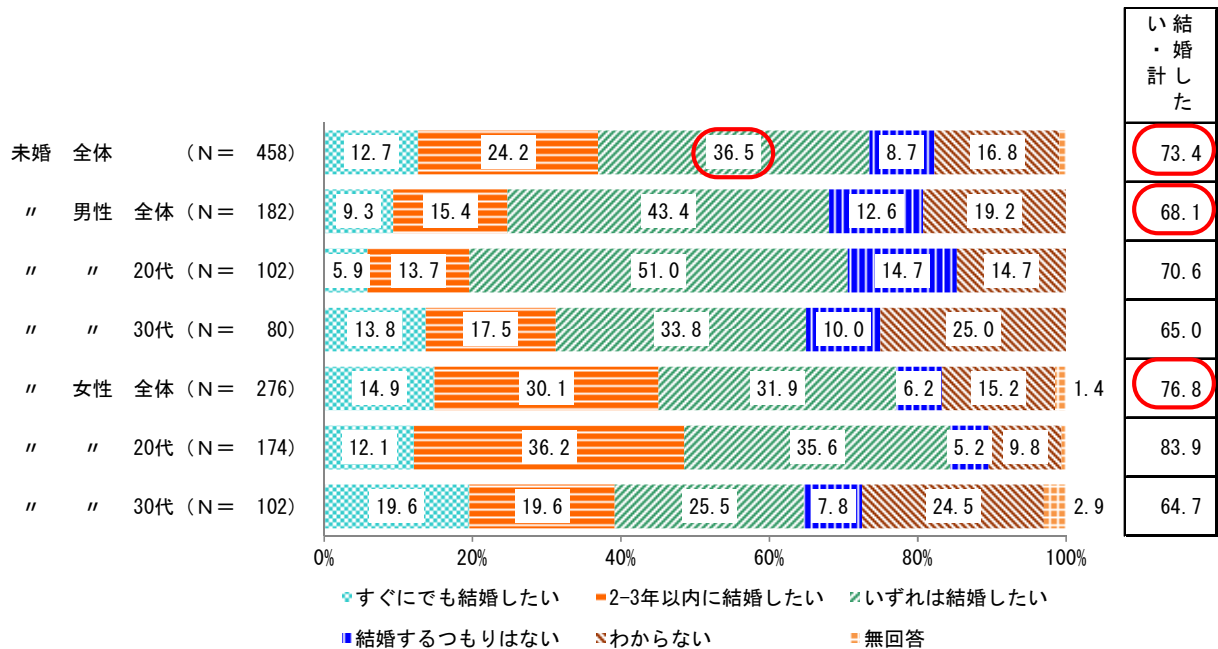


図 4-3-1 希望する結婚時期 (SA) 【未婚者限定、性・年代別】

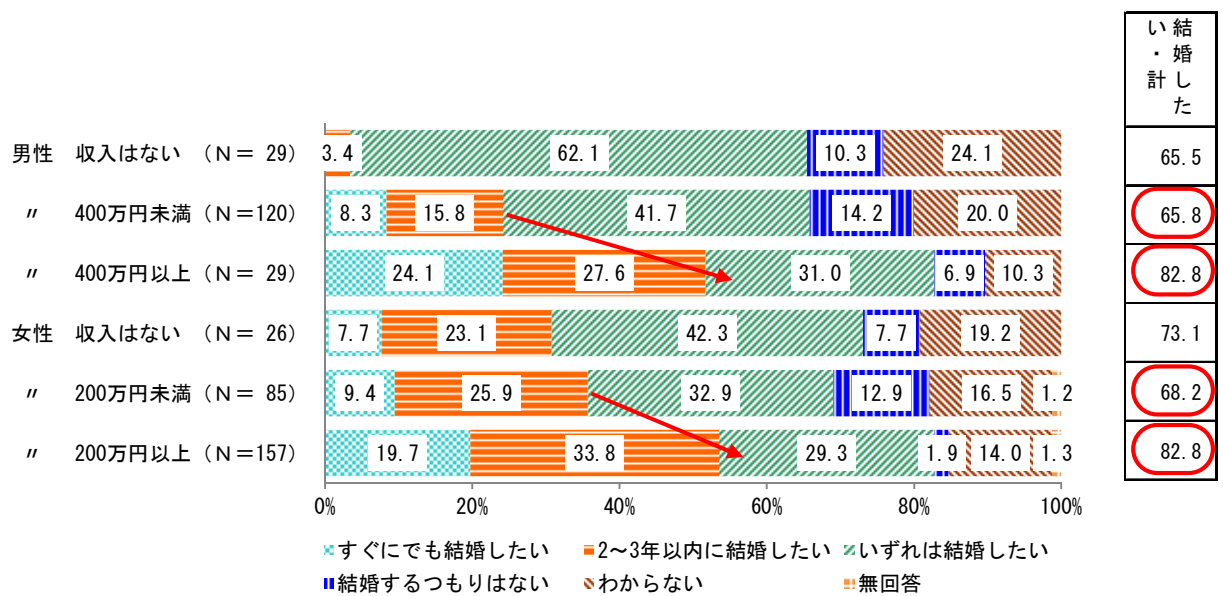


図 4-3-2 希望する結婚時期〈SA〉【未婚者限定、年収別】

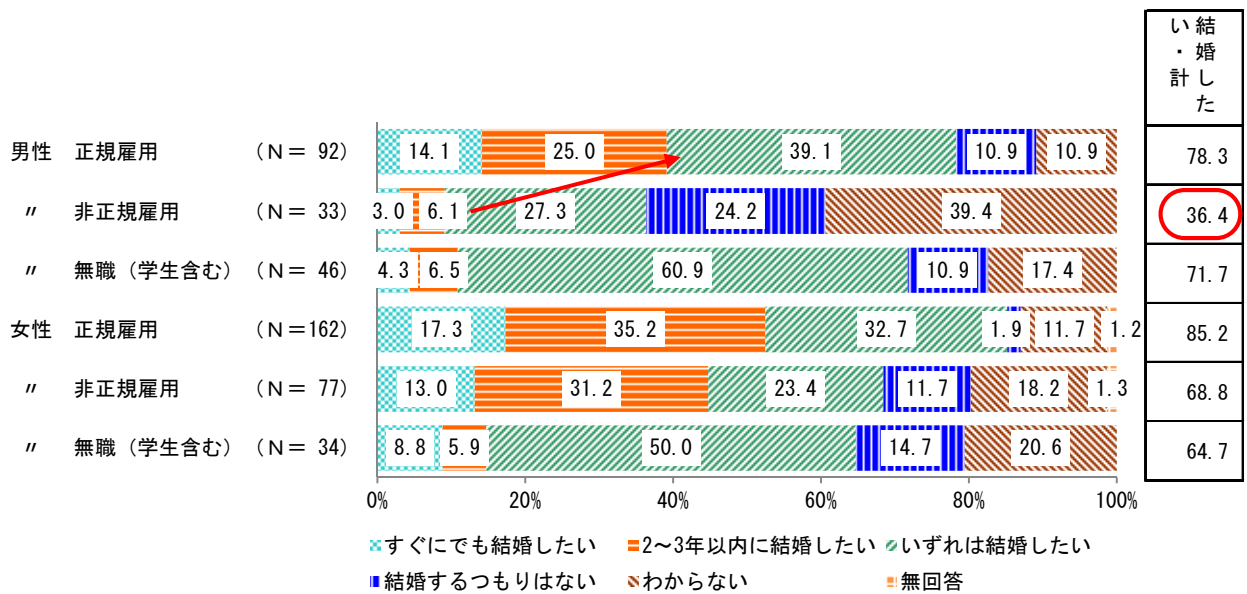


図 4-3-3 希望する結婚時期〈SA〉【未婚者限定、雇用形態別】

※「結婚したい・計」は、「すぐにでも結婚したい」「2-3年以内に結婚したい」「いずれは結婚したい」の合計。

#### 4) 結婚したい（したかった）理由【未婚者については将来結婚したい人限定】

◎全体では「好きな人と一緒にいたい」「子どもが欲しい」「家族を持ちたい」が上位3位であった。これらは未婚女性30代以外のいずれの区分でも上位3位以内に挙げられている。

◎未婚女性30代のみ「老後に一人でいたくない」が2位であることが特徴的である。

◎全体で2割以上回答のあった選択肢について男女を比較すると「老後に一人でいたくない」「両親や親戚を安心させたい」「適齢期だと思っている」「経済的な安定を得たい」について、女性の方が男性を大幅に上回っている。

#### 【内閣府調査との比較 p. 42】

◎未婚全体を見ると、すべての選択肢において、回答率は本市調査結果が下回っていた。

◎特に差が大きかったのが「老後に一人でいたくない」（内閣府調査49.3%、差-15.2ポイント）、  
「子どもが生まれるのであれば結婚したほうが良いと思う」（23.3%、-11.1ポイント）、  
「やすらぎが欲しい・一人で寂しい」（47.2%、-11.0ポイント）であった。

表4-4 結婚したい（したかった）理由〈MA〉  
【未婚者については将来結婚したい人限定、性・年代・未既婚・子有無別】

	N	家族を持ちたい	子どもが欲しい	好きな人と一緒にいたい	やすらぎが欲しい・一人で寂しい	家事的負担を減らしたい	両親や親戚を安心させたい	経済的な安定を得たい	社会的に認められたい	老後に一人でいたくない	適齢期だと思っている	子どもが生まれるのであれば結婚したい	その他	無回答
全体	( 1,041)	59.4	62.2	64.5	31.7	4.2	34.2	22.2	10.5	32.2	26.6	16.2	1.6	0.7
男性 全体	( 355)	62.5	56.3	66.2	31.0	7.6	28.2	8.7	14.9	23.7	19.4	11.8	1.4	0.3
女性 全体	( 686)	57.7	65.3	63.6	32.1	2.5	37.3	29.2	8.2	36.6	30.3	18.5	1.7	0.9
未婚 全体	( 337)	62.6	65.6	61.1	36.2	4.2	43.3	23.4	12.2	34.1	26.7	12.2	0.6	1.5
“ 男性 全体	( 124)	63.7	59.7	59.7	33.1	7.3	33.9	10.5	16.1	22.6	16.1	7.3	0.8	0.8
“ “ 20代	( 72)	66.7	62.5	59.7	34.7	8.3	26.4	11.1	15.3	16.7	13.9	8.3	1.4	0.0
“ “ 30代	( 52)	59.6	55.8	59.6	30.8	5.8	44.2	9.6	17.3	30.8	19.2	5.8	0.0	1.9
“ 女性 全体	( 213)	62.0	69.0	62.0	38.0	2.3	48.8	31.0	9.9	40.8	32.9	15.0	0.5	1.9
“ “ 20代	( 147)	58.5	72.1	65.3	38.1	2.0	44.9	27.2	8.2	29.9	30.6	14.3	0.7	2.7
“ “ 30代	( 66)	69.7	62.1	54.5	37.9	3.0	57.6	39.4	13.6	65.2	37.9	16.7	0.0	0.0
既婚 全体	( 701)	57.8	60.8	66.2	29.5	4.3	29.7	21.5	9.6	31.2	26.5	18.1	2.1	0.3
“ 男性 全体	( 230)	61.7	54.8	70.0	30.0	7.8	25.2	7.8	14.3	24.3	21.3	14.3	1.7	0.0
“ “ 20代	( 32)	71.9	65.6	81.2	40.6	12.5	21.9	15.6	21.9	31.2	37.5	21.9	0.0	0.0
“ “ 30代	( 198)	60.1	53.0	68.2	28.3	7.1	25.8	6.6	13.1	23.2	18.7	13.1	2.0	0.0
“ 女性 全体	( 471)	55.8	63.7	64.3	29.3	2.5	31.8	28.2	7.2	34.6	29.1	20.0	2.3	0.4
“ “ 20代	( 87)	62.1	75.9	66.7	24.1	2.3	31.0	26.4	6.9	40.2	37.9	25.3	1.1	0.0
“ “ 30代	( 383)	54.6	61.1	64.0	30.5	2.6	32.1	28.7	7.3	33.4	26.9	18.8	2.6	0.5
“ 子有り	( 519)	59.7	65.1	65.3	26.4	3.9	27.7	19.8	8.3	30.8	23.9	20.2	1.2	0.4
“ 子無し	( 182)	52.2	48.4	68.7	38.5	5.5	35.2	26.4	13.2	32.4	34.1	12.1	4.9	0.0

1位 2位 3位



5) 結婚相手に求める条件【未婚者を抽出、結婚を希望している方限定】

- ◎未婚全体では「一緒にいて楽しいこと」「価値観が近いこと」「一緒にいて気をつかわないこと」を約8割の回答者が挙げた。これらはいずれの性・年代でも上位3位に挙げられている。
- ◎4位以下について見ると、女性においては「金銭感覚」「恋愛感情」「経済力があること」の順で多く、それぞれ5割を超えている。特に「金銭感覚」「経済力があること」は男性の回答と比較して大幅に高くなっている。
- ◎男性については「金銭感覚」「恋愛感情」「自分の仕事を理解してくれること」「容姿が好みであること」「共通の趣味があること」が約4割と比較的によく挙げられている。

【内閣府調査との比較 p. 45】

◎女性全体において、本市の方が「価値観が近いこと」が高く（内閣府調査 78.5%）、「学歴」が低かった（10.1%）。本市の未婚女性の方が全国と比較して「学歴」より「価値観が近いこと」を重視している割合が高いと言える。

表 4-5 結婚相手に望むこと〈MA〉【未婚者を抽出、結婚を希望している方限定、性・年代別】

	N	価値観が近いこと	家事分担	家事や家計をまかせられること	恋愛感情	共通の趣味があること	職種	学歴	金銭感覚	一緒にいて楽しいこと	一緒にいて気をつかわないこと
未婚 全体	( 337)	79.8	25.5	16.3	47.5	32.9	13.1	3.3	56.4	75.4	75.7
" 男性 全体	( 124)	71.0	16.1	19.4	41.1	35.5	2.4	1.6	44.4	69.4	67.7
" " 20代	( 72)	69.4	18.1	22.2	43.1	34.7	2.8	0.0	36.1	68.1	68.1
" " 30代	( 52)	73.1	13.5	15.4	38.5	36.5	1.9	3.8	55.8	71.2	67.3
" 女性 全体	( 213)	85.0	31.0	14.6	51.2	31.5	19.2	4.2	63.4	78.9	80.3
" " 20代	( 147)	82.3	30.6	16.3	53.1	30.6	21.1	5.4	59.9	81.6	79.6
" " 30代	( 66)	90.9	31.8	10.6	47.0	33.3	15.2	1.5	71.2	72.7	81.8

	N	容姿が好みであること	経済力があること	親が同意してくれること	年齢	と自分の仕事を理解してくれること	自分の親と同居してくれること	その他	特にない	無回答
未婚 全体	( 337)	32.0	36.5	29.7	21.1	39.2	2.4	3.0	0.6	2.7
" 男性 全体	( 124)	39.5	12.9	11.3	21.8	40.3	2.4	2.4	0.8	1.6
" " 20代	( 72)	44.4	13.9	13.9	23.6	38.9	0.0	4.2	0.0	2.8
" " 30代	( 52)	32.7	11.5	7.7	19.2	42.3	5.8	0.0	1.9	0.0
" 女性 全体	( 213)	27.7	50.2	40.4	20.7	38.5	2.3	3.3	0.5	3.3
" " 20代	( 147)	27.2	48.3	44.9	23.1	40.1	1.4	2.7	0.7	4.8
" " 30代	( 66)	28.8	54.5	30.3	15.2	34.8	4.5	4.5	0.0	0.0

1位 2位 3位

## 6) 結婚意向に関する周囲からの影響【未婚者を抽出】

- ◎未婚全体では「周りの友人・知人が次々と結婚や出産をする」が最も多く「友人の幸せな結婚や家庭の様子を感じる」が次ぐ結果となった。一方で3番めに「結婚を強く意識することはない」が多く挙げられている。
- ◎未婚男性で「結婚を強く意識することはない」が最も多く4割以上が挙げていることが特徴的である。
- ◎未婚女性では「周りの友人・知人が次々と結婚や出産をする」「友人の幸せな結婚や家庭の様子を感じる」「周囲から幸せな結婚の話を聞く」の順で多く挙げられた。

### 【内閣府調査との比較 p. 39】

- ◎未婚全体において上位3位までの選択肢いずれについても本市の調査結果は下回っていた（内閣府調査「周りの友人・知人が次々と結婚や出産をする」62.7%、「友人の幸せな結婚や家庭の様子を感じる」50.5%、「周囲から幸せな結婚の話を聞く」41.3%）。
- ◎男女別に見ると、男性では特に「周りの友人・知人が次々と結婚や出産をする」（内閣府調査53.0%、差-23.3ポイント）が、女性では特に「周囲から幸せな結婚の話を聞く」（51.1%、-21.4ポイント）について本市では大幅に低い結果となった。

表4-6 結婚意向に関する周囲からの影響〈MA〉【性・年代・未既婚・子有無別】

	N	親や家族から結婚するよういわ	職場に場つの人や仕事か関係者から結	友人・知人・近所の人などから	周りの友人・知人が次々と結婚	友人の幸せな結婚や家庭の様子	周囲から幸せな結婚の話を聞く	その他	結婚を強く意識することはない	無回答
全体	( 1,186)	15.0	12.4	13.7	52.0	39.2	25.1	2.3	25.8	2.9
男性 全体	( 417)	12.2	12.7	11.8	37.2	26.6	14.4	2.4	36.2	3.8
女性 全体	( 769)	16.5	12.2	14.7	60.1	46.0	30.9	2.2	20.2	2.3
未婚 全体	( 458)	16.8	16.4	15.1	49.6	34.9	23.1	2.4	28.8	2.0
〃 男性 全体	( 182)	15.4	14.8	13.7	29.7	23.1	13.2	2.2	41.8	1.6
〃 〃 20代	( 102)	14.7	10.8	15.7	29.4	18.6	13.7	2.0	46.1	1.0
〃 〃 30代	( 80)	16.2	20.0	11.2	30.0	28.7	12.5	2.5	36.2	2.5
〃 女性 全体	( 276)	17.8	17.4	17.4	62.7	42.8	29.7	2.5	20.3	2.2
〃 〃 20代	( 174)	16.7	19.0	19.0	64.9	40.8	35.1	1.7	17.8	2.3
〃 〃 30代	( 102)	19.6	14.7	14.7	58.8	46.1	20.6	3.9	24.5	2.0
既婚 全体	( 725)	13.8	9.8	12.1	53.7	41.9	26.3	2.2	23.9	3.3
〃 男性 全体	( 234)	9.8	11.1	10.3	43.2	29.5	15.4	2.6	32.1	5.1
〃 〃 20代	( 33)	15.2	15.2	18.2	57.6	48.5	33.3	3.0	24.2	6.1
〃 〃 30代	( 201)	9.0	10.4	9.0	40.8	26.4	12.4	2.5	33.3	5.0
〃 女性 全体	( 491)	15.7	9.2	13.0	58.7	47.9	31.6	2.0	20.0	2.4
〃 〃 20代	( 89)	9.0	3.4	14.6	61.8	53.9	40.4	1.1	18.0	2.2
〃 〃 30代	( 401)	17.2	10.5	12.7	57.9	46.6	29.7	2.2	20.4	2.5
〃 子有り	( 537)	12.8	8.2	11.0	53.4	40.8	25.1	2.2	23.3	3.4
〃 子無し	( 188)	16.5	14.4	15.4	54.3	45.2	29.8	2.1	25.5	3.2

1位 2位 3位

## 7) 結婚生活に必要な夫婦の年収

◎全体での平均額は 462.8 万円。

◎未婚と既婚を比較すると、男女・各年代とも未婚者の方が必要年収を高く見積もる傾向がある。

◎男女を未既婚別に比較すると、未婚者では女性より男性の方が、既婚者では男性より女性の方が必要年収を高く見積もっている。

### 【内閣府調査との比較 p. 51】

◎内閣府調査では全体の平均額は 490.3 万円と、本市調査結果と比較して 27.5 万円高かった。また、すべての区分において、本市における金額は全国よりも低くなっている。

◎内閣府調査の地域別集計で北海道(全体)の平均は 440.9 万円であり、本市は 21.9 万円高かった。

図 4-7 結婚生活に必要な夫婦の年収〈SA〉【性・年代・未既婚・子有無別】

	N	収入は関係ない	100万円未満	100万円以上50万円未満	200万円以上30万円未満	300万円以上40万円未満	400万円以上50万円未満	500万円以上60万円未満	600万円以上70万円未満	700万円以上80万円未満	800万円以上90万円未満	900万円以上100万円未満	1000万円以上	わからない	無回答	平均(万円)
			2000	2300	2400	2500	2600	2700	2800	2900	3000	3100	3200			
全体	( 1,186)	8.3	0.1	1.3	6.9	20.6	23.9	18.4	6.8	2.2	0.6	8.9	1.9	462.8		
男性 全体	( 417)	11.8	0.0	1.9	4.8	21.1	23.5	18.0	7.2	1.0	1.0	7.9	1.9	462.8		
女性 全体	( 769)	6.4	0.1	1.0	8.1	20.3	24.2	18.6	6.6	2.9	0.4	9.5	2.0	462.8		
未婚 全体	( 458)	6.1	0.2	2.2	8.1	14.4	23.8	18.8	7.6	1.5	0.9	14.2	2.2	466.1		
“ 男性 全体	( 182)	9.3	0.0	2.2	5.5	15.4	24.7	18.7	6.6	2.2	1.1	13.2	1.1	475.2		
“ “ 20代	( 102)	6.9	0.0	2.9	6.9	19.6	29.4	14.7	4.9	2.9	1.0	9.8	1.0	455.4		
“ “ 30代	( 80)	12.5	0.0	1.3	3.8	10.0	18.8	23.8	8.8	1.3	1.3	17.5	1.3	505.5		
“ 女性 全体	( 276)	4.0	0.4	2.2	9.8	13.8	23.2	18.8	8.3	1.1	0.7	14.9	2.9	460.2		
“ “ 20代	( 174)	2.3	0.0	2.3	11.5	17.2	20.1	20.1	8.0	1.1	0.0	13.8	3.4	447.9		
“ “ 30代	( 102)	6.9	1.0	2.0	6.9	7.8	28.4	16.7	8.8	1.0	2.0	16.7	2.0	482.9		
既婚 全体	( 725)	9.7	0.0	0.8	6.2	24.4	24.1	18.2	6.3	2.6	0.4	5.5	1.7	461.1		
“ 男性 全体	( 234)	13.7	0.0	1.7	4.3	25.6	22.6	17.5	7.7	0.0	0.9	3.8	2.1	453.7		
“ “ 20代	( 33)	18.2	0.0	6.1	3.0	33.3	21.2	9.1	3.0	0.0	0.0	3.0	3.0	396.0		
“ “ 30代	( 201)	12.9	0.0	1.0	4.5	24.4	22.9	18.9	8.5	0.0	1.0	4.0	2.0	462.6		
“ 女性 全体	( 491)	7.7	0.0	0.4	7.1	23.8	24.8	18.5	5.7	3.9	0.2	6.3	1.4	464.5		
“ “ 20代	( 89)	7.9	0.0	1.1	13.5	23.6	14.6	15.7	9.0	0.0	0.0	12.4	2.2	429.7		
“ “ 30代	( 401)	7.7	0.0	0.2	5.7	23.7	27.2	19.2	5.0	4.7	0.2	5.0	1.2	471.7		
“ 子有り	( 537)	8.6	0.0	0.9	5.6	25.9	25.7	18.1	5.2	2.0	0.4	6.0	1.7	453.4		
“ 子無し	( 188)	12.8	0.0	0.5	8.0	20.2	19.7	18.6	9.6	4.3	0.5	4.3	1.6	483.7		

1位 2位 3位

※「平均(万円)」を算出するに当たって、各カテゴリー表記の中央の値(「100万円~200万円未満」は150万円、「200万円~300万円未満」は250万円、「300万円~400万円未満」は350万円、「400万円~500万円未満」は450万円、「500万円~600万円未満」は550万円、「600万円~800万円未満」は700万円、「800万円~1000万円未満」は900万円)を用いた。なお、「100万円未満」は50万円、「1000万円以上」は1100万円としている。  
また、「収入は関係ない」「わからない」「無回答」は算出から除外している。



(5) 結婚と仕事について

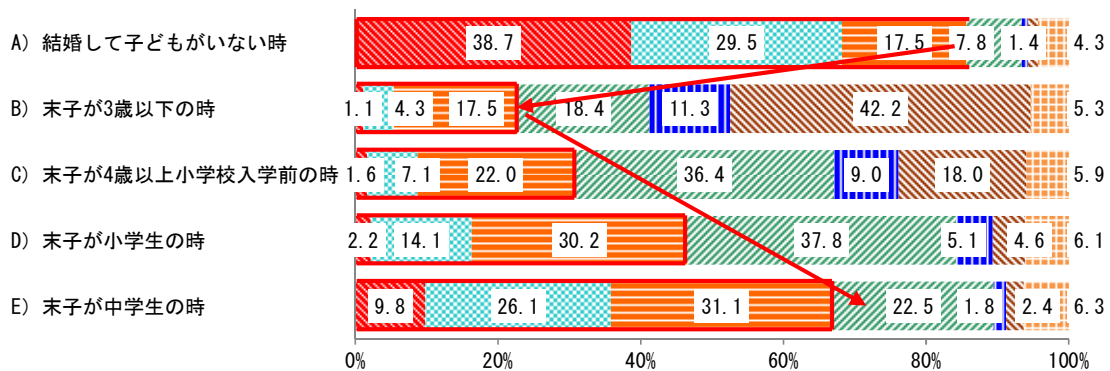
1) 女性の理想の働き方

◎【図 5-1-1】男女いずれについても「A)結婚して子どもがいない時」はフルタイムの仕事で働くが、妊娠・出産後はいったん仕事を辞め「C)末子が4歳以上」になるまでは育児に専念し、「D)末子が小学生」になるとフルタイムの仕事に就職（復帰）する、という考えを持っている人が多数派であることがわかる。

【内閣府調査との比較 p. 67】

◎【表 5-1-2】図 5-1-1 について、男女別に「フルタイムの仕事」について本市と内閣府調査の結果を集計した。すると「フルタイムの仕事」を挙げた割合は、各ライフステージ、男女いずれにおいても本市調査結果が下回る結果となった。

■全体 (N=1,186)



■男性 (N=417)

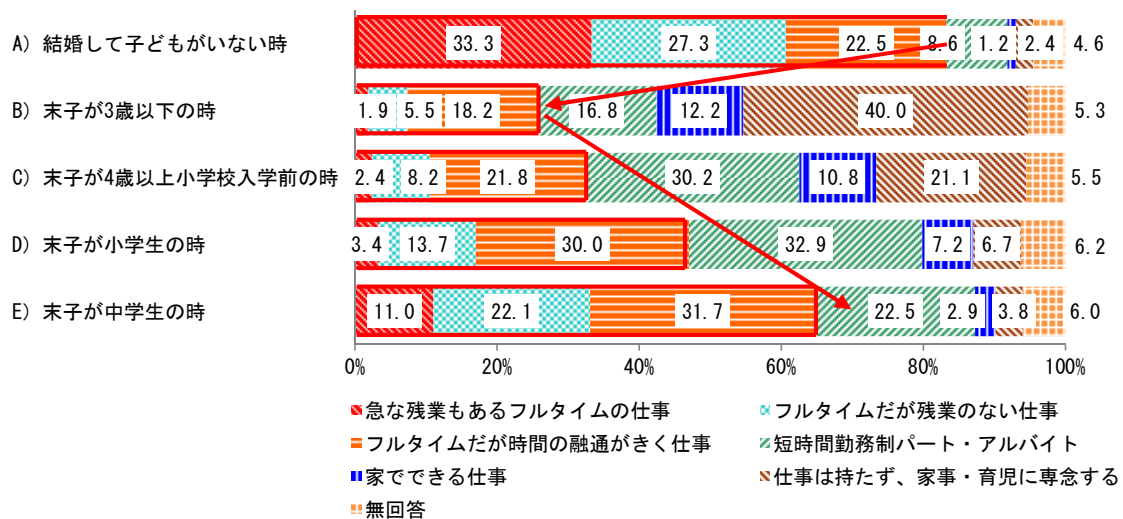


図 5-1-2 女性の理想の働き方〈SA〉（続く）

■女性 (N=769)

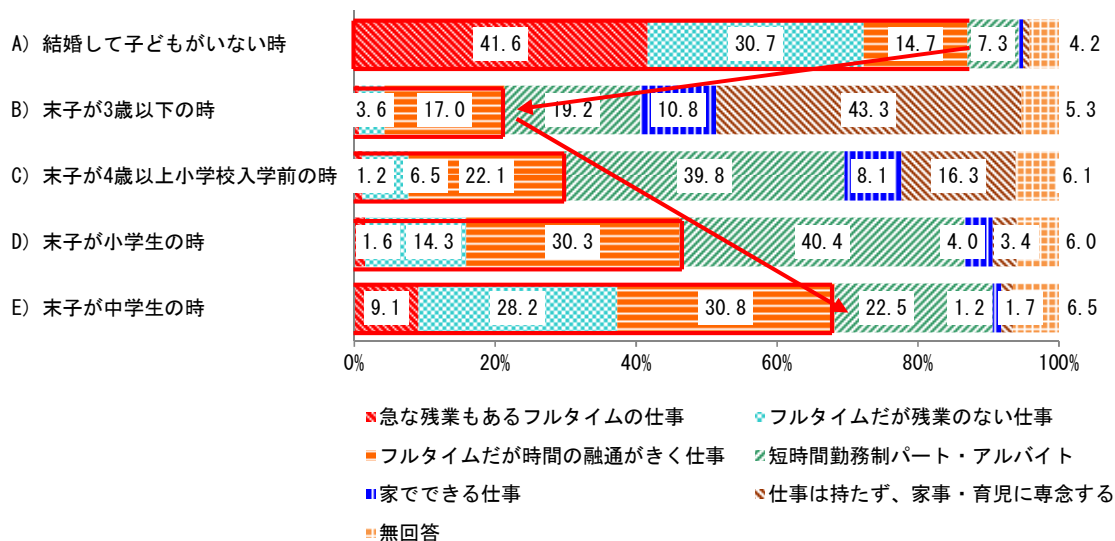


図 5-1-2 女性の理想の働き方 (SA) (続き)

表 5-1-1 女性の理想の働き方 (SA)  
【「フルタイムの仕事」の合計】

	札幌市調査		内閣府調査	
	男性	女性	男性	女性
N	(417)	(769)	(1,125)	(1,518)
A) 結婚して子どもがいない時	83.2	87.0	88.3	92.6
B) 末子が3歳以下の時	25.7	21.3	29.5	24.7
C) 末子が4歳以上小学校入学前の時	32.4	29.8	37.1	32.9
D) 末子が小学生の時	47.0	46.2	54.7	52.0
E) 末子が中学生の時	64.7	68.1	72.7	76.5

(6) 未婚者の結婚観について

1) 現在結婚していない理由【未婚者限定】

- ◎【表 6-1-1】全体では「適当な相手にめぐり合わないから」を半数以上が挙げた。これについては、全区分で最も多く挙げられている。また、全体では「結婚後の生活資金が足りないと思うから」「自由や気楽さを失いたくないから」が2、3番めに挙げられている。
- ◎【〃】2割以上挙げられたものに注目すると、男性全体では「結婚資金が足りないから」「趣味や娯楽を楽しみたいから」「雇用が安定していないから」「異性とうまくつきあえないから」が挙げられている。
- ◎【〃】女性全体では上位3位までのほか「趣味や娯楽を楽しみたいから」が2割以上挙げられている。
- ◎【表 6-1-2】年収別に見ると、特に年収「400万円未満」の男性で「結婚後の生活資金が足りないと思うから」「結婚資金が足りないから」が多く挙げられていることが注目される。

【内閣府調査との比較 p. 53】

- ◎「まだ若すぎるから」が男性20代、女性20代とも10ポイント以上低い値となっている（内閣府調査で未婚男性20代42.1%、未婚女性20代31.6%）。

表 6-1-1 現在結婚していない理由〈MA〉【未婚者限定、性・年代別】

	N	適当な相手にめぐり合わないから	自由や気楽さを失いたくないから	結婚後の生活資金が足りないと思うから	雇用が安定していないから	結婚の必要性を感じないから	結婚資金が足りないから	趣味や娯楽を楽しみたいから	異性とうまくつきあえないから	まだ若すぎるから	仕事が忙しすぎるから	仕事を優先したいから	住宅のめどが立たないから	親や周囲が同意しないから	結婚するつもりはないから	その他	無回答
未婚 全体	( 458)	50.4	27.5	28.4	15.9	15.1	18.3	22.7	16.2	14.4	13.1	9.0	4.1	2.0	12.4	8.3	2.8
" 男性 全体	( 182)	46.2	28.6	36.3	24.2	14.8	25.3	24.7	21.4	15.9	12.6	8.2	6.0	0.5	18.1	4.9	2.2
" " 20代	( 102)	40.2	28.4	34.3	25.5	12.7	23.5	25.5	16.7	28.4	10.8	10.8	5.9	1.0	19.6	5.9	1.0
" " 30代	( 80)	53.8	28.8	38.8	22.5	17.5	27.5	23.8	27.5	0.0	15.0	5.0	6.3	0.0	16.3	3.8	3.8
" 女性 全体	( 276)	53.3	26.8	23.2	10.5	15.2	13.8	21.4	12.7	13.4	13.4	9.4	2.9	2.9	8.7	10.5	3.3
" " 20代	( 174)	44.8	21.8	27.0	12.1	13.8	16.1	23.0	11.5	20.7	14.4	13.8	3.4	1.1	8.0	11.5	4.0
" " 30代	( 102)	67.6	35.3	16.7	7.8	17.6	9.8	18.6	14.7	1.0	11.8	2.0	2.0	5.9	9.8	8.8	2.0

1位 2位 3位

表 6-1-2 現在結婚していない理由〈MA〉【未婚者限定、年収別】

	N	ら 適 当 な 相 手 に め ぐ り 合 わ な い か	ら 自 由 や 気 楽 さ を 失 い た く な い か	思 う か ら 結 婚 後 の 生 活 資 金 が 足 り な い と	雇 用 が 安 定 し て い な い か ら	結 婚 の 必 要 性 を 感 じ な い か ら	結 婚 資 金 が 足 り な い か ら	趣 味 や 娯 楽 を 楽 し み た い か ら	異 性 と う ま く つ き あ え な い か ら	ま だ 若 す ぎ る か ら	仕 事 が 忙 し す ぎ る か ら	仕 事 を 優 先 し た い か ら	住 宅 の め ど が 立 た な い か ら	親 や 周 圍 が 同 意 し な い か ら	結 婚 す る つ も り は な い か ら	そ の 他	無 回 答
男性 収入はない	( 29)	48.3	37.9	31.0	55.2	20.7	31.0	31.0	27.6	34.5	3.4	3.4	10.3	3.4	41.4	3.4	0.0
” 400万円未満	( 120)	41.7	26.7	41.7	19.2	14.2	28.3	25.0	20.0	14.2	14.2	10.8	6.7	0.0	14.2	3.3	3.3
” 400万円以上	( 29)	65.5	27.6	17.2	10.3	13.8	3.4	13.8	20.7	3.4	13.8	3.4	0.0	0.0	10.3	13.8	0.0
女性 収入はない	( 26)	50.0	30.8	23.1	11.5	26.9	15.4	26.9	0.0	42.3	3.8	7.7	0.0	0.0	11.5	11.5	0.0
” 200万円未満	( 85)	47.1	21.2	28.2	21.2	14.1	16.5	22.4	14.1	14.1	10.6	10.6	4.7	4.7	14.1	9.4	4.7
” 200万円以上	( 157)	58.0	29.3	21.0	5.1	14.6	12.7	20.4	14.0	7.0	15.9	9.6	2.5	1.9	5.1	10.8	2.5

1位 2位 3位

## 2) 結婚相手にめぐり合う可能性【未婚者限定】

- ◎【図 6-2-1】全体では「めぐり合えると思う・計」は5割を超えていた。
- ◎【〃】男女別に見ると、男性では約5割、女性は約6割と女性の方が上回っている。
- ◎【図 6-2-2】雇用形態別に見ると、男性「非正規雇用」で「めぐり合えると思う・計」の率が3割弱と大幅に低い。

### 【内閣府調査との比較 p. 55】

- ◎【図 6-2-1】本市男性20代の「めぐり合えると思う・計」は内閣府調査より10ポイント以上低い値となっている（内閣府調査64.7%）。

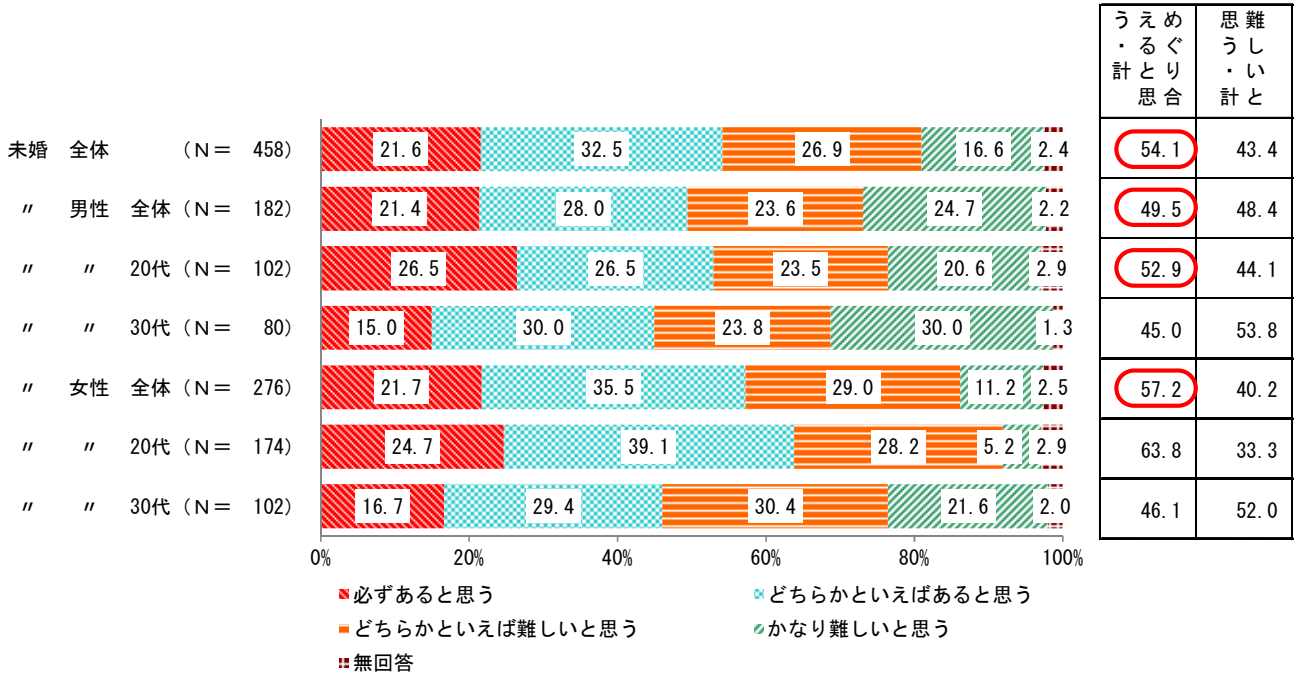


図 6-2-1 結婚相手にめぐり合う可能性〈SA〉【未婚者限定、性・年代別】

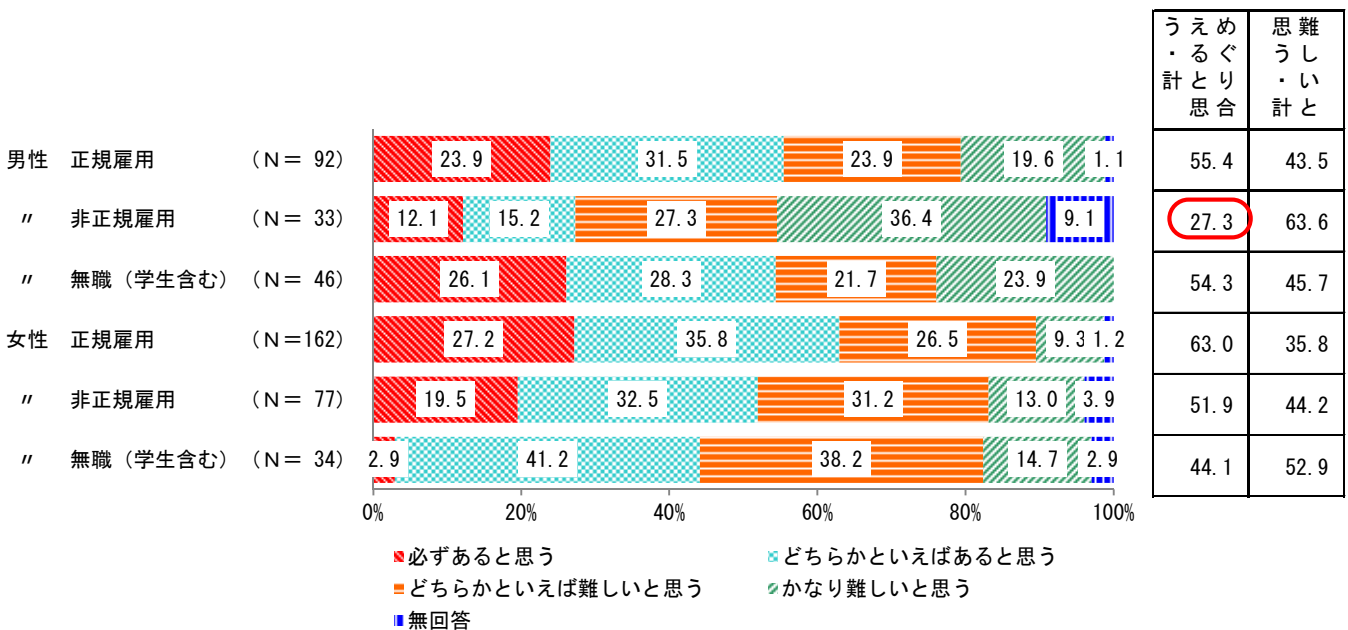


図 6-2-2 結婚相手にめぐり合う可能性〈SA〉【未婚者限定、雇用形態別】

※「めぐり合えると思う・計」は、「必ずあると思う」「どちらかといえばあると思う」の合計。  
 「難しいと思う・計」は、「どちらかといえば難しいと思う」「かなり難しいと思う」の合計。

### 3) 適当な相手にめぐり合わない場合の対応【未婚者限定】

- ◎【表 6-3-1】未婚者全体では「無理に結婚することはない」が最も多く、2番めに「いろいろな方法を使って、結婚相手を探す」、3番めに「特に何もしない」が次ぐ。
- ◎【〃】男性 30代を見ると、2番めに「特に何もしない」が多く挙げられる結果となった。
- ◎【〃】女性 20代では3番めに「いろいろな方法を使って、結婚相手を探す」が2番めとほぼ同率で挙げられている。
- ◎【表 6-3-2】年収別に見ると、年収「400万円未満」の男性で「いろいろな方法を使って、結婚相手を探す」の率が「400万円以上」と比較して大幅に低い。
- ◎【表 6-3-3】雇用形態別に見ると、「非正規雇用」男性で「いろいろな方法を使って、結婚相手を探す」の割合が他と比べて低くなっており「特に何もしない」が高くなっている。

#### 【内閣府調査との比較 p. 57】

- ◎【表 6-3-1】本市調査の男性 30代における「いろいろな方法を使って、結婚相手を探す」は全国よりも10ポイント低い結果となっている（内閣府調査 30.2%）。また「特に何もしない」は逆に10ポイント以上高くなっている（内閣府調査 16.5%）。
- ◎【〃】女性 30代については、内閣府調査より「結婚相手に求める条件を譲歩・変更する」が9.2ポイント低くなっている（内閣府調査 20.0%）。

表 6-3-1 適当な相手にめぐり合わない場合の対応〈MA〉【未婚者限定、性・年代別】

	N	変 更 結 婚 相 手 に 求 め る 条 件 を 譲 歩 ・	相 手 を い ろ ろ な 方 法 を 使 っ て、 結 婚	含 め ま ま で 結 婚 相 手 を 探 す	そ の 他	無 理 に 結 婚 す る こ と は し な い	特 に 何 も し な い	無 回 答
未婚 全体	( 458)	16.4	24.2	11.1	0.0	43.2	16.8	2.2
〃 男性 全体	( 182)	10.4	22.0	8.8	0.0	45.1	20.3	2.2
〃 〃 20代	( 102)	9.8	24.5	9.8	0.0	47.1	13.7	2.9
〃 〃 30代	( 80)	11.3	18.8	7.5	0.0	42.5	28.8	1.3
〃 女性 全体	( 276)	20.3	25.7	12.7	0.0	42.0	14.5	2.2
〃 〃 20代	( 174)	25.9	27.0	14.4	0.0	39.7	13.2	2.3
〃 〃 30代	( 102)	10.8	23.5	9.8	0.0	46.1	16.7	2.0

1位 2位 3位

表 6-3-2 適当な相手にめぐり合わない場合の対応〈MA〉【未婚者限定、年収別】

	合計	変更する	結婚相手に求める条件を譲歩・	相手を探すが、結婚	いろいろな方法を使って、結婚	含めず、結婚相手を探す	いままでも対象外だった人たちも	その他	無理に結婚することはしない	特に何もしない	無回答
男性 収入はない	( 29)	0.0	20.7	20.7	10.3	0.0	44.8	24.1	3.4		
" 400万円未満	( 120)	12.5	16.7	16.7	10.8	0.0	48.3	20.0	1.7		
" 400万円以上	( 29)	13.8	48.3	48.3	0.0	0.0	27.6	17.2	3.4		
女性 収入はない	( 26)	19.2	19.2	19.2	11.5	0.0	38.5	26.9	0.0		
" 200万円未満	( 85)	27.1	27.1	27.1	11.8	0.0	43.5	9.4	4.7		
" 200万円以上	( 157)	17.8	26.8	26.8	14.0	0.0	42.0	14.0	0.6		
							1位	2位	3位		

表 6-3-3 適当な相手にめぐり合わない場合の対応〈MA〉【未婚者限定、雇用形態別】

	合計	変更する	結婚相手に求める条件を譲歩・	相手を探すが、結婚	いろいろな方法を使って、結婚	含めず、結婚相手を探す	いままでも対象外だった人たちも	その他	無理に結婚することはしない	特に何もしない	無回答
男性 正規雇用	( 92)	16.3	30.4	30.4	9.8	0.0	38.0	19.6	1.1		
" 非正規雇用	( 33)	12.1	6.1	6.1	3.0	0.0	48.5	27.3	6.1		
" 無職（学生含む）	( 46)	0.0	15.2	15.2	13.0	0.0	56.5	15.2	2.2		
女性 正規雇用	( 162)	20.4	27.2	27.2	14.2	0.0	40.1	13.6	0.6		
" 非正規雇用	( 77)	20.8	26.0	26.0	10.4	0.0	41.6	14.3	5.2		
" 無職（学生含む）	( 34)	20.6	20.6	20.6	11.8	0.0	50.0	20.6	0.0		
							1位	2位	3位		



#### 4) 結婚に向けた積極的な対応をとる年齢【未婚者限定】

- ◎【図 6-4-1】年代での推移を見ると、男女とも 20 代では「特定の年齢になったら」が最も多いが、30 代になると大幅に減少し、代わって「特に何歳までとは考えていない」が最も多くなるほか「特に行動はしない」が約 3 割で 2 番めに多くなっている。
- ◎【図 6-4-2】雇用形態別に見ると、特に男性の「非正規雇用」で「特定の年齢になったら」が 1 割以下で、「わからない」と「特に行動はしない」の合計が 5 割を超える結果となっている。
- ◎【図 6-4-3】具体的な年齢としては、全体での平均は「31.2 歳」であった。

#### 【内閣府調査との比較 p. 59】

- ◎【図 6-4-3】有意差は見られなかった。

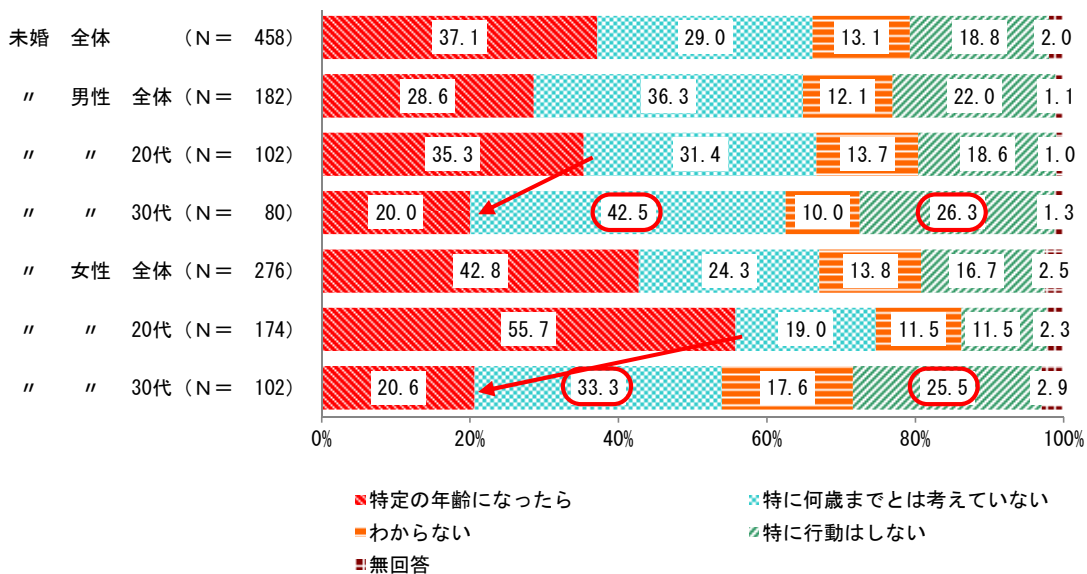
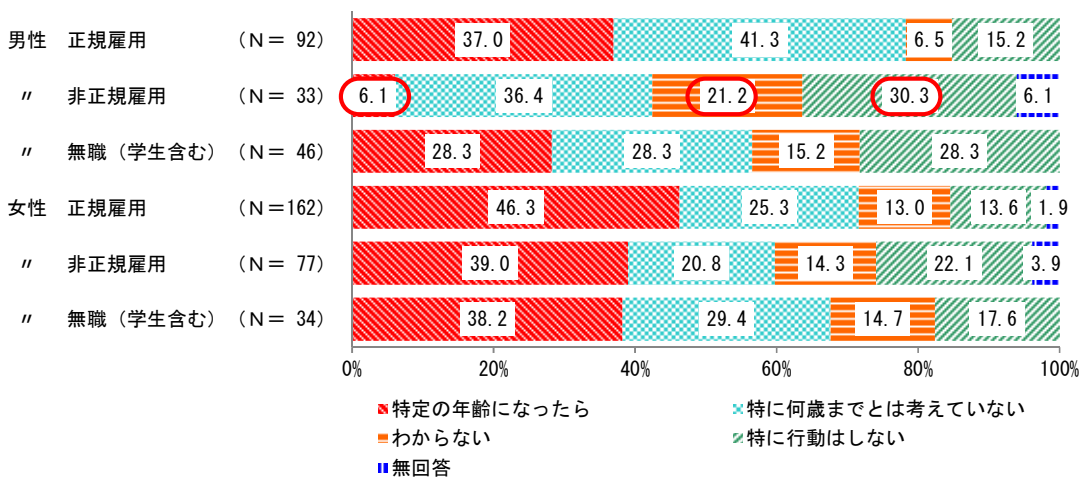
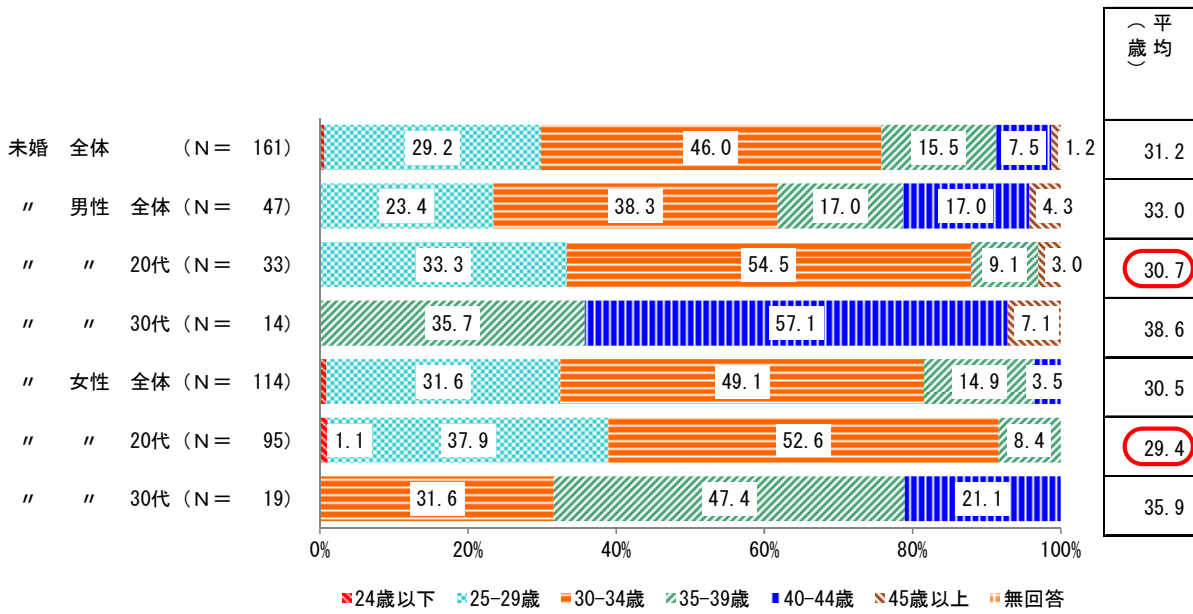


図 6-4-1 結婚に向けた積極的な対応をとる年齢 (SA)  
【未婚者限定】







※平均（人）を算出するに当たって、「無回答」は算出から除外している。

図 6-4-3 結婚に向けた積極的な対応をとる年齢（具体的な年齢）〈IN〉  
【未婚者、かつ特定の年齢を回答した方限定】

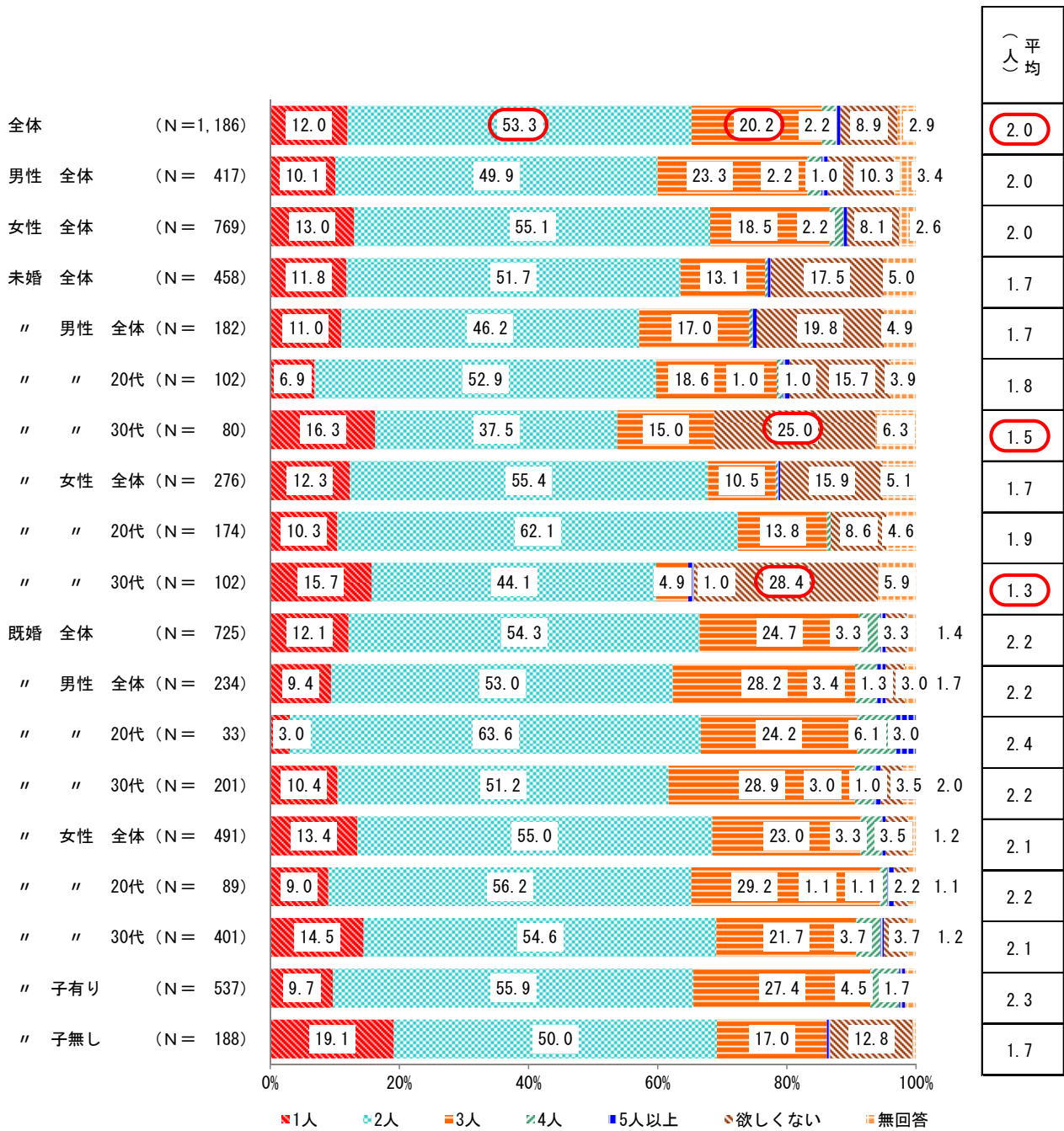
## (7) 子どもや育児について

### 1) 希望の子ども人数

- ◎全体、未既婚、いずれの性・年代を見ても「2人」が最も多い結果となった。全体での平均人数は2.0人であった。
- ◎未既婚・性・年代別では、未婚の男女30代以外で「3人」が2番めに多く挙げられている。
- ◎未既婚・性・年代別では未婚の男性30代と女性30代のみ「欲しくない」を2番めに多く挙げた。そのこともあり、平均人数は未婚男性30代で1.6人、未婚女性30代で1.3人となっている。

### 【内閣府調査との比較 p. 83】

- ◎本市調査における全体の平均人数は2.0人であったが、内閣府調査の2.2人を下回っている。また、いずれの性・年代別区分でも内閣府調査結果を下回っていた。
- ◎細かく見ると、すべての区分で「3人以上」を挙げた人が全国より少なく、「1人」を挙げた人が多くなっている。



※既に子どもがいる方については、現在の子どもの人数と今後希望する子どもの人数の合計を回答としている。  
 ※平均(人)を算出するに当たって、各カテゴリー表記の値(「1人」は1人、「2人」は2人、「3人」は3人、「4人」は4人)を用いた。なお、「5人以上」は5人、「欲しくない」は0人としている。また「無回答」は算出から除外している。

図 7-1 希望の子ども人数〈SA〉【性・年代・未既婚・子有無別】

## 2) 子どもが欲しくない理由【(これ以上)子どもが欲しくない方限定】

◎全体では「経済的に難しい」「将来の教育費が心配」「育児にかかる費用が心配」「今の家族構成に満足している」が約5割で、特に多く挙げられている。

### 【内閣府調査との比較 p. 87】

◎内閣府調査では既婚者の「経済的に難しい」の回答率は46.6%であり、本市調査結果はそれを10ポイント以上上回っている。

表 7-2 子どもが欲しくない理由〈MA〉  
【(これ以上)子どもが欲しくない方限定、性・年代・未既婚・子有無別】

	N	今の家族構成に満足している	育てたいひとりひとりに十分手をかけて	仕事を続けるのが難しくなりそう・仕事を続けるのが出そう・仕事中にさしやうが難い	配偶者の家事・子育てへの協力が期待できない	親の協力が期待できない	保育サービスを利用できない	経済的に難しい	育児にかかる費用が心配	将来の教育費が心配	住居が狭い	自分や夫婦だけの時間がとれない	子どもと一緒に過ごす時間を十分に取れない	子育てをする体力がない	その他	特になし	無回答
全体	( 349)	47.3	17.5	18.1	13.8	10.3	4.0	54.7	48.4	49.9	16.6	15.2	10.3	28.4	14.3	7.2	1.7
男性 全体	( 103)	39.8	13.6	6.8	4.9	7.8	2.9	52.4	36.9	38.8	15.5	12.6	10.7	15.5	8.7	10.7	2.9
女性 全体	( 246)	50.4	19.1	22.8	17.5	11.4	4.5	55.7	53.3	54.5	17.1	16.3	10.2	33.7	16.7	5.7	1.2
未婚 全体	( 84)	7.1	0.0	16.7	3.6	3.6	2.4	38.1	25.0	21.4	1.2	13.1	8.3	16.7	20.2	27.4	2.4
” 男性 全体	( 37)	8.1	0.0	8.1	2.7	0.0	2.7	43.2	18.9	16.2	2.7	13.5	10.8	8.1	8.1	29.7	2.7
” ” 20代	( 17)	11.8	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0	29.4	23.5	17.6	0.0	11.8	23.5	11.8	5.9	41.2	0.0
” ” 30代	( 20)	5.0	0.0	5.0	5.0	0.0	5.0	55.0	15.0	15.0	5.0	15.0	0.0	5.0	10.0	20.0	5.0
” 女性 全体	( 47)	6.4	0.0	23.4	4.3	6.4	2.1	34.0	29.8	25.5	0.0	12.8	6.4	23.4	29.8	25.5	2.1
” ” 20代	( 17)	11.8	0.0	35.3	5.9	0.0	5.9	41.2	23.5	17.6	0.0	17.6	5.9	5.9	29.4	23.5	0.0
” ” 30代	( 30)	3.3	0.0	16.7	3.3	10.0	0.0	30.0	33.3	30.0	0.0	10.0	6.7	33.3	30.0	26.7	3.3
既婚 全体	( 264)	60.2	23.1	18.6	17.0	12.5	4.5	60.2	56.1	59.1	21.6	15.9	11.0	32.2	12.5	0.4	1.5
” 男性 全体	( 66)	57.6	21.2	6.1	6.1	12.1	3.0	57.6	47.0	51.5	22.7	12.1	10.6	19.7	9.1	0.0	3.0
” ” 20代	( 4)	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
” ” 30代	( 62)	58.1	19.4	6.5	6.5	9.7	3.2	54.8	43.5	48.4	24.2	11.3	11.3	21.0	9.7	0.0	3.2
” 女性 全体	( 198)	61.1	23.7	22.7	20.7	12.6	5.1	61.1	59.1	61.6	21.2	17.2	11.1	36.4	13.6	0.5	1.0
” ” 20代	( 17)	64.7	23.5	17.6	17.6	17.6	11.8	70.6	88.2	76.5	29.4	23.5	5.9	11.8	11.8	0.0	5.9
” ” 30代	( 181)	60.8	23.8	23.2	21.0	12.2	4.4	60.2	56.4	60.2	20.4	16.6	11.6	38.7	13.8	0.6	0.6
” 子有り	( 240)	62.5	25.4	19.6	17.5	12.9	5.0	63.7	59.6	62.5	23.3	14.2	11.7	32.5	10.0	0.0	1.2
” 子無し	( 24)	37.5	0.0	8.3	12.5	8.3	0.0	25.0	20.8	25.0	4.2	33.3	4.2	29.2	37.5	4.2	4.2

1位 2位 3位

### 3) 世間が考えているであろう子どもの希望人数

◎全体、未既婚、いずれの性・年代でも「2人」の回答が約7～8割であった。

◎結果、全体での平均人数は2.1人、各未既婚・性・年代別でも1.9～2.3人であった。

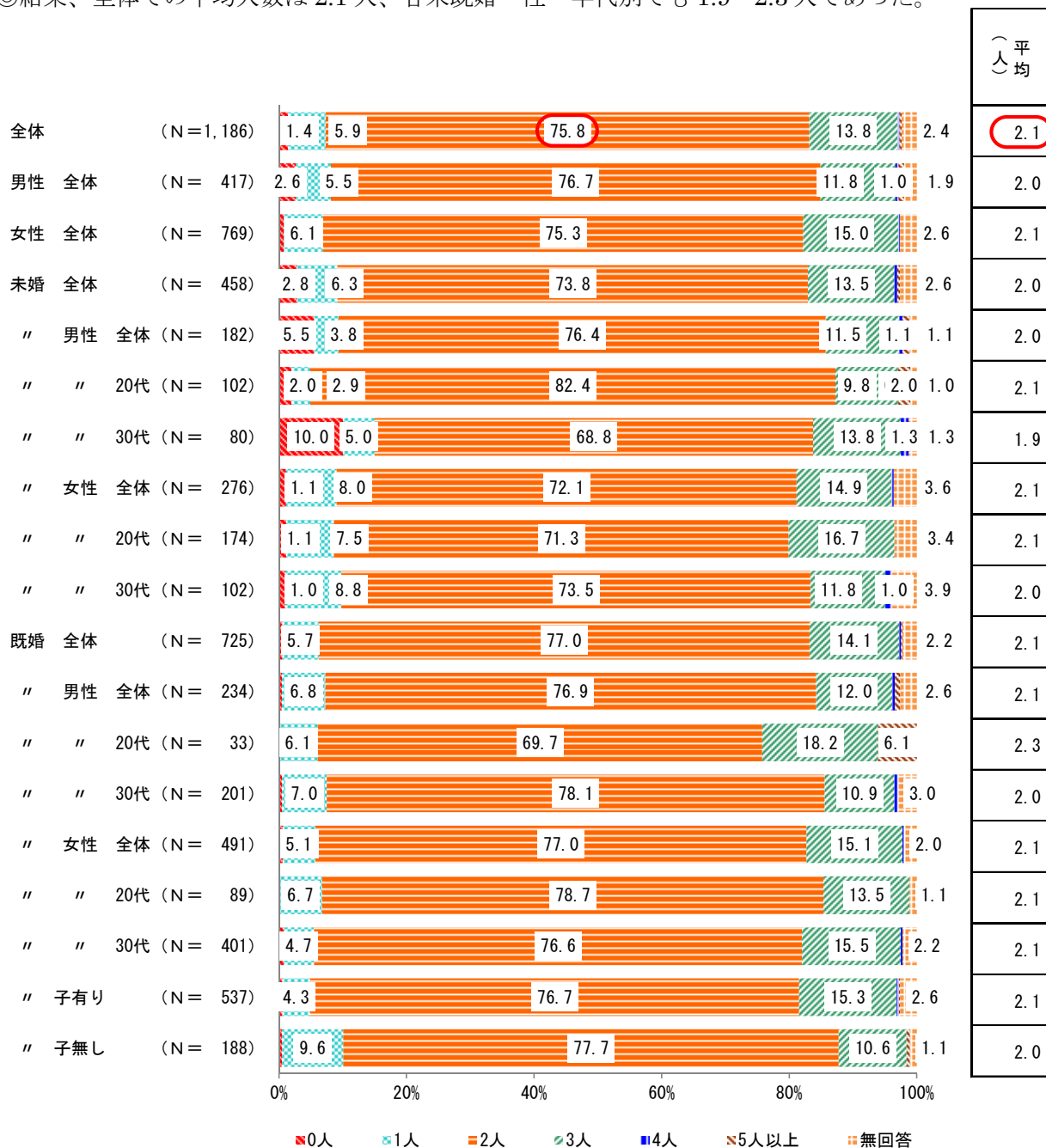


図 7-3 世間が考えているであろう子どもの希望人数 (SA)  
【性・年代・未既婚・子有無別】

#### 4) 子育ての不安要素

◎全体では「経済的にやっていけるか」が最も多く、「仕事をしながら子育てすることが難しそう」が次いで多く挙げられた。以下「きちんとした子どもに育てられるか自信がない」「子育てするのが大変そう」が3割以上で次ぐ。

◎未婚女性では「仕事をしながら子育てすることが難しそう」が最も多く挙げられた。

#### 【内閣府調査との比較 p. 85】

◎「保育サービスを利用できない」について、全体では本市が8.4ポイント上回っていた（内閣府調査では10.1%）。それぞれの区分を見ても、本市が上回っている。

表 7-4 子育ての不安要素〈MA〉性・年代・未婚・子有無別

	N	子育てするのが大変そう	が難しそう	仕事をしながら子育てすること	きちんとした子どもに育てられるか自信がない	仕事にさしさわりがでそう	が期待できない	配偶者の家事・子育てへの協力が期待できない	親の協力が期待できない	保育サービスを利用できない	経済的にやっていけるか	自分や夫婦だけの時間がとれない	子どもと一緒に過ごす時間を十分にとれない	子育てをする体力がない	その他	特になし	無回答
全体	( 1,186)	33.2	50.3	37.4	15.9	12.6	8.5	18.5	59.8	19.4	20.8	15.5	2.6	8.9	1.9		
男性 全体	( 417)	31.4	39.1	29.0	10.6	3.6	5.8	17.0	60.4	18.7	26.9	8.4	1.7	12.9	1.4		
女性 全体	( 769)	34.2	56.3	42.0	18.7	17.4	10.0	19.2	59.4	19.8	17.6	19.4	3.1	6.8	2.2		
未婚 全体	( 458)	45.6	56.6	43.0	17.0	9.2	4.8	22.7	57.2	18.1	19.4	16.6	2.8	8.5	2.0		
“ 男性 全体	( 182)	37.9	44.0	33.0	13.2	2.7	4.9	21.4	61.0	15.4	23.1	7.7	2.2	15.4	0.5		
“ “ 20代	( 102)	37.3	46.1	30.4	8.8	2.9	4.9	15.7	58.8	15.7	26.5	5.9	2.9	16.7	1.0		
“ “ 30代	( 80)	38.8	41.2	36.2	18.8	2.5	5.0	28.7	63.7	15.0	18.8	10.0	1.2	13.8	0.0		
“ 女性 全体	( 276)	50.7	64.9	49.6	19.6	13.4	4.7	23.6	54.7	19.9	17.0	22.5	3.3	4.0	2.9		
“ “ 20代	( 174)	51.7	66.1	52.9	20.7	12.1	3.4	23.6	54.0	24.1	19.0	17.8	1.7	4.0	2.9		
“ “ 30代	( 102)	49.0	62.7	44.1	17.6	15.7	6.9	23.5	55.9	12.7	13.7	30.4	5.9	3.9	2.9		
既婚 全体	( 725)	25.5	46.3	33.9	15.2	14.6	10.8	15.9	61.5	20.3	21.7	14.9	2.3	9.2	1.8		
“ 男性 全体	( 234)	26.5	35.5	26.1	8.5	4.3	6.4	13.7	60.3	21.4	29.9	9.0	1.3	11.1	1.7		
“ “ 20代	( 33)	39.4	45.5	36.4	12.1	9.1	12.1	21.2	63.6	24.2	33.3	3.0	3.0	12.1	0.0		
“ “ 30代	( 201)	24.4	33.8	24.4	8.0	3.5	5.5	12.4	59.7	20.9	29.4	10.0	1.0	10.9	2.0		
“ 女性 全体	( 491)	25.1	51.5	37.7	18.3	19.6	12.8	16.9	62.1	19.8	17.7	17.7	2.9	8.4	1.8		
“ “ 20代	( 89)	23.6	58.4	36.0	13.5	18.0	9.0	27.0	65.2	23.6	14.6	5.6	1.1	7.9	0.0		
“ “ 30代	( 401)	25.4	50.1	38.2	19.5	20.0	13.7	14.7	61.3	19.0	18.5	20.4	3.2	8.5	2.2		
“ 子有り	( 537)	17.9	42.5	31.3	14.0	14.3	10.6	14.9	61.3	16.0	22.2	13.4	1.3	10.1	2.2		
“ 子無し	( 188)	47.3	57.4	41.5	18.6	15.4	11.2	18.6	62.2	32.4	20.2	19.1	5.3	6.9	0.5		

1位 2位 3位

### 5) 子を持つことを意識するきっかけ

◎全体では「周りの友人・知人が次々と結婚や出産をする」「友人の幸せな結婚や家庭の様子を感じる」「周囲から幸せな子どもの話を聞く」の順で多く挙げられた。

◎未婚男性で「子どもを持つことを意識することはない」が最も多く挙げられたことが特徴的である。また未婚女性 30代、既婚男性 30代でも比較的多く挙げられている。

表 7-5 子を持つことを意識するきっかけ (MA) 性・年代・未既婚・子有無別

	N	言親 わや れ家 族族 から 子 子 も も を も つ よ う	ど職 も場 につ いて 人 や 仕 事 の 関 係 者 か ら 子	子友 人 も ・ 知 人 ・ 近 所 の 人 な ど か ら	や周 り の 友 人 ・ 知 人 が 次 々 と 結 婚	を友 人 の 幸 せ な 結 婚 や 家 庭 の 様 子 を 感 じ る	く周 圍 か ら 幸 せ な 子 ど も の 話 を 聞	そ の 他	子 ど も を 持 つ こ と を 意 識 す る こ と は な い	無 回 答
全体	( 1,186)	14.1	8.0	10.0	45.8	37.0	30.2	4.2	23.3	3.4
男性 全体	( 417)	10.8	9.4	8.4	34.1	30.7	20.1	3.8	31.9	3.6
女性 全体	( 769)	15.9	7.3	10.9	52.1	40.4	35.6	4.4	18.6	3.3
未婚 全体	( 458)	13.5	7.0	8.7	42.6	34.5	24.2	4.6	29.5	2.8
“ “ 男性 全体	( 182)	11.5	8.8	8.2	28.0	29.7	16.5	3.3	39.6	2.2
“ “ “ 20代	( 102)	9.8	5.9	5.9	27.5	30.4	17.6	2.0	39.2	2.0
“ “ “ 30代	( 80)	13.8	12.5	11.2	28.7	28.7	15.0	5.0	40.0	2.5
“ “ 女性 全体	( 276)	14.9	5.8	9.1	52.2	37.7	29.3	5.4	22.8	3.3
“ “ “ 20代	( 174)	14.4	5.7	8.0	53.4	37.4	32.8	5.2	19.0	3.4
“ “ “ 30代	( 102)	15.7	5.9	10.8	50.0	38.2	23.5	5.9	29.4	2.9
既婚 全体	( 725)	14.3	8.7	10.9	47.9	38.6	34.1	4.0	19.4	3.6
“ “ 男性 全体	( 234)	10.3	9.8	8.5	38.9	31.6	23.1	4.3	26.1	4.3
“ “ “ 20代	( 33)	18.2	12.1	3.0	45.5	45.5	45.5	6.1	15.2	0.0
“ “ “ 30代	( 201)	9.0	9.5	9.5	37.8	29.4	19.4	4.0	27.9	5.0
“ “ 女性 全体	( 491)	16.3	8.1	12.0	52.1	42.0	39.3	3.9	16.3	3.3
“ “ “ 20代	( 89)	10.1	6.7	14.6	59.6	53.9	43.8	1.1	9.0	1.1
“ “ “ 30代	( 401)	17.7	8.5	11.5	50.6	39.4	38.2	4.5	18.0	3.7
“ “ 子有り	( 537)	12.3	6.9	9.9	45.3	35.9	32.8	3.2	20.9	4.5
“ “ 子無し	( 188)	20.2	13.8	13.8	55.3	46.3	37.8	6.4	15.4	1.1

1位 2位 3位

## 6) 子育てに必要と考える夫婦の年収

◎全体での平均額は 623.3 万円。

◎未婚と既婚を比較すると、男女・各年代とも既婚者の方が必要年収を高く見積もる傾向がある。

◎男女別に比較すると、女性より男性の方が必要年収を高く見積もっている。

表 7-6 子育てに必要と考える夫婦の年収〈SA〉【性・年代・未既婚・子有無別】

	N	収入は関係ない	100万円未満	満100万円以上 200万円未満	満200万円以上 300万円未満	満300万円以上 400万円未満	満400万円以上 500万円未満	満500万円以上 600万円未満	満600万円以上 800万円未満	800万円以上 1000万円未満	1000万円以上	わからない	無回答	平均(万円)
全体	( 1,186)	2.3	0.2	0.4	2.0	7.3	15.2	22.1	22.2	11.6	5.1	9.9	1.9	623.3
男性 全体	( 417)	3.6	0.2	0.5	2.6	8.2	15.6	18.5	23.5	11.5	6.7	7.7	1.4	629.7
女性 全体	( 769)	1.6	0.1	0.4	1.7	6.9	15.0	24.1	21.5	11.6	4.2	11.1	2.1	619.8
未婚 全体	( 458)	2.2	0.0	0.7	3.3	9.4	15.1	20.7	19.7	8.5	2.8	15.7	2.0	585.7
〃 男性 全体	( 182)	3.8	0.0	1.1	3.3	8.2	16.5	20.3	17.0	11.5	4.4	13.2	0.5	602.0
〃 〃 20代	( 102)	2.9	0.0	1.0	4.9	7.8	21.6	19.6	15.7	10.8	5.9	8.8	1.0	593.3
〃 〃 30代	( 80)	5.0	0.0	1.3	1.3	8.8	10.0	21.3	18.8	12.5	2.5	18.8	0.0	614.8
〃 女性 全体	( 276)	1.1	0.0	0.4	3.3	10.1	14.1	21.0	21.4	6.5	1.8	17.4	2.9	574.4
〃 〃 20代	( 174)	0.6	0.0	0.6	4.0	13.8	13.2	20.1	23.0	5.2	1.7	14.9	2.9	558.5
〃 〃 30代	( 102)	2.0	0.0	0.0	2.0	3.9	15.7	22.5	18.6	8.8	2.0	21.6	2.9	604.7
既婚 全体	( 725)	2.3	0.3	0.3	1.2	6.1	15.2	23.0	23.9	13.5	6.5	6.1	1.7	644.8
〃 男性 全体	( 234)	3.4	0.4	0.0	2.1	8.1	15.0	17.1	28.6	11.5	8.5	3.4	1.7	649.1
〃 〃 20代	( 33)	0.0	3.0	0.0	12.1	6.1	27.3	9.1	18.2	15.2	9.1	0.0	0.0	589.4
〃 〃 30代	( 201)	4.0	0.0	0.0	0.5	8.5	12.9	18.4	30.3	10.9	8.5	4.0	2.0	659.9
〃 女性 全体	( 491)	1.8	0.2	0.4	0.8	5.1	15.3	25.9	21.6	14.5	5.5	7.3	1.6	642.7
〃 〃 20代	( 89)	1.1	1.1	1.1	1.1	9.0	15.7	16.9	24.7	12.4	5.6	11.2	0.0	623.1
〃 〃 30代	( 401)	2.0	0.0	0.2	0.7	4.2	15.2	27.7	20.9	15.0	5.5	6.5	2.0	647.2
〃 子有り	( 537)	2.4	0.2	0.2	0.9	5.6	16.9	23.1	24.0	13.4	6.0	5.2	2.0	642.1
〃 子無し	( 188)	2.1	0.5	0.5	2.1	7.4	10.1	22.9	23.4	13.8	8.0	8.5	0.5	652.7

1位 2位 3位

※「平均(万円)」を算出するに当たって、各カテゴリー表記の中央の値(「100万円~200万円未満」は150万円、「200万円~300万円未満」は250万円、「300万円~400万円未満」は350万円、「400万円~500万円未満」は450万円、「500万円~600万円未満」は550万円、「600万円~800万円未満」は700万円、「800万円~1000万円未満」は900万円)を用いた。なお、「100万円未満」は50万円、「1000万円以上」は1100万円としている。  
また、「収入は関係ない」「わからない」「無回答」は算出から除外している。



## (8) 理想とする結婚後の仕事や育児について

### 1) 女性の理想の生き方

- ◎【図 8-1-1】全体、未既婚、いずれの性・年代についても「結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ」が最も多く挙げられており、多くの区分で 5 割を超えているものの、未婚男性 30 代、未婚女性 30 代では約 4 割となっている。
- ◎【図 8-1-2、8-1-3】年収別では女性の年収「200 万円以上」、雇用形態別ではやはり女性の「正規雇用」で「結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける」の割合が 4 割を超えている。

#### 【内閣府調査との比較 p. 69】

- ◎【図 8-1-1】「結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける」を見ると、全体では本市が 6.9 ポイント下回っていた（内閣府調査 32.8%）。いずれの区分でも本市の値は下回っていたが、特に未婚女性 30 代は -15.8 ポイントと大幅に下回っていた（内閣府調査 38.3%）。
- ◎【図 8-1-2、8-1-3】年収別、雇用形態別で「仕事も一生続ける」との回答が多かった年収「200 万円以上」の女性、「正規雇用」の女性であるが、全国値はそれぞれ 49.0%、50.2%であり、いずれも全国値を下回っていた。

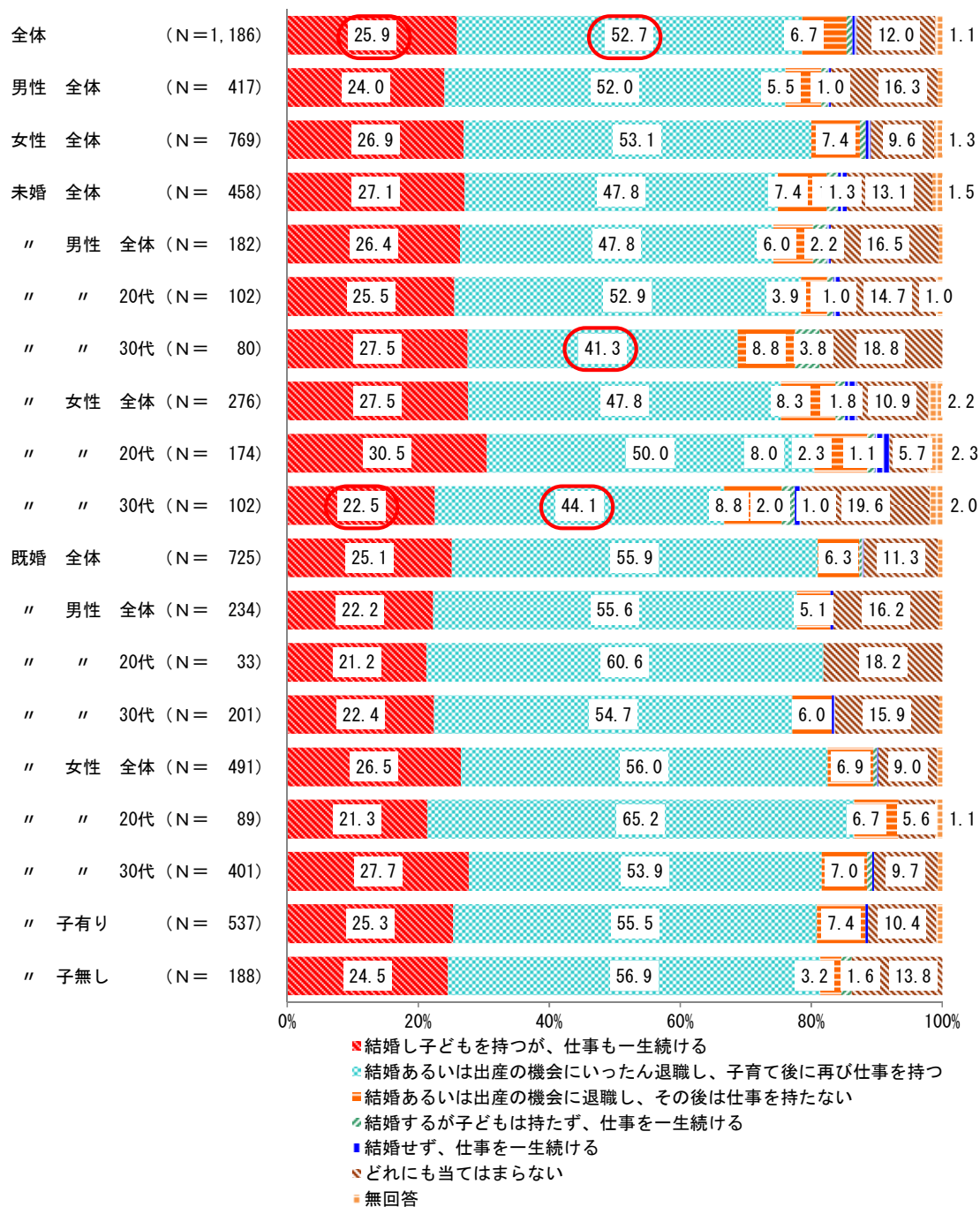


図 8-1-1 女性の理想の生き方〈SA〉【性・年代・未既婚・子有無別】

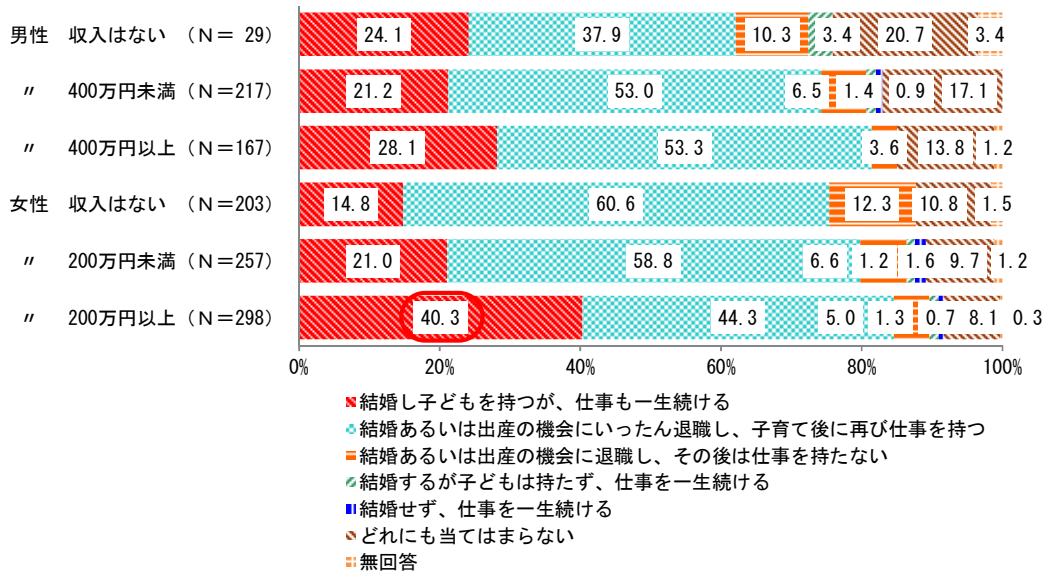


図 8-1-2 女性の理想の生き方〈SA〉【年収別】

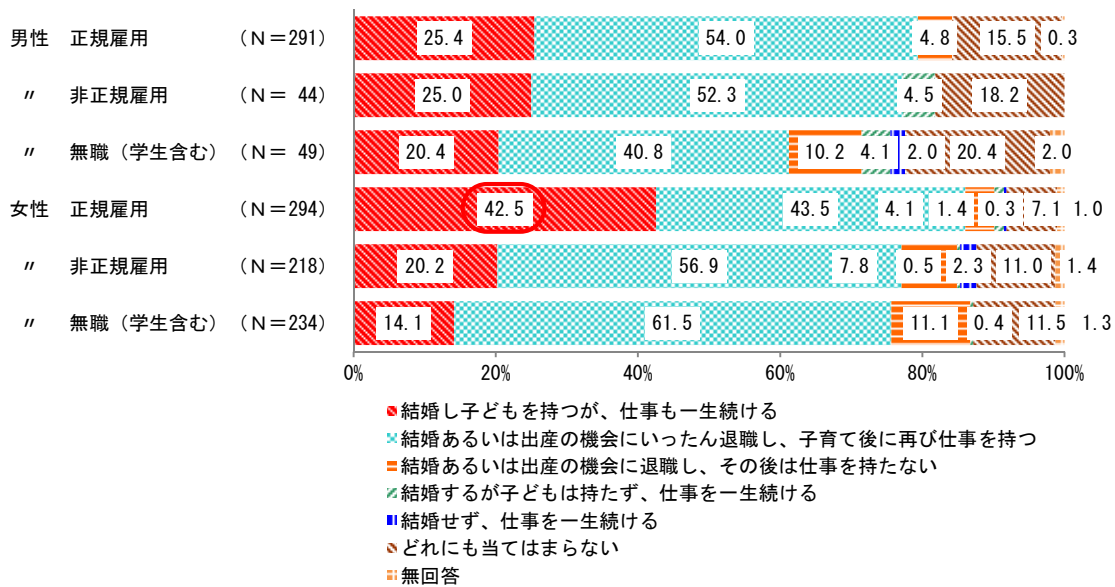


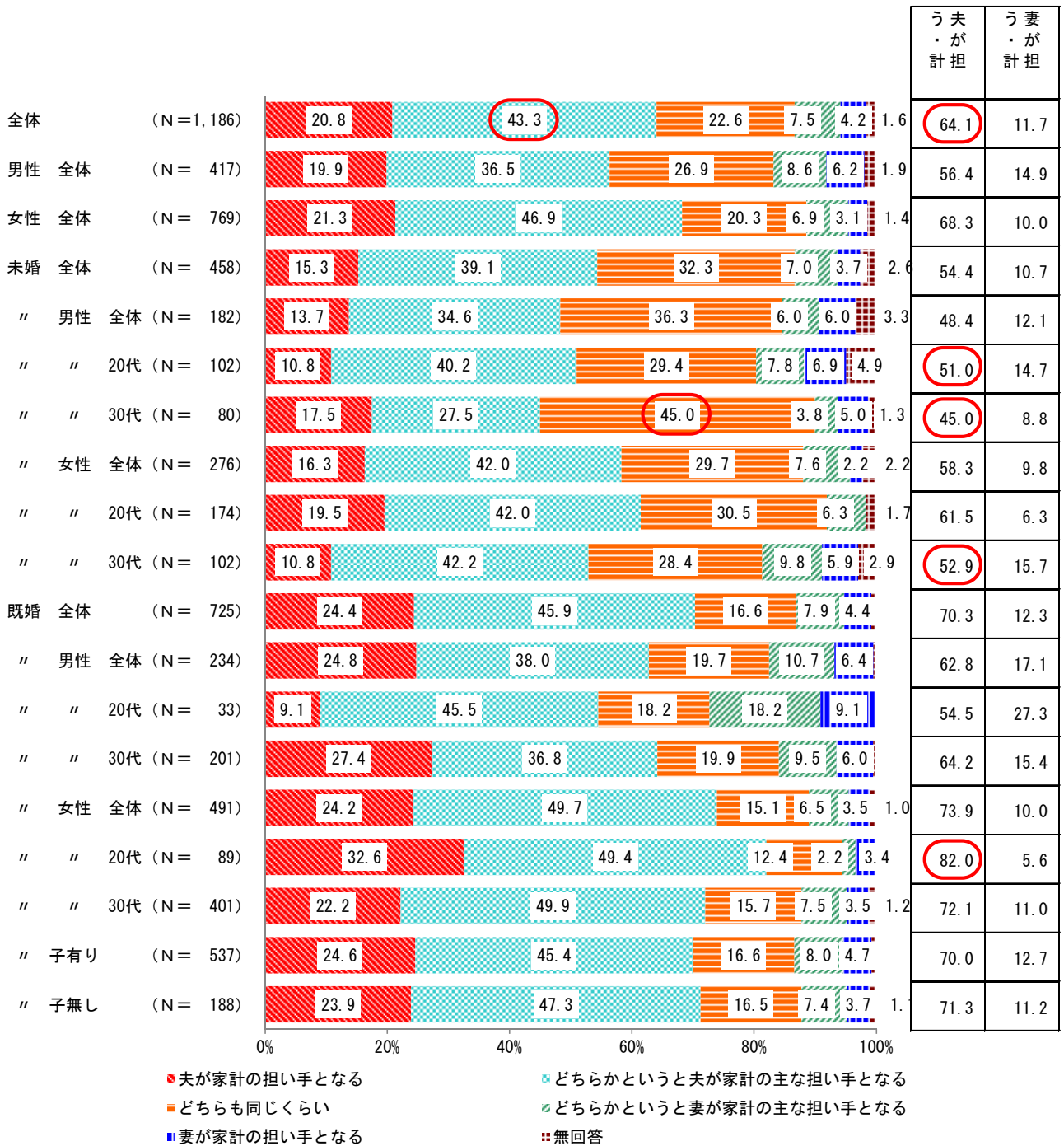
図 8-1-2 女性の理想の生き方〈SA〉【雇用形態別】

## 2) 家計の分担

- ◎【図 8-2-1】全体、また、ほとんどの区分で「どちらかというとなら夫が家計の主な担手となる」の比率が最も高かった。
- ◎【〃】一方で未婚男性 30 代のみ「どちらも同じくらい」が最も多かった。
- ◎【〃】「夫が家計の担手となる」「どちらかというとなら夫が家計の主な担手となる」の計である「夫が担う・計」は全体では 64.1%であった。ほとんどの未既婚、性・年代で 5 割を超えていたが、未婚男性 30 代のみ 5 割未満となっている。
- ◎【図 8-2-2】年収別を見ると、「夫が担う・計」の率は特に年収「400 万円未満」の男性で低く約 5 割となっている。
- ◎【図 8-2-3】雇用形態別に見ると、「夫が担う・計」の率は特に「非正規雇用」男性で低く 4 割以下であった。

### 【内閣府調査との比較 p.71】

- ◎【図 8-2-1】「夫が担う・計」について、統計的に有意ではないが、全体では本市が若干下回っており（内閣府調査 66.8%）、各区分を見ても、既婚女性 20 代以外で下回っている。
- ◎【〃】特に内閣府調査を下回っていたのが未婚男性（20 代、30 代）と未婚女性 30 代で、いずれも -10 ポイント超であった（内閣府調査で未婚男性 20 代は 61.9%、未婚男性 30 代 58.0%、未婚女性 30 代 67.2%）。
- ◎【〃】唯一「夫が担う・計」が上回っていたのが既婚女性 20 代で、+14.8 ポイントであった（内閣府調査 67.2%）



※「夫が担う・計」は、「夫が家計の担い手となる」「どちらかというとな夫が家計の担い手となる」の合計。「妻が担う・計」は、「妻が家計の担い手となる」「どちらかというとな妻が家計の担い手となる」の合計。

図 8-2-1 家計の分担 (SA) 【性・年代・未既婚・子有無別】

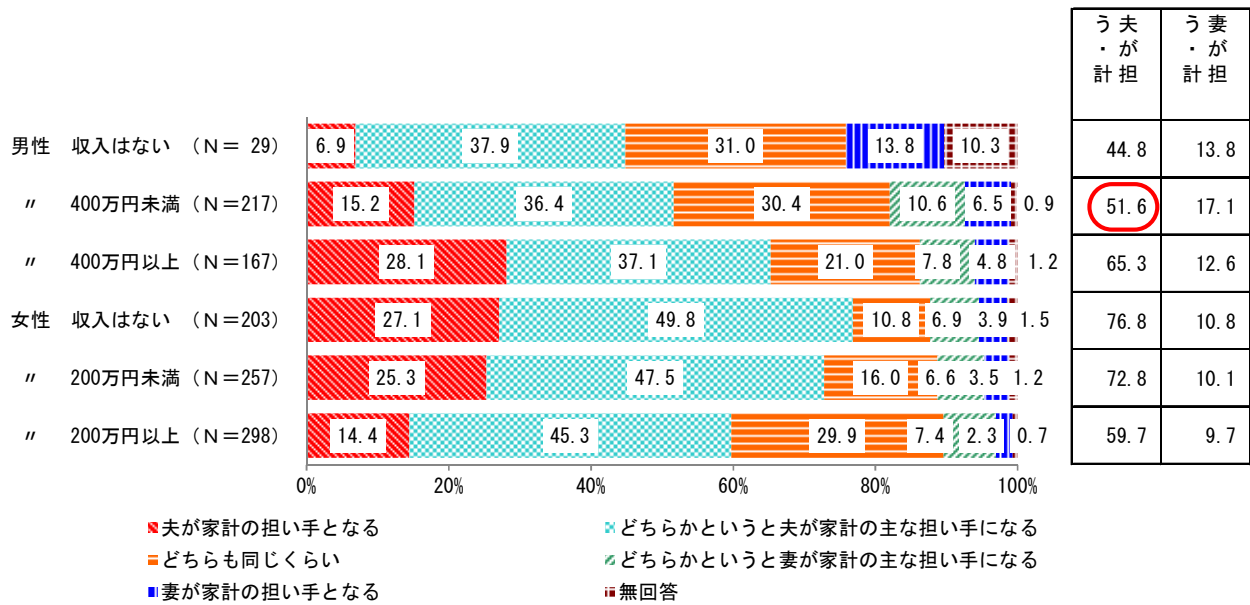


図 8-2-1 家計の分担 (SA) 【年収別】

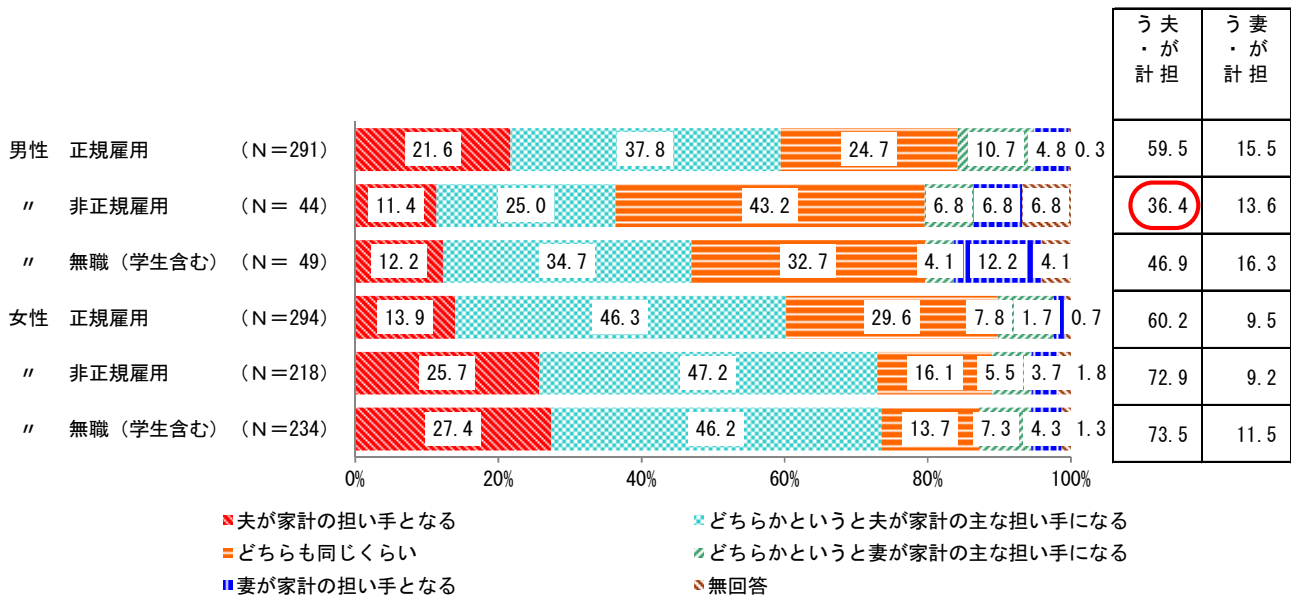


図 8-2-1 家計の分担 (SA) 【雇用形態別】

## Ⅱ. グループヒアリング調査

---

### 1. 調査の概要

#### (1) 実施日時

第1回：平成28年9月3日（土）14:00～17:00

第2回：平成28年9月17日（土）14:00～17:00

#### (2) 会場

道特会館 5階大会議室 A（札幌市中央区北2条西2丁目26番）

#### (3) 参加者

アンケート調査票の「グループヒアリング調査へのご参加のお願い」に対し参加の意思を示した方に打診させていただいた結果、男性15名、女性35名、計50名の参加を得た。内訳は下記の通り。

##### 第1回（計26名）

		男性	女性
未婚	20代	2名	5名
	30代	4名	4名
既婚	20代	1名	1名
	30代	4名	5名

##### 第2回（計24名）

		男性	女性
未婚	20代	—	4名
	30代	2名	5名
既婚	20代	—	3名
	30代	2名	8名

#### (4) 実施方法

◎未婚・男女・年代別に各回4～7名のグループを4～5つ作成し、各グループにはインタビュアー1名を配置した。

◎インタビュアーがヒアリング票を提示しながら設問について説明し、各参加者は設問に対する回答を配布した付箋に記入。記入後にその内容を説明しながらテーブルに置かれた模造紙（ヒアリングシート）に貼り付けていく。インタビュアーは必要に応じ追加質問を行うことで回答内容を補足・充実させる、というワークショップ形式にて行った。

#### (5) その他

参加者には謝礼として3,000円相当のクオカードを差し上げた。



## 2. 調査風景



主催者挨拶



ヒアリングの進め方を説明



会場の全体風景



グループヒアリング風景



グループヒアリング風景



作成したヒアリングシート



### 3. 調査結果

#### (1) グループヒアリング調査参加者の属性（アンケート調査結果より）

未婚・性別・年代	出身地	勤務形態	昨年度の収入	学歴
未婚男性 20代	道外	正規職員	300万円以上～400万円	大学
	道外	正規職員	400万円以上～500万円	高等学校
未婚男性 30代	南区	正規職員	100万円以上～200万円	大学
	道外	正規職員	500万円以上～600万円	大学院
	手稲区	無職・家事専業	収入はない	中学校
	厚別区	契約社員	100万円以上～200万円	高等学校
	中央区	パート・バイト	100万円以上～200万円	大学
既婚男性 20代	東区	パート・バイト	100万円以上～200万円	短大・高専
	その他道内	正規職員	300万円以上～400万円	大学
既婚男性 30代	その他道内	正規職員	200万円以上～300万円	高等学校
	その他道内	正規職員	300万円以上～400万円	大学
	白石区	正規職員	400万円以上～500万円	大学
	その他道内	正規職員	400万円以上～500万円	大学
	道外	正規職員	600万円以上～800万円	大学
	(不明)	自営業主	100万円未満	高等学校
未婚女性 20代	南区	正規職員	100万円以上～200万円	専門学校(高卒)
	その他道内	正規職員	100万円以上～200万円	大学
	その他道内	正規職員	200万円以上～300万円	短大・高専
	北区	正規職員	200万円以上～300万円	高等学校
	豊平区	正規職員	500万円以上～600万円	短大・高専
	その他道内	学生	収入はない	大学
	東区	学生	収入はない	大学
	中央区	学生	100万円未満	大学
未婚女性 30代	その他道内	学生	100万円未満	大学
	その他道内	パート・バイト	100万円未満	短大・高専
	その他道内	正規職員	100万円以上～200万円	大学
	その他道内	正規職員	200万円以上～300万円	専門学校(高卒)
	手稲区	正規職員	300万円以上～400万円	大学
	西区	正規職員	300万円以上～400万円	大学院
	その他道内	正規職員	300万円以上～400万円	短大・高専
	南区	正規職員	400万円以上～500万円	大学
既婚女性 20代	南区	無職・家事専業	収入はない	専門学校(高卒)
	東区	契約社員	100万円以上～200万円	大学
	豊平区	無職・家事専業	収入はない	高等学校
	その他道内	無職・家事専業	収入はない	短大・高専
既婚女性 30代	北区	パート・バイト	100万円未満	高等学校
	その他道内	パート・バイト	200万円以上～300万円	大学
	白石区	正規職員	200万円以上～300万円	高等学校
	西区	正規職員	200万円以上～300万円	大学
	清田区	正規職員	400万円以上～500万円	大学
	その他道内	正規職員	500万円以上～600万円	高等学校
	その他道内	パート・バイト	100万円未満	高等学校
	その他道内	パート・バイト	100万円未満	短大・高専
	その他道内	自営業主	100万円未満	大学
	その他道内	無職・家事専業	100万円未満	専門学校(高卒)
	白石区	契約社員	100万円以上～200万円	短大・高専
	その他道内	契約社員	200万円以上～300万円	大学
	その他道内	無職・家事専業	収入はない	大学
	道外	無職・家事専業	収入はない	短大・高専
東区	無職・家事専業	収入はない	高等学校	

(2) グループヒアリングの回答

1) 導入質問 (アイスブレイク) ~自身のコミュニケーション力

未既婚・性別・年代	Q01(1)自分はコミュニケーション力がある方だと思う？	Q01(2)どんなところが？
未婚男性 20代	③どちらかと言えない方	人を笑わせることが苦手。
	②どちらかと言えはある方	仕事場での雑談に積極的に参加するため。
未婚男性 30代	③どちらかと言えない方	ある程度の応対はできるが、初対面は不得意。
	③どちらかと言えない方	人見知りなところ。〔人と対面するのが苦手。〕
	③どちらかと言えない方	人見知りなので。
	②どちらかと言えはある方	自分の考えを主張できる。
	③どちらかと言えない方	知人・友人からは「ある」と言われるが、人と話す際やメール・LINEをする時、失礼がないように、意図がキチンと伝わるように非常に気を遣ってしまい、会話に間ができるのが苦手なため。
	④ない	話をするを考えていないから。
既婚男性 20代	③どちらかと言えない方	打ち解けると良いが、人見知りがち。
既婚男性 30代	④ない	仕事以外は話しをしない。
	②どちらかと言えはある方	特に苦手ではない。
	②どちらかと言えはある方	話すことが苦ではない。
	②どちらかと言えはある方	接客業をしているため、多くの人と接する機会があるため。
	④ない	空気が読めない。人見知りする。
	②どちらかと言えはある方	自分から積極的に話しかけないが、話せば話せる。
未婚女性 20代	②どちらかと言えはある方	話しやすい人とは初対面でも話せる。
	③どちらかと言えない方	人見知りで、人前でしゃべるのが苦手だから。
	②どちらかと言えはある方	人見知りをあまりしません。
	①ある	人見知りしない。ツアー旅行に一人で参加しても単独行動となったことがない。〔ツアー旅行のグループにすぐ混ざることが出来る。〕
	①ある	職業柄、誰とでも話すことができるから。
	①ある	おしゃべり。親しみやすさ。人見知りしない。
	①ある	人並みに話したり、発表したりできる。
	②どちらかと言えはある方	誰とでも話せる。
未婚女性 30代	③どちらかと言えない方	人見知りのため、話がうまくできない。
	③どちらかと言えない方	一対一では「ある方」。人が多いと「無い」かも。
	②どちらかと言えはある方	わりと誰とでも話が弾むので。〔職場には70代くらいの人でも働いているが、年齢でギャップは感じない。〕
	③どちらかと言えない方	人に話しかける勇気があまりないから。〔職場では平気。〕
	②どちらかと言えはある方	知らない人の中に放りされても、まあ何とかなる。
	③どちらかと言えない方	話題作りが苦手。
	③どちらかと言えない方	積極的に話をするのが苦手なので。
	③どちらかと言えない方	あまり他人に興味がない方。必要ないと思う。

未既婚・性別・年代	Q01(1)自分はコミュニケーションある方だと思う？	Q01(2)どんなところが？
未婚女性 30代	③どちらかと言えばない方	自分から話題を提供できない。
既婚女性 20代	④ない	何か聞かれた時、その答えのみで、その後会話が続けられない。
	④ない	緊張する、色々考えすぎてしゃべれない。
	②どちらかと言えばある方	人見知りだが初対面でもそれなりに会話できる。
	②どちらかと言えばある方	人見知りしないので。
既婚女性 30代	②どちらかと言えばある方	あまり人見知りしないところ。知らない人と話すのが好きなところ。
	③どちらかと言えばない方	人見知りがあるため。
	②どちらかと言えばある方	初対面でも割と話せる。
	②どちらかと言えばある方	話ができるような空気をつくったり、気をつかうようにはしている。〔年代多様な職場では、コミュニケーションが必要なので。〕
	②どちらかと言えばある方	初対面の人とでも緊張せずスムーズに会話できる。
	③どちらかと言えばない方	初対面の人と話した後、とても疲労感がある。
	②どちらかと言えばある方	営業職だったので、人と話し慣れているから。
	③どちらかと言えばない方	説明が下手。
	②どちらかと言えばある方	転勤族の妻なので、新しい土地でやっていくことが多いから。
	②どちらかと言えばある方	人を好きになれた。茶道などを通して磨いていったから。
	③どちらかと言えばない方	緊張しやすいところ。
②どちらかと言えばある方	新しい場所でも、わりと話ができる。	
④ない	友達をつくれないうタイプです。	

## 2) 導入質問 (アイスブレイク) ~今、ほしいもの

- ◎今一番ほしいものを聞いたところ (Q02(1)) 男性は5名が「マイホーム」「家」を挙げた。一方、女性で「家」を挙げた人はいなかった。「マイホーム」を挙げた理由としては (Q02(2)) 「札幌市に永住/定住したいため」との回答が寄せられた。
- ◎一方、女性では特に「時間」が多く挙げられた (15名)。また「お金」も10名が挙げている。
- ◎「時間」を挙げた理由 (Q02(2)) としては、既婚女性は「出産をきっかけに自分の時間が全く無くなってしまったから」が代表的な意見と考えられる。未婚女性は「旅行に行きたい」や「お金を貯めるため」などを挙げている。

未既婚・性別・年代	Q02(1) ずばり、今一番ほしいものは？	Q02(2) その理由は？
未婚男性 20代	<u>マイホーム</u>	札幌市に永住したいため。
	<u>マイホーム</u>	札幌市に定住したいため。
未婚男性 30代	図書カード。	読みたい本が色々あるから。
	ラジオ	ワイドFM対応のものを持っていないので。〔周波数が違うらしい。〕
	お金	好きな事が出来るため。何でも買える。
	冷蔵庫	彼女と半同棲していて冷蔵庫が狭くなったため。
	無し	欲しいものを考えていないから。
既婚男性 20代	<u>家</u>	友人が家を建てると聞いてほしくなった。
既婚男性 30代	なし。	—
	免許	嫁を楽させたい。
	<u>家</u>	家賃が高いのと、せまいので。
	<u>家</u>	子どもが大きくなってきたから。
	腕時計	ボロボロだから。
	お金。	事務所開業費に使う。
未婚女性 20代	<u>時間</u>	勉強。 <u>お金を貯めるため。</u>
	長期休暇	会社のシステム的に取得しにくいから (旅行に行けない)。
	<u>時間</u>	1日24時間では足りないと感じている。
	<u>時間</u>	時間があれば何でも手に入るから。
	若さ	努力しても手に入らないから。
	扇風機	窓を開けて寝ることが出来ないので夜暑くて…。
	<u>お金</u>	欲しいものが沢山あるから。
	<u>お金</u>	大体のことはできるようになるから。
英語力。	卒論のため。	
未婚女性 30代	<u>お金と時間。</u>	<u>旅行に行きたい(フランス)。</u> [遠い所で、非日常を過ごしたい]
	<u>時間</u>	長期の旅行にすぐ行けるから。
	安心した暮らし。	仕事も結婚も今現在は不安があるため。 [グループ全員が深くうなずいた意見]
	<u>お金</u>	結婚費用のため。
	<u>お金と時間。</u>	これで大概の問題は解決に近づけられる。
	旅行に行ける <u>お金と時間</u> (イタリア)。	ゆっくりとして日常と違う感覚がほしい。 [遠い所で、非日常を過ごしたい]
	安定した未来。	先行きが不安なので。
<u>一人の時間、休み。</u>	家のことが忙しい。 [身体が不自由な家族と同居している。]	

2) 導入質問 (アイスブレイク) ~今、ほしいもの (続き)

未既婚・性別・年代	Q02(1) ずばり、今一番ほしいものは？	Q02(2) その理由は？
未婚女性 30代	運転能力。	ペーパードライバーなので、自分で行きたいところに行けないことが多い。〔または、助手席にのせてくれる人〕。
既婚女性 20代	<u>自分の時間。</u>	育児も家事も1人で、旦那さんに子どもを預けてどこかに行く、というのがない！
	<u>時間</u>	使い方が下手で寝不足になることが多いから。
既婚女性 30代	<u>時間</u>	自分だけの自由にできる時間がほしい。〔子どもが10歳なので、自由な時間はとりにくい。〕
	<u>時間</u>	睡眠不足だから。
	<u>1人で使える自由な時間。</u>	仕事、家事、育児に追われて、自分の時間が持てないので。
	余裕。	<u>時間、経済面。</u>
	<u>自分のために使える時間。</u>	<u>出産をきっかけに自分の時間が全く無くなってしまったから。</u>
	<u>お金</u> と自分の分身。	子育てにはお金と体力がいるから。子どもと自分の歯の矯正をしたいから。
	<u>ゆとり(物質的な豊かさ)</u>	もっと豊かになって家族と人生を謳歌したいので。
	健康。	1番大事だから。
	保育園の入園権利。	子ども2人別々の場所の入所になりそう。

### 3) 恋愛について

- ◎恋愛しない理由について、男女とも「出会いがない」「出会いのきっかけがない」を多く挙げた（男性5名、女性17名）。その要因として「男性ばかりの職場」「職場のみの人間関係が多い」「女性の多い職場」「仕事が忙しくて、出会う暇がない」など、職場の環境・仕事の忙しさが挙げられている。
- ◎また、特に未婚・既婚30代女性からは「恋愛したくないわけではないけど、自分の中の物差しに合った相手と出会えない」「出会っても良い人がいない」など、理想の高さも示唆された（6名）。

未既婚・性別・年代	Q11(1) 恋人がいない人は、なぜ恋愛しないの？	Q11(2) どうすれば恋人を作ろうとするの？
未婚男性 20代	(友)(直属の上司:40歳)性格の合う合わないが煩わしい。一人が楽。	婚活パーティーのようなもの。〔手数が必要。〕
	<u>異性と接する機会がない。</u>	交流の場にて異性と接する必要がある。〔 <u>男性ばかりの職場。</u> 〕
未婚男性 30代	自信がない。女が怖い。	強制力。絶対嫌というわけではないので、きっかけがあれば。〔望んではいる。女の子に何かと言われたことがトラウマ。〕
	<u>出会いがない。</u>	良い出会いがあれば作ろうとする。〔理想的な人との出会い。現状(生活)においては厳しそう。〕
	恋愛はしたいですが、 <u>出会いが少ない</u> 。最近では面倒になっている。	出会いの条件がゆるくなるとうれしい。年齢制限や収入など。〔女性側の条件が厳しい。上手くいかず…頑張っていたが…。一人で行く方が楽。〕
	(友)趣味を大事にする人で、出張の多い、 <u>男性比率の高い職場にいるため。</u>	身近な女性とたまたま意気投合することがあれば。〔積極的に探していない。〕
	<u>出会いの機会がない。</u>	色々と異性を見つけて。
既婚男性 20代	(友) <u>出会いの場が少ない(職場のみの人間関係が多い)。</u>	(友)飲み会に友人を誘うなど、外に一緒に出る。〔友人などに身近な場をセットしてあげれば。〕〔帰って好きな人が待っていてくれるのは精神〕〔寂しさが無い〕
既婚男性 30代	(友)「自分の時間が無くなる」と言っている。	(友)結婚に良いイメージを植え付ける。メリット。
	(友)友人はいるが、恋愛まで発展しない。興味がない気がする。	周りの友人が結婚すると、少しは焦って考えるようになるのでは。〔子どもがいること、一緒に過ごすことが幸せ。〕〔生活の日常の作業を分担できる。〕
	(友)正職員でない。お金があまりない。 <u>出会いが少ない。</u>	(友)職場にいい人がいれば。
	(友)気の合う人がいない。	その気になれば。〔必要性が感じられない。共感できるモノがあれば。〕〔ライフスタイル、趣味。〕
	(友)作りたいがうまく合う人に出会えない。〔出会い、恋愛に対しては関心がある。〕	(友)積極的に出会いの場に出るべき。性格もあるが…。〔合コン・婚活などの場に積極的に出るべき。〕
	(友) <u>出会いがない。</u>	出会いの機会を確保。頑張りすぎない。〔成り行きに任せることと、あまりガツガツしないことがポイントかな。〕



3) 恋愛について (続き)

未既婚・性別・年代	Q11(1) 恋人がいない人は、なぜ恋愛しないの？	Q11(2) どうすれば恋人を作ろうとするの？
未婚女性 20代	(友) <b>出会うチャンスがない。</b> 変な人しか来ない。	良い人に出会えれば。 <b>【女性の多い職場。】</b>
	(友) <b>出会いがない。</b>	(友) 出会いがあれば…？
	恋人が欲しいです。	恋人を作ろうと努力しています。
	(友) <b>出会いがない。</b>	(友) 作ろうとはしているので、積極性というよりはウマが合うか。 [自分の好みの人がいれば。]
	(友) 男子が怖い。	偏見が無くなれば。
	タイミングを失っている。	時間など。
	(友) <b>出会う機会がない。</b>	(友) 周りの人が出産や結婚をしたら。 [周りが動けば、自分も動くかも。]
	昨日別れたばかり。	リアルタイムすぎて今は考えられません。
	タイミング？恋愛しようとは思っている。	—
未婚女性 30代	(友) <b>恋愛したくても出会う機会がない。</b> [会うことは会っても、なぜか進展しない。]	方法を模索中。はっきりとわかっていない。
	今付き合っている人がいる。(友) 仕事が面白い。男性の仕事の甘さが目について、 <b>尊敬できる男がいなくなる。</b> [30代になると、尊敬できる人といえば既婚者が多くなる。]	(友) いい人がいれば(今はいい人がいない)。
	いいなと思う人に出会わない。	自然な機会があれば。
	今付き合っている人はいる。以前は出会いの場に良い人がいなかった。	出会いの場に変な人がいなければ良いのだが。だんだん未婚の良い人がいなくなる。 [今付き合っている人は、友達の友達を1対1で紹介してもらった。]
	今付き合っている人はいない。 <b>多分理想が高い。</b>	イベント等には、時間があれば参加している。 [しかし、 <b>尊敬できる人には婚活パーティーでは出会えない。</b> ] [年齢的なことも考えるとボランティアや趣味の場で自分が楽しめて出会いのある場のほうが良いといわれ、シフトし始めている。]
	<b>出会いの機会がない。</b> 周りは、既婚者や相手がいたり。飲み会もあまり好きではない。	独身同士で集まれるところがあれば。
	今、付き合っている人はいない。恋愛はしたいが出会いがない。 <b>出会っても良い人がいない。</b> [別れたばかりで恋愛はしたい。]	良い出会いの場に行きたい。 [南区まちコンにキャンセル待ちで参加できた。合コンでは有名な「ホワイトキー」が運営しており、行政が委託するのかとびっくりした。男性が5分交代で席をずれていく形で、男女ともに自己アピールする。20代が多かったし、その世代向けの内容。音楽もDJもうるさくて落ち着かない。ゆったりした会に参加したい。職業は消防士さんなどしっかりした方も多かった印象。50人と話して疲れた。成果にはつながっていない。]
	いない。	交際相手が欲しくないわけではない。知っていればつくっていると思う一方で、心のどこかで面倒と思っている。

3) 恋愛について (続き)

未既婚・性別・年代	Q11(1) 恋人がいらない人は、なぜ恋愛しないの？	Q11(2) どうすれば恋人を作ろうとするの？
未婚女性 30代	今付き合っている人はいない。相思相愛になるのが難しい。〔機会はあるのだが、先に進まない。〕	作ろうという努力はしているつもり。〔年齢が30代になってくるとお互いに慎重になる。この人と結婚するのか、何年後に結婚するか、など頭で考えてしまって、勢いが無くなる。〕
既婚女性 20代	(友) <u>機会がない。</u>	(友) 出会いがあれば。
	自分の時間や趣味が充実している。	人生設計を考え直した時に、パートナーや家族が大事だと思った。
	(友) 作ろうと思わないから(今の生活が充実しているから)。〔「充実」ゲーム、仕事、友人と遊ぶ。〕	淋しいとか、誰かそばにいてほしいと思えば…。
	(友) <u>仕事が忙しくて、出会う暇がない。</u>	(友) 出会いがあれば。
既婚女性 30代	<u>恋愛したくないわけではないけど、自分の中の物差しに合った相手と出会えない</u> (30代後半)。〔「ハードル」経済面、好みのタイプ、住んでいる場所(結婚後、住むところが変わるかも)。〕	自分の中のハードルを下げる。もう少し広い目で相手を見る。
	(友) 恋愛が面倒。	(友) 価値感が合う人と出会うことが出来れば。
	(友) <u>仕事が忙しいから。</u>	分からない。
	バツイチのため、子どもが一番。	恋人よりも子どもの将来が楽しみ。〔離婚してから5年経つ。今が一番幸せ。〕
	(友) 自分に自信がない。 <u>出会いがない。</u>	気持ちの余裕。
	(友) <u>出会いがない。</u>	(友) できなくても仕方がない。
	(友) 両親に愛されて育った実感があるかどうかで、人を愛することが出来るのでは？(家族に良いイメージがあるか？)	(友) 優しくされる体験をする。人に優しくしてみる。
	(友) <u>理想が高いかも？</u> 一人が楽しい。	(友) 妥協する部分を増やす。
	(友) <u>出会いがない？</u> 面倒くさい、自分の時間が大事。	(友) これより大事と思える人がいれば。
	これまでは、自分の中で恋愛の優先順位が低かった。〔「優先順位」1: スノーボード、2: 猫、3: 仕事……恋愛。〕	優先順位とか、色々なことを考えるより、単純に好きだと思う人が出来たら…。
	(友) 方法も教えてもらってないし、学んでいない。 <u>他で忙しい。</u> やりがいや仕事の方が努力が報われるので、時代によって求められるキャリア志向になっているのでは？選択の自由で「一人で気楽」を選んでいる。	(友) モデリングを見つける。メリットを聞く。もししたいなら、プロに相談する。
	(友) 自分に自信がない。男性と話した経験が少ない。 <u>理想が高いから。</u>	(友) 異性のいる場に行く。
(友) <u>出会いの機会がない。</u>	出会いがあれば。30代になると急に出会いが無くなる。	



#### 4) 理想の出会い方

◎まず、恋人がいる人・既婚者に実際の出会い方を聞いた設問 (Q12(2)) に着目すると、「友人の紹介」「高校の友達」など友人関連 (39 名中 14 名) と、「職場での出会い」「職場や取引先のメーカーさん」など仕事・職場関連 (39 名中 13 名) が特に多く挙げられている。

◎Q12(1)、(3)では友人関連や仕事・職場関連のほか (計 21 名)、「同じ趣味である事」「趣味や興味のあることの集まり」など趣味を通じた出会いが特に多く挙げられた (17 名)。また、「お互いを意識しないようなイベント」「徐々に相手のことを知っていき、気が合っ て付き合う」「自然に出会いたい」「特に特別なシチュエーションはなく、実生活で自然に惹かれ合えば良い」など、自然・日常・普通の出会い方を求める意見が多い (15 名) ことも注目される。

未既婚・性別・年代	Q12(1)どんな「出会い方」が理想?	Q12(2)【恋人がいる人・既婚者限定】実際はどんな「出会い方」だった?	Q12(3)どんな「出会いの場」があれば参加したい?
未婚男性 20 代	<u>趣味での出会い。</u> 〔性格も一致しやすいのでは?〕	合コン	(友) 婚活パーティー
	<u>同じ趣味である事 (旅先での出会いなど)。</u>	—	<u>ボランティア、バーベキュー大会、音楽フェスなど、お互いを意識しないようなイベント (心をオープンにできるイベント)。</u> 〔婚活パーティーはガチすぎた(年収を聞かれた)。〕
未婚男性 30 代	<u>徐々に相手のことを知っていき、気が合っ て付き合う。</u>	—	相手の内面を知ることが出来る機会。 <u>趣味のサークル等。</u> 〔入口として、普通の価値観のある人との出会いの場。〕
	理想はない。どんな方法でも良い。	—	サイトを使った方が手間が省ける。〔後輩で使ってきた人がいる。〕
	特に理想はなし。	<u>元々は職場の同僚だった</u> が、話がとても弾んだことがきっかけ。	<u>同じ趣味を持つ人同士の集まり。</u> 〔「出会い」目的としない場。〕
	ネット (SNS、出会い系サイト)。	—	家でオンラインゲームをやっている方が楽しいので利用しない。
	どんな出会い方でも良いと思います。理想なし。〔相手が良い人がいればそれで良い。〕	—	合コン、サークル、カラオケ会、飲み会など、軽い感じで誘ってほしい。
	遊びに行っ て。	—	婚活パーティー
既婚男性 20 代	どんな出会いでも良い。	<u>仕事の採用が同期で、同じ研修を受けていた時に。</u>	<u>知人を通しての交流の中で。</u>
既婚男性 30 代	—	<u>友人の友人の「友人」</u>	初対面は無理なので、違う形で。

4) 理想の出会い方 (続き)

未既婚・性別・年代	Q12(1)どんな「出会い方」が理想?	Q12(2)【恋人がいる人・既婚者限定】実際はどんな「出会い方」だった?	Q12(3)どんな「出会いの場」があれば参加したい?
既婚男性 30 代	<u>職場での出会い</u>	<u>職場での出会い</u>	<u>知り合いがいる集まりなら…。</u> 〔集団の中で相手を探すことは難しい(自分は選ばれないかも)。〕〔婚活イベントのガツガツ感が合わないかも。〕
	<u>合コン、街コンよりも職場仲間などのコミュニティから自然に出会うのが良い。</u> 〔後々のつながり、付き合いを考えると、身近な出会いの方が良い。〕〔次の誘いにつながりがない。〕	<u>友人の友人</u>	<u>友人主催の飲み会</u>
	紹介	婚活パーティー	<u>友人の集まり</u> 、イベント。
	<u>友人のついで。</u>	ネットのマッチングサービス。〔ネットのマッチングサービスなら自分に合いそうな人を見つけやすい。〕	<u>共通の趣味のイベント</u> (酒蔵めぐり、歴史)。〔趣味・イベントをきっかけに。〕
	—	<u>職場。</u>	<u>同じ趣味の人が集まる集会。</u> 〔恋愛、結婚が目的ではない出会いの場(趣味、職場)。〕
未婚女性 20 代	<u>同じ趣味など。</u>	<u>お客さん(相手が客として)。</u>	<u>映画館など。〔同じ趣味のコミュニティなど。〕</u> 〔合コンなど、時間が短い。アフターフォローの時間もほしい。〕
	<u>友人が主催する BBQ に行きワイワイした中で自然に仲良くなって(仲が)発展する。</u> 友人も巻き込んでみんなで仲良くできる。〔多くの知人の中から特定の人と。〕	<u>高校から仲の良い友人</u> で、卒業してからも遊んでいていつしか恋心を抱くようになった。夢に向かって頑張っている姿を好きになった。	オフィシャル(公的)にやってほしい。
	特にありません。	<u>共通の趣味</u>	友人が幹事の合コンに参加したことは有ります。〔はじめは気軽に。徐々にステップアップ。〕
	高校が同じとかで、青春映画っぽい感じ。	一目ぼれだった。	<u>友人または社会、取引先の人。</u> 結婚式の二次会など。〔身元ははっきりと知りたい。〕
どんな出会い方でも相手が良ければ良い。	—	信頼のある出会いの場。〔信頼できる場と信頼できる人がいれば。〕	

4) 理想の出会い方 (続き)

未既婚・性別・年代	Q12(1)どんな「出会い方」が理想?	Q12(2)【恋人がいる人・既婚者限定】実際はどんな「出会い方」だった?	Q12(3)どんな「出会いの場」があれば参加したい?
未婚女性 20 代	—	<u>高校の友達</u>	<u>同じ趣味や好みなど気軽に話せる場。</u> [知り合いがいればOK。]
	どんな出会いでも、良い人ならOK。サークル、バイト、 <u>友人の紹介</u> 、合コン。 [自分の身の周りなら何でもOK。]	<u>(昔は)友人(同じ学校)。</u>	<u>合コンや友人の紹介。</u> 相席バーなどはちょっとイヤ。出会い系もイヤ。
	学校、 <u>仕事の中で。</u>	<u>高校</u>	「婚活」という言葉に抵抗感あり。 <u>ふつうに飲み会が良い。</u> [「婚活」という言葉に抵抗がある。]
	<u>友達の紹介</u>	<u>同じ高校(友人の紹介)。</u>	<u>友人との飲み会 or 共通の友人と遊んでいる時。</u>
未婚女性 30 代	船の上で石油王に出会いたかった。 [市内実家暮らし。]	紹介。	身元のはっきりした人だけの出会いの場。 [結婚紹介所は敷居が高い。お金もかかるので逡巡している。]
	<u>職場や趣味活動</u> に通じた場所	<u>ネットで知り合った仲間同士の飲み会で意気あって、今は付き合っている。</u> [一人で、友人も誰も知らない、飲み会にネットを通じて勇気を出して参加してみたら、それをきっかけに彼氏が出来た。誰も知らないところに行ったほうが、自分が出せると思う。]	—
	<u>仕事、趣味での出会い</u> が良い。 [職場にはまだ独身がいるが、仕事の仕方や性格を知ってしまい、魅力を感じない。どちらかという「もっと働いてよ…」という気持ちになってしまう。] [趣味は男女でやってみたいことが違うので、出会いの場にならないこともある。]	<u>仕事。</u>	仕事、 <u>趣味、日常。</u>
	押しまくって落とす。 [一人暮らし。市内に実家あり。]	押しまくって落とす。 [10人くらい落としている。自分の心が弱っている時に落とした。あまり良いことではなかったと思う。]	婚活となると腰が引けるので、 <u>趣味の世界で自然に出会えたらいいなあ。</u> [最近是人狼ゲームなどのボードゲームでの出会いが増えているらしい。各区にあるようだ。結婚につながる人もいるらしいと聞いた。]

4) 理想の出会い方 (続き)

未既婚・性別・年代	Q12(1)どんな「出会い方」が理想?	Q12(2)【恋人がいる人・既婚者限定】実際はどんな「出会い方」だった?	Q12(3)どんな「出会いの場」があれば参加したい?
未婚女性 30代	<u>友人の友人を紹介してもらおう。</u> [しかし男女ともに独身の友人がもういなくなった。]	—	サークルとか。
	理想はもっていないかも?わからない。(友)職場で出会った人は結婚している人が多いと思う。[周りの友人は類友。独身が多い。][自分のやる気不足もあると思う。]	—	—
	<u>自分が生活している場所に自然に(職場など)。</u>	—	仲介してくれる人がいる、など。[婚活パーティーに行ったが、出席する前から気が重く、出てみると話題づくりに疲れてい、結果にもつなげられなかった。]
	<u>趣味の場</u> 、生活のタイプが似ているコミュニティ、似た人と会いたい。[趣味は大人数とする音楽関係。]	<u>(過去には)趣味の場で出会った。</u>	似た人、似たような生活が出来そうな人と出会いたい。
	同じコミュニティ(職場、趣味の場)で <u>自然に出会いたい。</u> [最初の職場に独身はいたが、転職した今は独身者がいない。][市内実家暮らし。]	<u>(過去には)学校や友人の紹介。</u>	婚活パーティー。
既婚女性 20代	ない。	<u>バイト先</u>	<u>趣味の集まり。合コンなどはコミュニケーションが苦手なので行けません。</u>
	<u>同級生とか同じ職場とか。</u>	<u>同じ職場。</u>	<u>友人の紹介なら安心。</u> 合コンとかは変な人がいそうで怖い。
	<u>作為的ではないもの。</u> あるいは前向きに行動した結果のもの。	街コン。	<u>友人同士の集まり。</u> (友人の意見)結婚式。
	<u>仕事関係やバイト。</u>	<u>バイト先の先輩や後輩。</u>	結婚後の生活がイメージできる婚活パーティーとか。ネットでの出会いは怖い。
既婚女性 30代	今は考えられないが <u>「自然に」だろうか。</u> [前述のような事情で、今は出会いたくないけれど]	—	パーティーや婚活等はあまり気が進まない。見えない部分が多い。

4) 理想の出会い方 (続き)

未既婚・性別・年代	Q12(1)どんな「出会い方」が理想？	Q12(2)【恋人がいる人・既婚者限定】実際はどんな「出会い方」だった？	Q12(3)どんな「出会いの場」があれば参加したい？
既婚女性 30 代	職場以外。	<u>友人が開催したイベント。</u>	婚活パーティーは楽しそうと思っていたが、1人では行きにくいのかな、と。[職場はイヤ！出会いの場、一人では参加しづらい…。]
	<u>特に特別なシチュエーションはなく、実生活で自然に惹かれ合えば良い。</u>	<u>バイト先の先輩や後輩。先輩。</u>	合コン。
	人生に没頭している中で、 <u>自然と出会ってお互いを知る。</u>	<u>仕事の交渉で初めてマンツーマンになって。</u>	カップリングに昔行った。理想のタイプがいそうな所に向いた(でも出会いを目的にすると出会えなかった)昔、合コンや趣味の場、起業塾など。
	きらきらした出会いか近場で。	<u>友達の会社の先輩でした。</u>	<u>友達つながりだと良いかなと思います。趣味の集まりとか。</u>
	<u>同じ学校(在学中～同窓会、職場)。</u>	結婚相談所。	出会いの場に行くことが「淋しい人」という印象にならないようになれば。
	学生の頃。	<u>社内。</u>	<u>「出会い」を前面に出しすぎない飲み会。</u>
	ドラマのような出会い方。	<u>友人の紹介。</u>	<u>信頼している友人の紹介。</u>
	<u>サークルや部活、趣味のあう友人から。</u>	理想的でした。	アウトドアとかワークショップとかで楽しみながら。
	(友) <u>趣味を通じて知り合って仲良くなる。</u>	<u>(友) 友人の紹介。</u>	<u>(友) 趣味や興味のあることの集まり。</u>
	(友) 生活の場で。 <u>例えば職場など。</u>	(友) 合コン。	(友) 相手がハイスペックなパーティー。
	「出会い方」には特に理想なし。	<u>職場や取引先のメーカーさん。</u>	婚活、合コン、イベント型合コン。楽しそうなイベントであれば、参加してみたいと思う(昔は参加していた)。
	<u>友達から段々相手を知って好きになる。</u>	<u>理想と同じような状況(←友達から発展した?)。</u>	異性と出会えれば何でも。異業種交流会(仕事に何かメリットがあれば)。[出会い系サイト、ちょっと怖い…。]

## 5) 札幌市の若者の結婚意向が低い理由

- ◎男性からは「一人で生活しても飽きない、充実した都市機能がある(例：すすきの)」「遊ぶ所がたくさんあるから(結婚すると自由が利かなくなるイメージ)」「大都市で生活も便利。一人でも楽しい」など、「娯楽があり便利な都会である」ことが比較的多く挙げられた(6名)。
- ◎逆に「稚内の友人は「遊ぶ所がないから結婚した」と言っている」との指摘もあったが、これは「遊ぶ」となると決まったメンバー、決まった場所ということになるので、自然に関係性が深まって、という趣旨であった。
- ◎また「お金がない。全国と比べても、収入が少ない」「生活が苦しい。親の援助がない家がある」など収入面の理由も挙げられている(5名)。
- ◎女性からは「結婚することで、今やりたいことが出来なくなる可能性」「結婚しない方が趣味など自分の時間に使える(必要性を感じない)」「男に頼らず生きていけると思うから自立心が高い」「何かやりたいことがあって地方から出てきている人は、何かしら目的や目標を持っている」など、女性の自立を示唆する意見が多く出された(16名)。
- ◎「女性の自立」の理由でもあると考えられるが、「ある程度仕事もある(女性でもきちんとしたポジション)」「仕事が充実していて役職についている女性も多く、出張等も頻繁に行っている」「収入があってシングルの生活が楽しい」など、仕事面が充実していることも挙げられている。ただ、「仕事」については一方で「収入や職場の不安定さ。…札幌は中小企業が多い。勤務時間が長く、給与は少ない傾向が高い」「札幌は収入が少なくかつ多忙な人が多いのではないかと不安定さ、労働時間に比して収入が少ないことも指摘されている。これら仕事に関しては12名が挙げた。
- ◎また「街が都会的」「都市の道楽がある」「地方と違って「札幌」は娯楽や打ち込めるものがある」など、都会であることも比較的多く挙げられている(10名)。

未既婚・性別・年代	Q21 全国と比較して札幌市の20・30代が「結婚しなくてもよい」と考えているのはなぜだと思う？
未婚男性 20代	<u>一人で生活しても飽きない、充実した都市機能がある(例：すすきの)。</u> [レジャー施設(映画館)。秋田出身。]
	趣味に没頭したい。 <u>遊びたい(札幌は遊ぶ場所が多いので没頭しやすい)。</u> [すすきのやレジャースポットが多い。 <u>稚内の友人は「遊ぶ所がないから結婚した」と言っている。</u> ]
未婚男性 30代	男女がいてもマッチングしない。 <u>遊ぶ所がたくさんある。</u> [結婚、恋愛よりも楽しいことが多い。出会いの場があっても結びつかない。ライフスタイルがバラバラ(選択肢が少ない)。]
	「転勤者が多い→一人の方が楽→結婚しなくて良い」と思っているのでは。[そういう人が全国から集まっているのかも。]
	<u>非正規雇用で雇用。収入の確実な保証がなく、仕事で日中はほぼ拘束され、女性との出会いがないため。</u>
	<u>お金がない。全国と比べても、収入が少ない。</u> [だから最初から「できない」と考えているのかも。]
	仕事が長続きしない人がいるから。 女性の過剰な社会進出。札幌は水商売の女性が多いから。冬は家にこもるので。[一人立ちをしている女性が多い(経済的)。遊ぶ場。オンラインゲーム、 <u>すすきの。月2回女の子と遊ぶ。一人でいる時間が楽しい。すすきの風俗(性的な娯楽)。田舎はやる事が少ない(くらい)。</u> ]
既婚女性 20代	<u>遊ぶ所がたくさんあるから(結婚すると自由が利かなくなるイメージ)。</u>
既婚女性 30代	(友)「×」をつけたくない。[一度失敗してしまうと、次のパートナーがそれを許容してくれるか不安。]



5) 札幌市の若者の結婚意向が低い理由（続き）

未既婚・性別・年代	Q21 全国と比較して札幌市の20・30代が「結婚しなくてもよい」と考えているのはなぜだと思う？
既婚男性 30代	<p><b>結婚後の生活が…。</b></p> <p><b>大都市で生活も便利。一人でも楽しい。</b></p> <p><b>生活が苦しい。親の援助がない家がある。</b></p> <p><b>札幌市以外の地方都市に比べると娯楽やイベント、会合が多く、自分のやりたいこと、自分の時間を優先することが多い。所得の問題、非正規。</b></p> <p><b>所得。</b>助成金の使いづらさ。〔結婚した方が経済的に苦しくなるという意識が高い。〕〔女性に対する公的支援が追いついていない。〕</p>
未婚女性 20代	<p><b>ある程度仕事もある(女性でもきちんとしたポジション)し、遊べる場所もある。</b>この環境で満足している。<b>結婚することで、今やりたいことが出来なくなる可能性。</b>〔女性が経済的に自立。遊びもできる。〕</p> <p><b>仕事・趣味等で充実した生活をしているから。</b>〔結婚よりも大事なもの。〕</p> <p><b>結婚しているという事実よりも幸せを求めている。〔結婚しなくても実現できる幸せを優先。〕</b></p> <p>結婚したいと思う人がいない。<b>今は仕事に集中？</b>〔意欲はあれど、周りに良い人がいない。〕</p> <p><b>街が都会的。</b>転入者が多いから<b>経済的に自立した女性が多く暮らしやすい。</b>もらえる給料と物価比較で、事実婚を選ぶ人が多い。家庭に入る入らないでもめれる。〔周りのプレッシャー(結婚)は少ない。給料が高く、物価が安い(札幌)。〕</p> <p>私は思わない。したくてもできない人を含め、結婚しない友人がいるから。〔周りもそうだから、自分もしない。〕</p> <p><b>今の生活に満足しているから。</b>結婚に対する責任を背負いたくないから。友人と居るのが楽しいから。彼女としていてくれば、そのまま現状維持でいいと思っているから。〔男性が結婚するのは子どもが欲しい場合のみ。〕</p> <p><b>結婚しない方が趣味など自分の時間に使える(必要性を感じない。)</b>〔自分の自由な時間が減るのがイヤ。〕</p> <p><b>自立した女性が多い。女性の方が強いイメージ。1人でも生きていけるから、わざわざしなくても…と、思うのでは？</b>「しなくてもよい」なので、「してもよい」に変わりそうな気がする。あと、結婚しても「家」の考えが薄い。女性が主婦になるのは少ないから。〔札幌は家庭に入る女性が少ないイメージ。自分もキャリアを築きたい。〕</p>
未婚女性 30代	<p>安定した収入がない。<b>都市の道楽がある。</b>〔男性の収入が不安定だと結婚につながらない。〕</p> <p><b>自分の時間や趣味を大切にしたい。「～しなくてもよい」の中に「～したくてもできない」と思っている人もいるのでは(仕事の多忙、金銭面で)。</b>〔都心より給与が少ない男性が多いのでは？〕</p> <p><b>都会だから？仕事や遊びに忙しくて結婚に気持ちが向かない。札幌は働くためのまちだから？(結婚となれば田舎に帰るとか)</b>〔友人を見ていると、道内地方から札幌に働きに来ている人に出会って、結婚後は旦那さんの地元と一緒にいくパターンは割りとある。〕</p> <p>北海道だから「家」の感覚が薄い？出会いがない。〔東京に行っても、20～30代の独身男性は少なかった。〕</p> <p><b>ものがいっぱいあるから。</b>〔買い物して満足。〕〔ポケモンGOも田舎に行くといない。札幌にはたくさんいる。そんな風にほしいものが目の前にあるから。〕〔男性との恋愛よりも、無意識に物欲のほうが優先されているかもしれない。買い物をして満足する。〕</p> <p>生活環境。<b>収入や職場の不安定さ。</b>出会いがないなど。〔職場は100人中95人が男性、5人が女性という環境で男性は既婚者がほとんど。<b>札幌は中小企業が多い。勤務時間が長く、給与は少ない傾向が高い。</b>〕</p> <p>金銭面、時間、生活をする上で苦労が増える。<b>結婚の他にも楽しめることがある。</b>〔<b>札幌は収入が少なくかつ多忙な人が多いのではないか。</b>〕〔本音を言えば結婚したいと思ったことがある人は100%になると思うが。〕</p>

5) 札幌市の若者の結婚意向が低い理由（続き）

未既婚・ 性別・年代	Q21 全国と比較して札幌市の20・30代が 「結婚しなくてもよい」と考えているのはなぜだと思う？
未婚女性 30代	<p>北海道の土地柄か、家柄であるとか、名前を遺せというようなしがらみが少ないのではないか。〔ドラマ等で見ると、本州よりプレッシャーが少なそうだという印象だが。〕</p> <p>北海道の人は大らかな人多そうなので、親がうるさくない。特に札幌はしがらみが少なそう。〔親もあまり「家を継げ」と言わない。〕</p>
既婚女性 20代	<p>(友) <b>仕事が充実している。</b> 周りに独身が多い。結婚しなくても一緒に居ることが出来る。</p> <p>土地柄、気候的なこともあるかも？ <b>1人でも楽しめる環境。</b> 全国に比べて、ライフワークに対する意識が低い。〔ライフワークの蓄積・意識づけ・小さいころからのイメージが薄い。〕</p> <p>(友) <b>たくさんのモノがあふれているから。遊び場(カラオケやアミューズメント)や趣味とか。</b></p> <p><b>結婚しなくても生活できるし、メリットを感じない(自分の時間が減る、自由に使えるお金が減る)。</b></p>
既婚女性 30代	<p><b>仕事も生活も充実していて、女性一人で生きていても不自由を感じることがないから。子どもや夫に束縛されない。</b></p> <p><b>今の生活スタイルが充実していて、あえて結婚という面倒くさそうなものをする必要がないから。</b></p> <p><b>今の自分の生活に満足しているから。</b></p> <p>子育てしながら働く環境が完全ではない。〔待機児童は多い。共働きが多く、市内に頼れる親がいない世帯も多い。〕〔生活を成立させるため離婚したわけではないし、一概に言えないが、シングルのほうが補助を得やすい実感はある。〕</p> <p>結婚する利点が少ない。結婚して、子を育て、仕事をするのは難しい人も多い。<b>仕事が充実していて役職についている女性も多く、出張等も頻繁に行っている。</b></p> <p>歴史が浅く、親・親戚・近所の人などがからの圧力がない。自由。 周りが結婚していないし、特に焦らないから。親がいるから。 <b>男に頼らず生きていけると思うから自立心が高い。</b></p> <p>独身の方が楽しいから。<b>働き甲斐がある。賑やかなので一人でも淋しくない。</b> <b>収入があってシングルの方が楽しい。または仕事が忙しすぎ？</b> 出産にリミットがあることをあまり知らないのでは？</p> <p>周りに幸せなモデリングがない。<b>他にやりたいことがあり、手放したくない。</b> 今の自分のライフスタイルからかけ離れているので、現実味がない。特に札幌は男女平等の意識が高いから。〔札幌は女性が自立しやすいムードがある。〕</p> <p><b>一人の方が気楽だったりする。</b> 離婚する人が結構いる。仕事を頑張っている人が多い(女性)。〔経済的にも自立しているし、ひとりでも…〕</p> <p><b>地方と違って「札幌」は娯楽や打ち込めるものがある。何かやりたいことがあって地方から出てきている人は、何かしら目的や目標を持っている。</b></p>



## 6) 夫婦の家計の担い方

◎夫婦の家計の担い方として「③(夫婦)両方が均等に担う」を挙げたのは、男性が15名中5名、女性は35名中6名だった。また「①主に夫が担う」は男性1名に対し、女性は7名が挙げた。女性の方が男性より「夫が家計を担うべき」と考えているのかもしれない。

◎大多数が「②(妻も担うが)夫がより担う」と回答したわけだが、その理由として、女性からは「今の会社に満足しているので出来るだけ仕事は続けていたい為」「働きたい気持ちを理解してくれていないことに気持ちが冷めて別れた」「少しでも社会と触れ合っていた方が良いと思う」など、仕事を通じて社会と触れていたい気持ちがあらわされた(7名)。

未既婚・性別・年代	Q22(1)夫婦の家計の担い方として、どれが望ましいと思う?	Q22(2)そうするのが良いと思う最も大きな理由は?
未婚男性 20代	②(妻も担うが)夫がより担う	できれば家事等に専念してもらいたい。[共働きが主流なのは、そうしなければ生活が苦しいからだと思う。]
	②(妻も担うが)夫がより担う	妻は出産などの負担があるため、夫が頑張る。[女性にできて男性にできないことがある。]
未婚男性 30代	<b>③両方が均等に担う</b>	共働きしてほしい。家にこもるとストレスがたまりそう。再就職も大変。
	<b>③両方が均等に担う</b>	夫婦平等(家事を含め、全てそうあるべき)。[どちらかが優越感を持つと上手くいかないと思う。]
	<b>③両方が均等に担う</b>	お互い対等でいられるから。[どちらかが優越感を持つと上手くいかないと思う。]
	①主に夫が担う、または②(妻も担うが)夫がより担う	男は子どもを産めない。育児は母が主導権をとるべき。
	④(夫も担うが)妻がより担う	比較的、女性の方がお金にしっかりしている人が多いと思う。
既婚男性 20代	①主に夫が担う	一生懸命働くようにしたい。
既婚男性 30代	<b>③両方が均等に担う</b>	二人とも家計の状況を知っておけるから。
	②(妻も担うが)夫がより担う	1~5しかないから。人それぞれ。
	②(妻も担うが)夫がより担う	子どもがいないので嫁も働いているから。
	②(妻も担うが)夫がより担う	所得が多い方が多く負担するのが自然。現状がそうなので。[男性の方が社会的評価が高く、年収が高いので。]
	②(妻も担うが)夫がより担う	子どもができる可能性があるから。
	②(妻も担うが)夫がより担う	男の方がまだ収入が多いのでは?
未婚女性 20代	<b>③両方が均等に担う</b>	女性の自立。[世帯収入が増加すれば、生活が豊かになる。]
	②(妻も担うが)夫がより担う	女性は出産する可能性があるから、メインは夫。
	②(妻も担うが)夫がより担う	自分は特に専業主婦になりたい願望がある訳では無く、 <b>今の会社に満足しているの</b> <b>で出来るだけ仕事は続けていたい為</b> 。然し、妊娠出産育児で休暇を取らざるを得なく、また、自身の身体もままならない事を考えるとやはり夫が家計の主軸となっていてくれた方が安心感がある。
	①主に夫が担う	家庭に入りたい。家事が好きなので。あと、自分の収入の限界も知っている。自分の稼ぎだと二人は生活できない。

6) 夫婦の家計の担い方 (続き)

未既婚・性別・年代	Q22(1)夫婦の家計の担い方として、どれが望ましいと思う？	Q22(2)そうするのが良いと思う最も大きな理由は？
未婚女性 20代	②(妻も担うが)夫がより担う	自分が結婚した場合、 <b>仕事はしていても家事や育児も大切にしたいので</b> 。比率的には夫による。〔出産のため一時退職する前提。〕
	②(妻も担うが)夫がより担う	結婚し、子供を産んで子育てすると考えたとき、夫の収入が多くなければ両立することが難しいと思うから。ただし、夫が家庭に入って主夫となる場合はその限りではないかとも思う。
	<b>③両方が均等に担う</b>	力関係が同じになるから。〔稼ぎによる発言力に差をつけたくない。〕
	<b>③両方が均等に担う</b>	(家計の担い方が)均等だと、家事なども均等に手分けしやすいから。〔仕事だけでなく、家庭も。〕
未婚女性 30代	①主に夫が担う	自分にキャリアがある訳でないので、できれば担ってほしい。
	②(妻も担うが)夫がより担う	稼ぎは夫、子育ては妻のイメージが強いけれど、今は妻も稼がなくては、やっていけない(友人の経験も踏まえて)。〔両親のイメージと友人の経験から、2人で働いていかないとやっていけないと思う。〕〔しかし、実際よりも教育費だとか見えない不安のほうが大きいかもしれない。〕
	②(妻も担うが)夫がより担う	出産や子育てを考えると、女性側に余裕があった方がいいかなと思う。
	②(妻も担うが)夫がより担う	尊敬していたいから。
	②(妻も担うが)夫がより担う	出産・育児をする場合にその方が安定しそうだから。〔本当は1が良いが、以前結婚が決まりかけたときに「扶養範囲内でなら働いてもいいよ」というようなことを相手に言われ、見下げられているという思いがわき、 <b>働きたい気持ちを理解してくれないことに気持ちが冷めて別れた</b> 。却ってすっきりした。上っ面だけで理解したふりはしないほしい。〕
	<b>③両方が均等に担う</b>	立場によるが、同じ意見が言えるようでありたい。その場合、家事も同じ負担でないと不公平。〔自身の母が専業主婦で弱く、父親が強いのをしているのはいやだった。家事も平等だとよいなと思う。〕
	①主に夫が担う	どちらか子どもと常に一緒に居られる人が必要だと思うので(女性が働きたい場合は3)。〔昔から専業主婦になりたい気持ちがある。〕
	①主に夫が担う	男性の方が収入は多いと思うので。〔男の人が自分より稼いでほしいという思いもあるし、男性の方がキャリアを積みやすく、就職口も女性より多いと思う。〕
	②(妻も担うが)夫がより担う	どちらかが主に担ってしまうと、会社が倒産した時など、何かあった時に困る。
既婚女性 20代	②(妻も担うが)夫がより担う	女性は出産して退職したり、短時間パートになったり、 <b>独身の頃のように働けないと思うから</b> 。
	②(妻も担うが)夫がより担う	主人の方が有能なため。

6) 夫婦の家計の担い方 (続き)

未既婚・性別・年代	Q22(1)夫婦の家計の担い方として、どれが望ましいと思う？	Q22(2)そうするのが良いと思う最も大きな理由は？
既婚女性 20代	②(妻も担うが)夫がより担う	比率は家庭ごとに違っていいが、 <b>妻が少しでも担う部分があると、妻の心身ともに安定して、また生活を楽しめると思う。</b>
	①主に夫が担う	不妊治療をしているが、仕事をしながらの通院・治療は本当に辛い。
既婚女性 30代	③両方が均等に担う	家事・子育て・仕事を同じ量こなすのが理想。その方が互いの気持ちもわかる。どちらかだけに負担がかかるようでは…。〔前夫の義両親が完全共働き世帯だったので、出産後まもなく「いつから預けて、働きに出るのか」と聞かれて逆のプレッシャーを感じた。〕
	③両方が均等に担う	共働きであれば、どちらかが何かあった時も助けられるので、両方とも均等に担う。専業主婦であれば「主に夫が担う」か「(妻も担うが)夫がより担う」となると思う。〔平等を保つ。育児→妻、家事→夫。〕
	②(妻も担うが)夫がより担う	夫を立ててあげたいと思う。収入が多い方が素直に立ててあげられる。
	②(妻も担うが)夫がより担う	<b>少しでも社会と触れ合っていた方が良いと思う</b> し、夫への負い目も感じない。
	②(妻も担うが)夫がより担う	夫は家事育児が苦手。得意なことはお互いがやるべき。
	②(妻も担うが)夫がより担う	男性が家事をしたり育児をするようになったとはいえ、やはり女性が家のことをする
	①主に夫が担う、または②(妻も担うが)夫がより担う(転勤が多いから何とも言えない)	子どもが小さいうちは母親がついていてあげるべき時が多いから(母乳をあげるとか、病気とか)
	①主に夫が担う	男性は家族を守りたい、仕事で成功したい、満たされたい理想をもっているから。子育ての女性は負担が大きい。ただ現状によって違うし、稼ぐことが得意なこともある(夫が働けなくなって、妻が稼ぐようになった人がいた)。ただ、当たり前となるとお互い苦しくなるので、お互いに支えあいたい。
	②(妻も担うが)夫がより担う	妻が家事を多くしているのと収入の差。
	①主に夫が担う	子育ては主に妻が担うから[女性に収入あるなしに関わらず、女性は子育て・家事の負担が大きい]
	②(妻も担うが)夫がより担う	夫が働かなくなった時、自分の収入もあると安心だから。
	②(妻も担うが)夫がより担う	均等が理想だけど、出産、育児の割合が妻に多くなるので、その割合が収入の割合。
	②(妻も担うが)夫がより担う	結婚してもしなくても、炊事洗濯はやらないといけないので、夫も妻もやるべき。 <b>妻も外に出たい。</b>

## 7) 結婚生活スタートに必要な世帯年収

◎未婚者の、結婚生活をスタートさせるのに最低限必要と思う世帯年収 (Q23(1))、既婚者の、結婚生活スタート時の世帯年収 (Q23(1)) を見ると、未婚者の最低額は男女とも「300 万円」、既婚者の最低額もほぼ同様で未婚男性は「300 万円」、既婚女性では「200～300 万円」であった。

◎「300 万円」については、いずれの既婚者も、それが十分だったかどうか聞く設問 (Q23(2)) で「③少し足りなかった」「④足りなかった」と回答した一方で、「300 万円」と回答した未婚者はいずれも「①相当高い」「②少し高い」と回答している。

◎以上から結婚にあたっての世帯年収として「300 万円」が一つの区切り (下限額) としてあると考えられる。

◎なお、未婚者が必要と考えた世帯年収と、Q23(2)で「②ちょうどだった」「③少し足りなかった」「④足りなかった」と回答した既婚者の世帯年収の平均額は 437 万円であった。

### ※未婚者限定

未既婚・性別・年代	Q23(1) 結婚生活をスタートさせるのに最低限必要と思う世帯年収はだいたいいくらだと思う？	Q23(2) その根拠は？	Q23(3) それは今の自分(+恋人)の年収と比較してどう？
未婚男性 20 代	400 万円	子どものことを考えて貯金などが必要。子どもがいれば 500 万円以上が理想。	②少し高い [親の収入を見て]
未婚男性 30 代	<b>300 万円くらい</b>	自分の分+α。共働きだと忙しくなって、多少かかりそう。 [共働きでも忙しくなると支出が増えるのでは？]	<b>①相当高い</b>
	<b>300 万円</b>	子どもや車などを持った際にこれくらいは必要だと思う。	<b>①相当高い</b>
	500 万円	2 人合わせると、それくらいだと思う。	③少し低い
	400 万円	私と彼女の収入が年 160 万円×2 人。余裕がほしいので。 [毎月、生活費に 10 万円×2 人使い、2 人で 5 万円貯金している。職場が食品を扱っているので食費があまりかからない。]	②少し高い
	100 万円	生活するのに必要だから。	①相当高い
未婚女性 20 代	400 万円	親の収入と実際の生活とみて。	②少し高い
	500 万	札幌の地価物価で、一軒家を買わず、結婚式費用は別途と考えた際には妥当かと思ったので。	③少し低い

7) 結婚生活スタートに必要な世帯年収 (続き)

未既婚・性別・年代	Q23(1) 結婚生活をスタートさせるのに最低限必要と思う世帯年収はだいたいいくらだと思う？	Q23(2) その根拠は？	Q23(3) それは今の自分(+恋人)の年収と比較してどう？
未婚女性 20代	300万円	親がそうだった。〔現在、学生だから。〕	①相当高い
	400万円	月収25万+ボーナス。	①相当高い〔結婚したら家庭に入りたいため(夫の稼ぎのみの想定)。〕
	400万円	想像。	①相当高い
	400万円	貯金と自由に使えるお金。	①相当高い(現在、学生のため)〔奨学金の返済あり(20年)。〕
	400~500万	手取りで最低限これだけあれば2人で生活ができると思ったから。それ以上あれば、生活に余裕ができる。	②少し高い
未婚女性 30代	350万円(もっとあれば尚可)。	初任給手取200万円としたら、2人弱で。	①相当高い
	360万円	自分の手取り+α。同期男性が400万円くらいらしい。そして結婚している。	②少し高い
	400万円	今の自分の年収で一人暮らしは無理だと思うので、そこから計算。〔契約社員、実家暮らし。〕〔結婚生活のスタートが相手の実家というのは避けたい…。〕	②少し高い
	450万円	なんとなく。家の状況を考えて。	①相当高い
	500万円	友人を見ていて。	③少し低い(自分のみ)〔最近、ずっと一人かもしれないと覚悟をしはじめて、お金は大事にしている。今となると、もう年収が高いとか何とかというより、優しい人ならよいな、と思うようになった。〕
	600万円	欲しいので。〔正社員が望ましい。〕	②少し高い
	700~800万円	一人暮らしできる年収×2+100万(子ども)	③少し低い(共働き)、①相当高い(一人暮らし)

7) 結婚生活スタートに必要な世帯年収（続き）

※既婚者限定

未既婚・性別・年代	Q23(1) 結婚生活スタート時の世帯年収は、だいたいいくらだった？	Q23(2) それは今から振り返るとどうだった？
既婚男性 20代	750万円	①十分だった〔別居婚(仕事の関係)でライフスタイルはそれほど変わらなかった。〕
既婚男性 30代	260～700万円	①十分だった〔贅沢しなければ妥当。〕もしくは③少し足りなかった〔子どもが出来ると車が必要になるとか何かと入用に。〕
	<b>300万円</b>	<b>④足りなかった</b>
	<b>300万円くらい</b>	<b>③少し足りなかった</b> 〔司法書士の資格取得後の支出が多かった。〕
	800万円	②ちょうどだった
	830万円	①十分だった〔旅行(趣味)もできる。〕
	900万円	①十分だった〔趣味、欲しいモノを買っていた(余裕があった)。〕
既婚女性 20代	<b>200～300万円</b>	<b>③少し足りなかった</b> (旦那の元妻の子どもの養育費、自分の切迫早産での入院など)
	350万円	②ちょうどだった、もしくは③少し足りなかった
	450万円	①十分だった
	550万円	④足りなかった
既婚女性 30代	450万円	②ちょうどだった
	450万円	②ちょうどだった
	500万円	②ちょうどだった(独身の時は相手の年収と合わせて500万円くらいだったので)〔既婚時代は今よりもお金の余裕があったけれど、今の方が幸せ。〕〔未婚で700～800万円の年収がある人は男女ともに結婚しない人がある。相手の存在を経費的な負担・負債的に考えてしまうようになるようだ。〕
	600万円	①十分だった
	550万円	①十分だった
	450万円	②ちょうどだった
	700～800万円	①十分だった
	700万円	②ちょうどだった(出産を機に転職して大幅ダウン)
	500万円	②ちょうどだった
	600万円	①十分だった(夫婦二人だけなら。子どもがいたら足りない)
	900万円	①十分だった
1,000万円	①十分だった	



## 8) 子どもは何人ほしいか

◎男性では4名が「2人」、6名が2人以上と答えた。女性では14名が「2人」、14名が2人以上と答えた。

◎子どもの人数の理由を問うと(Q31(2))、「2人」と回答した18名のうち14名が「1人だと寂しい」「自分は「兄弟がいて良かった」と思うので」など、1人の寂しさ・2人のメリットを挙げた。

◎また、子どもを持たない・人数を止める理由として「経済的にゆとりがあれば」「子育てはお金がかかると思う」など経済的な理由(6名)、「3人は子育てが大変」「自分のことで精いっぱい、子育てできる自信がない」など子育ての大変さ(6名)が多く挙げられている。

未既婚・性別・年代	Q31(1)子どもは何人持たい?	Q31(2)それはなぜ?
未婚男性 20代	1~2人	出来れば2人ほしいが、パートナーの年齢上厳しい。
	2人	<b>1人だと寂しい。</b> 3人だと多い(子どもにも兄弟が必要だと思う。)
未婚男性 30代	1人も持ちたくない。	生活が厳しくなるから。
	0~1人	子育てに自信なし。やってみる。[自分がしてもらったように子どもを育てられるか不安。]
	1人。 <b>経済的にゆとりがあれば2人。</b>	彼女の希望は1人。 <b>自分に弟がいて、兄弟のいるメリットもあるので、もし余裕があれば2人もありかも。</b> [彼女は一人っ子。]
	2人	<b>兄弟がいた方が良い。</b>
	2~4人	たくさんいた方が賑やかだから。
既婚男性 20代	3人	子ども達同士の関係が深まりそうだから。将来を考えて。[男の子+男の子+女の子]
既婚男性 30代	0人	<b>今の生活を崩したくないため。</b> [現時点では二人が良い。将来的には考えても良いかと。その時には <b>2人以上</b> (男の子!)]
	2人	<b>バランス。[一人っ子だとべったりしすぎて親離れ・子離れできない。]</b> [男1人、女1人。]
	2人以上	楽しいから。[子ども同士で話し合う、分かり合える関係が必要。][自分にとって子どもは対等(甘やかすのはジジ・パパに任せる。)][もう一人は男の子。]
	たくさん。	自分が三人兄弟なので、兄弟は多い方が良い。[兄弟が多い方が思い出を共有できる。][夫:女の子+男の子⇄妻:男の子+女の子]
	2人以上	1人は子どもがさびしい思いをするかもしれない。自分が3人兄弟なので、兄弟がいると楽しい思い出もつらいことも共有できるから。[女の子+男の子+どっちでも良い]
	3人	兄弟多い方が楽しい。[男の子+女の子+(男の子)。]
未婚女性 20代	1~2人	自分が一人っ子なので。
	1人	<b>2人育てられる収入はないから。</b> [子ども1人に1,000万円必要だから(大卒までを想定)。]
	2人	<b>一人っ子だと、我が子を何かの要因で失った際に立ち直れない。</b> 自分に似た子と相手に似た子が欲しい。[父親にと母親似それぞれ一人ずつを希望。]
	2人(最低でも)	男女1人ずつ欲しいから。[自分が保育士で、よく子どもと接しているから。]
	2人	<b>お金がかかる。</b> 自信がない。 <b>一人っ子はかわいそう。</b> [自分は3人兄弟だったが、3人育てるのは厳しい?自分にもお金を使いたい。]



8) 子どもは何人ほしいか (続き)

未既婚・性別・年代	Q31 (1) 子どもは何人持ちたい?	Q31 (2) それはなぜ?
未婚女性 20代	2人	<u>自分は兄と弟の3人兄弟で、親が少し大変そうだから。</u>
	2人	<u>1人だと子どもが淋しい。3人は子育てが大変。</u> [周りでも一人っ子の人は兄弟が欲しいとの声を聞いている。]
	2人	<u>男1人、女1人ほしいから。[自分も兄がいるから、実体験として。]</u>
	子どもを持つことを具体的に考えたことがない。	周りにもいないし、自分が結婚する姿も想像できないから子どもを持つことも想像できない。
未婚女性 30代	2人	<u>1人だと寂しい感じがするから。</u>
	2人	<u>自分は「兄弟がいて良かった」と思うので。</u> [3人兄弟。弟とは8才離れているのでかわいい。]
	2人	男女1人ずつ欲しい。
	3人	兄弟は多い方が良いとは思いますが、3人が限界。
	2~3人	自分が3人兄妹で「兄妹がいて楽しい」「良かった」と思えたから。両親の面倒も皆でみれるので。
	3人	2人だと人口のキープにしかならないから。[自分は一人っ子]
	2人以上	— [自分が一人っ子なので、兄弟がほしい。]
	2~3人	ちょうど良いと思うから。[自分は一人っ子。]
子どものころから、子どもをもつことについて、何故か想像したことがない。	[子どもをもつことを考えたことがない理由はわからない。思いつくとすれば、子どものころに病院でリアルな妊娠出産写真を見たことがあり、ものすごく怖かったことがあるので、トラウマなのか? どうなのだろう?]	
既婚女性 20代	1人	<u>1人で精いっぱい。</u> お産を二度するのが怖い。
	2人	<u>兄弟がいると遊び相手になるし、親の私たちが将来高齢になった時、一人っ子だと大変そう…。</u>
	2~3人	一人っ子だとさみしい。自分や回りも2~3人で育てているため。[ひとりっ子だから? 甘やかされた生活習慣から感じることもあった。]
	2人以上	一人っ子は淋しいので。
既婚女性 30代	0人	<u>自分のことで精いっぱい、子育てできる自信がない。</u>
	1人	<u>1人しか育てられない。[子ども2~3人を育てる自信がない。自分が3人兄弟だったので、兄弟間で起きることや気持ちの想像がついて、いやだなあと思う。]</u>
	1人	年齢と出産に対する不安。[まず一人生んで考えたい…。]
	2人	私も夫も一人っ子だったため、 <u>将来支えてくれる家族がいた方が良くと思う。</u> 兄弟を作ってあげたかった。
	3人	主人が3人兄弟だから。[男性はすぐ出来ると思っていることもある。] [子どもが出来たら奥さんは子どもの世話になってしまう。]
	1~2人	自分が3人姉妹で楽しかったから、 <u>将来的に1人だと淋しい思いをするか?</u>
	4人	実際そうなので、少なくなることは考えられない。
	3~4人	子どもが好きだから。でも現実には考え中です。[ <u>子育てはお金がかかると思う。</u> 自分の時間どうなる?]
	2人か3人	兄弟姉妹がいた方が子どもにとってプラス? それぞれ育て方が違うと聞き、体験したい。
2人	ちょうどいいバランス。 <u>お金、時間…。</u>	

8) 子どもは何人ほしいか (続き)

未既婚・ 性別・年代	Q31 (1) 子どもは 何人持ちたい？	Q31 (2) それはなぜ？
既婚女性 30 代	3 人。だと自分の年齢的に無理。現実的な目標は 2 人。	男の子の一人っ子はエネルギーを持て余しそう…。
	2 人以下	<u>一人っ子は淋しいイメージがあるから、兄弟がいた方が 良い。自分も姉がいるから。</u>
	3~4 人	大家族でなくてもいいけど欲しい。今は女の子 2 人で、男の子も欲しい。旦那が男の子と接しているところを見たい。

### 9) 子どもを3人以上持つことについてどう考えるか

◎子どもを3人以上持つことについて「①ぜひほしい」「②どちらかと言えばほしい」と回答した人は、男性で5名、女性で15名であった（Q32(1)）。

◎どのような条件がクリアされれば3人以上持ちたいと思うかについて聞いたところ（Q32(3)）、「年収アップ」「賃金、正規雇用への転換」「旦那の給料が良い。共働きをしなくても育てられる収入」「お金のゆとり」など収入面・経済的な要因を男性11名、女性22名が挙げた。

未既婚・性別・年代	Q32(1) 自分が子どもを3人以上持つことについて	Q32(2) 3人以上持つことを改めて想像すると？	Q32(3) どのような条件がクリアされれば3人以上持ちたいと思う？あるいはなぜほしくないの？
未婚男性 20代	③想像したこともない	③どちらかと言えばほしくない	<u>安定した収入</u> 、残業の少ない職に就く。 <u>養っていただくだけの年収をもらえる自信がない。</u>
	③想像したこともない	③どちらかと言えばほしくない	<u>年収アップ</u> 。パートナーの年齢を考えると、負担が大きい。〔三人兄弟だけど、親を見て厳しいと思った。〕
未婚男性 30代	③想像したこともない	③どちらかと言えばほしくない	<u>所得</u> 。子育ての手間のサポート。〔養育費が想像つかないので。〕
	②想像したことはある	③どちらかと言えばほしくない	<u>年収アップ、学費サポート</u> 。〔会社の先輩でそういう人がいる。〕
	②想像したことはある	<u>②どちらかと言えばほしい</u>	<u>お金</u> (収入500万円くらい)。〔養育費、医療費、その他生活費全般。〕
	③想像したこともない	③どちらかと言えばほしくない	時間の余裕、雇用状況の改善 ( <u>賃金、正規雇用への転換</u> )。〔身近にいないので想像できない。〕
	③想像したこともない	④ほしくない	—
	—	④ほしくない	<u>出産祝い</u> を国・行政が支給する。(財源：在日外国人への生活保護ゼロ、外国人留学生の少額金削減。)障がい者の就労支援の適正化。
既婚男性 20代	②想像したことはある	<u>①ぜひほしい</u>	保育園、育休等の制度、 <u>収入</u> 、身近にいる親類のサポート。
既婚男性 30代	②想像したことはある	<u>②どちらかと言えばほしい</u>	<u>お金</u> 。〔託児、学校、子どものライフステージに応じて支出が増えるので、支援は必要。〕〔母4人兄弟、父8人兄弟、友人10人兄弟。〕〔兄弟の数が多ければ家族の暴走を止められる。〕
	①真剣に考えたことがある	<u>①ぜひほしい</u>	年齢(難しいかな…) & <u>所得</u> (普通の生活ができるくらい)。〔高齢出産への不安もある。〕
	②想像したことはある	③どちらかと言えばほしくない	転勤が無くなると。あと、年齢の問題も(高齢出産)。〔転勤族なので、3人以上になると奥さんの負担が増してしまう。〕
	③想像したこともない	③どちらかと言えばほしくない	子育ての負担が自分の時間を楽しめる位に軽減されたら。〔周りのサポート。〕
	②想像したことはある	<u>②どちらかと言えばほしい</u>	今の生活 ( <u>収入</u> [生活費]、ライフスタイル [単身赴任 or 引っ越し]) がどこまで維持できるか。

9) 子どもを3人以上持つことについてどう考えるか(続き)

未既婚・性別・年代	Q32(1)自分が子どもを3人以上持つことについて	Q32(2)3人以上持つことを改めて想像すると?	Q32(3)どのような条件がクリアされれば3人以上持ちたいと思う?あるいはなぜほしくないの?
既婚男性 30代	②想像したことはある	③どちらかと言えばほしくない	託児サービスの充実。[3人も居ると夫婦の時間がとれなくなるのでは?]
未婚女性 20代	③想像したこともない	③どちらかと言えばほしくない	<b>お金</b> 、時間、仕事の余裕。[子育てに時間がかかるから専業主婦に。あと、夫の収入アップ。]
	①真剣に考えたことがある	<b>①ぜひほしい</b>	<b>収入</b> 、年齢、環境を整えば。[親の健康。近くに住んで、子育てを手伝ってほしい。][年子と、もう一人は時機をみて。出産の間隔が短いと、子育てが大変。]
	②想像したことはある	④ほしくない	<b>世帯年収が800~900万円近くなれば。</b> [年収900万円もあれば。車や家の購入費を考えると3人以下になる。]
	①真剣に考えたことがある	③どちらかと言えばほしくない	先に生まれた子どもが双子だったとか、旦那さんが育休使ってくれるとかだったら、欲しいとは思わないが居てもいいかなと思う。[子育てがある程度落ち着いたら。夫も育休取得して育児を手伝ってほしい。]
	②想像したことはある	<b>②どちらかと言えばほしい</b>	<b>旦那の給料が良い。共働きをしなくても育てられる収入。</b>
	②想像したことはある	<b>②どちらかと言えばほしい</b>	<b>収入的に3人育てられる額になれば。</b> [男女それぞれ1人以上いけば良い。][出産時も収入があまり減らなければ良い。]
	②想像したことはある	③どちらかと言えばほしくない	<b>補助金があれば。</b> [中学まで子育て補助金を(医療費全額支給など)。]
	③想像したこともない	④ほしくない	<b>収入面(+3,000万円)</b> 。あと、体力的に。[結婚時期が遅くなりそう。体力や収入も厳しい。]
未婚女性 30代	②想像したことはある	<b>②どちらかと言えばほしい</b>	<b>収入</b> と若さ。
	②想像したことはある	③どちらかと言えばほしくない	<b>金銭面が不安</b> 。自分の身体が不安。
	③想像したこともない	④ほしくない	体力がほしい。[時間的なゆとりもほしい。]
	①真剣に考えたことがある	③どちらかと言えばほしくない	<b>お金</b> 、年齢、母体の健康(若さ)。[お金は子どもの教育費]
	②想像したことはある	④ほしくない	保育園や病児保育の充実。会社の理解。[(友)3人子どもを持つと、つぎつぎ病気になり、休みが多くなって、社内の風当たりが強くなり働くのが大変。残って働く側にも負担がかかるので会社の理解がないと難しい問題になる。]

9) 子どもを3人以上持つことについてどう考えるか(続き)

未既婚・性別・年代	Q32(1)自分が子どもを3人以上持つことについて	Q32(2)3人以上持つことを改めて想像すると?	Q32(3)どのような条件がクリアされれば3人以上持ちたいと思う?あるいはなぜほしくないの?
未婚女性 30代	②想像したことはある	③どちらかと言えばほしくない	<u>お金</u> 、出産リミット。
	②想像したことはある	<u>①ぜひほしい</u>	<u>お金</u> 、ゆとり。〔共働きで3人の育児は大変そう。〕
	③想像したこともない	④ほしくない	なぜ3人について聞くのかなと思った。
	②想像したことはある	<u>②どちらかと言えばほしい</u>	<u>経済力</u> 、体力。
既婚女性 20代	③想像したこともない	③どちらかと言えばほしくない	<u>世帯年収が倍以上(400~600万円)になれば…。</u>
	①真剣に考えたことがある	<u>②どちらかと言えばほしい</u>	<u>金銭面。不妊治療への補助の(公的な)拡大。</u>
	③想像したこともない	④ほしくない	<u>金銭面</u> 。今で十分。
	②想像したことはある	<u>②どちらかと言えばほしい</u>	自分の出産経験。 <u>お金のゆとりがあればほしい(時間も)</u> 。
既婚女性 30代	③想像したこともない	④ほしくない	1人をしっかり育てたい。〔自分が3人兄弟だったからイヤ!私が長女だったので、我慢することも多かった。〕
	②想像したことはある	③どちらかと言えばほしくない	<u>経済的に子どもが希望する学習をさせてあげられる自信がない。やりたいことをさせてあげるのが難しい気がする。</u>
	①真剣に考えたことがある	<u>②どちらかと言えばほしい</u>	<u>子育てのためのお金</u> (教育費・幼稚園代など)と人手。〔秋田県では子育てサポートチケット(15枚)があった(未就園児向け)。札幌市は公立幼稚園(こども園)多い。子育てサポーターも必要。〕 〔医療控除。札幌市は小学生まで。早すぎる(例:つくば市は中学生まで)。〕
	①真剣に考えたことがある	<u>②どちらかと言えばほしい</u>	<u>お金のゆとり</u> 。でも、子どもが母を選んで生まれてくると聞くので、子どもの意思にもよるかな?
	③想像したこともない	③どちらかと言えばほしくない	そんなに多く面倒みられない。自信がない。
	①真剣に考えたことがある	<u>②どちらかと言えばほしい</u>	<u>主人の収入が上がれば、ほしい。</u>
	③想像したこともない	④ほしくない	子育ては大変だから自信がない。
	①真剣に考えたことがある	<u>①ぜひほしい</u>	主人の理解(すでにいます)。
	③想像したこともない	③どちらかと言えばほしくない	妊娠中や出産、子育てが大変そう。〔出産って大変そう…。自分の兄弟が2人で、それ以上は考えられない。〕

未既婚・性別・年代	Q32(1)自分が子どもを3人以上持つことについて	Q32(2)3人以上持つことを改めて想像すると？	Q32(3)どのような条件がクリアされれば3人以上持ちたいと思う？あるいはなぜほしくないの？
既婚女性 30代	①真剣に考えたことがある	③どちらかと言えばほしくない	<b>経済的余裕があれば。あと年齢。</b> 〔「費用」塾代が高い。進学代が気にならないければ、子どもの夢を応援してあげられる。学歴に対するプレッシャー。〕〔「収入」増えると十分な時間が取れないことも。札幌は都心部でも定収入。習い事にも支払い大きい。〕
	②想像したことはある	<b>②どちらかと言えばほしい</b>	<b>母体の年齢</b> (時間は戻らないけど)。人間の妊娠期間が長すぎる。大学までの学費が高すぎるので、それを心配しなくてもいいなら(子どもを)持ちたいと思うかも。
	②想像したことはある	③どちらかと言えばほしくない	<b>お金が十分あれば。</b> 3人も子育てするのは大変そう。
	①真剣に考えたことがある	<b>①ぜひほしい</b>	<b>教育費、保育園問題。</b>



### 10) 「結婚した女性の働き方」についてアンケート回答結果の理由

◎アンケート調査で聞いた子どもの各年齢における「女性の理想の働き方」について回答した理由を聞いた。

◎アンケート調査で「(D)子どもが小学生の時」「(E)子どもが中学生の時」に「⑤家でできる仕事」「⑥家事・育児に専念」を選んだ人は「専業主婦」志向が比較的強いと考えられるが、そういった人は男性では2名（※うち1名は障がい者の方）、女性は5名にとどまっている。

◎女性の働き方についてヒアリングした内容（Q33）を見ると、男性は女性が働くことについて「経済的に二人とも働くのが前提で共同生活できているため」「女性が社会に参加できることは大切」が挙げられるなど、主に経済面、パートナーが社会とつながっているメリットを感じている（9名）。

◎女性は「子どもが生まれたら、子どもとの時間を作りたい」「子どもの成長を最初に見たいから」「自分が子どもの頃「鍵っ子」だったので、自分の子どもにはそうしたくないから」「とにかく子どもに我慢させたくないの、とにかく収入」など、子育てをを優先したい気持ち、お金を稼ぐにしても子どものためという気持ちを表す方が多かった（21名）。

未既婚・性別・年代	結婚した女性の働き方 (アンケート調査 Q31 の回答)	Q33 何が理由でそう思うの？
未婚男性 20 代	(A)子どもがいない時： ④パート・アルバイト (B)子どもが3才以下の時： ⑥家事・育児に専念 (C)子どもが入学前の時： ⑤家でできる仕事 <b>(D)子どもが小学生の時：</b> <b>⑤家でできる仕事</b> (E)子どもが中学生の時： ④パート・アルバイト	共働きが理想ではあるが、やはり子育てや家事に専念してもらいたい。 <b>できれば自分の年収を増やして、専業主婦になってほしいと思う。</b> 〔現実には難しいと思うけど。〕
	(A)：③フルタイム(時間の融通可) (B)：③フルタイム(時間の融通可) (C)：③フルタイム(時間の融通可) (D)：③フルタイム(時間の融通可) (E)：③フルタイム(時間の融通可)	彼女に負担の少ないライフスタイルを選んでもらい、それに合わせて自分が頑張ろうと思うから。
未婚男性 30 代	(A)：②フルタイム(残業なし) (B)：③フルタイム(時間の融通可) (C)：③フルタイム(時間の融通可) (D)：②フルタイム(残業なし) (E)：②フルタイム(残業なし)	<b>専業主婦だと家にこもって子どもと向き合うだけだが、働いていれば仕事の人間関係もある。</b>
	(A)：①フルタイム(残業あり) (B)：⑥家事・育児に専念 (C)：④パート・アルバイト (D)：④パート・アルバイト (E)：③フルタイム(時間の融通可)	本当は自分の収入だけで、妻は家のみが良いですが、実際は子どもが中高生になった時に、妻がパートに行くのが良いと思う。〔 <b>経済面、本人の発散。</b> 〕
	(A)：①フルタイム(残業あり) (B)：⑥家事・育児に専念 (C)：⑤家でできる仕事 (D)：③フルタイム(時間の融通可) (E)：③フルタイム(時間の融通可)	<b>主に経済面</b> 、今の(社会の)雰囲気、家においてほしくない。〔母は <b>専業主婦だが、働いた方が、社会に出た方が、本人にとっても良かったと思うので。</b> 〕
	(A)：③フルタイム(時間の融通可) (B)：⑥家事・育児に専念 (C)：④パート・アルバイト (D)：④パート・アルバイト (E)：①フルタイム(残業あり)	⑥>⑤>④。男は子どもを産めない。育児は母が主導権を持つべき。〔基本は男性が家計を担い、女性は子育てに専念してほしい。〕



10) 「女性の理想の働き方」についてそう考える理由（続き）

未既婚・性別・年代	結婚した女性の働き方 (アンケート調査 Q31 の回答)	Q33 何が理由でそう思うの？
未婚男性 30 代	(A):②フルタイム(残業なし) (B):②フルタイム(残業なし) (C):②フルタイム(残業なし) (D):②フルタイム(残業なし) (E):②フルタイム(残業なし)	<b>経済的に二人とも働くのが前提で共同生活できているため。</b> 〔職場からも頼りにされているので。〕
	(A):⑤家でできる仕事 (B):⑤家でできる仕事 (C):⑤家でできる仕事 <b>(D):⑤家でできる仕事</b> <b>(E):⑤家でできる仕事</b>	一生懸命働く。
既婚男性 20 代	(A):①フルタイム(残業あり) (B):③フルタイム(時間の融通可) (C):③フルタイム(時間の融通可) (D):③フルタイム(時間の融通可) (E):①フルタイム(残業あり)	フルタイム(時間の短縮)。職場の先輩の様子を見て、両立しやすそうだと感じた。 <b>経済的理由</b> 、福利厚生、 <b>妻の復職の希望。</b>
既婚男性 30 代	(A):①フルタイム(残業あり) (B):④パート・アルバイト (C):④パート・アルバイト (D):③フルタイム(時間の融通可) (E):②フルタイム(残業なし)	③いつ何があるかわからないから。
	(A):②フルタイム(残業なし) (B):⑥家事・育児に専念 (C):⑥家事・育児に専念 (D):④パート・アルバイト (E):④パート・アルバイト	自分の方が収入が多く、妻の子育ての役割が多くなると思うので。〔 <b>女性が社会に参加できることは大切。</b> 〕
	(A):②フルタイム(残業なし) (B):⑥家事・育児に専念 (C):⑥家事・育児に専念 (D):④パート・アルバイト (E):④パート・アルバイト	時間の確保と <b>収入の確保</b> の両立。夫の家事参加の機会増。
	(A):①フルタイム(残業あり) (B):⑥家事・育児に専念 (C):④パート・アルバイト (D):③フルタイム(時間の融通可) (E):①フルタイム(残業あり)	仕事を辞めてしまうと戻れない？
	(A):①フルタイム(残業あり) (B):②フルタイム(残業なし) (C):②フルタイム(残業なし) (D):②フルタイム(残業なし) (E):①フルタイム(残業あり)	正社員を継続して働いてほしい。保育園の迎えなどがあるため、定時上がりを希望。 <b>経済的理由(有給、ボーナス)から正社員として。</b>
	(A):①フルタイム(残業あり) (B):⑥家事・育児に専念 (C):⑥家事・育児に専念 (D):②フルタイム(残業なし) (E):②フルタイム(残業なし)	少し早く帰れる正社員。家事・育児をこなしながらフルタイムは大変すぎる。
未婚女性 20 代	(A):③フルタイム(時間の融通可) (B):⑥家事・育児に専念 (C):④パート・アルバイト (D):④パート・アルバイト (E):③フルタイム(時間の融通可)	<b>子どもが生まれたら、子どもとの時間を作りたい。</b> 〔自分が子どもの頃は1人っ子かつ鍵っ子。親の顔を見て育ててほしい。〕

10) 「女性の理想の働き方」についてそう考える理由 (続き)

未既婚・性別・年代	結婚した女性の働き方 (アンケート調査 Q31 の回答)	Q33 何が理由でそう思うの？
未婚女性 20 代	(A):②フルタイム(残業なし) (B):⑤家でできる仕事 (C):⑤家でできる仕事 (D):④パート・アルバイト (E):③フルタイム(時間の融通可)	<b>小さい時は在宅で働きたい(託児所は×)</b> 。大きくなったら(子どもが家にいない時)パート。パソコンを使った仕事なら家でもできる。将来のために貯金したいから。
	(A):①フルタイム(残業あり) (B):③フルタイム(時間の融通可) (C):③フルタイム(時間の融通可) (D):③フルタイム(時間の融通可) (E):②フルタイム(残業なし)	<b>子どもが小さい時は働きたくない</b> 。幼稚園からはパート。子どもが大きくなる、またはいない時は残業有のフルタイムで。〔子どもが小さい時は一緒に過ごしたい。それ以降は働きたい。〕
	(A):④パート・アルバイト (B):④パート・アルバイト (C):④パート・アルバイト (D):④パート・アルバイト (E):④パート・アルバイト	夫婦の時はパートで、働ける時間内で働く。収入を得たいから。子どもが3歳以下の時は絶対家庭に居たい。 <b>子どもの成長を最初に見たいから</b> 。子ども達が自分で自分のことを出来るようになったら。パートでもフルタイムでも働くかもしれない。〔子どもが大きくなったら(5~6才)働きたい。子どもの「はじめて」は自分で見たい!〕
	(A):①フルタイム(残業あり) (B):③フルタイム(時間の融通可) (C):③フルタイム(時間の融通可) (D):①フルタイム(残業あり) (E):①フルタイム(残業あり)	会社の子育てに関する制度が充実しているから、フルタイムで働く。〔育休3年、産休1年。保育施設も斡旋してくれる。〕
	(A):①フルタイム(残業あり) (B):③フルタイム(時間の融通可) (C):③フルタイム(時間の融通可) (D):③フルタイム(時間の融通可) (E):③フルタイム(時間の融通可)	収入が重要なので共働きするならフルタイム・残業無し・ボーナス有り。 <b>とにかく子どもに我慢させたくないの、とにかく収入</b> 。〔経済的に子どもにつらい思いをさせたくない。〕
	(A):③フルタイム(時間の融通可) (B):⑥家事・育児に専念 (C):④パート・アルバイト (D):④パート・アルバイト (E):③フルタイム(時間の融通可)	出産や育児の時間もつくりたいが、自分のためのお金は自分で稼ぎたいから。〔子育て費用も含む。〕
	(A):②フルタイム(残業なし) (B):⑤家でできる仕事 (C):③フルタイム(時間の融通可) (D):②フルタイム(残業なし) (E):②フルタイム(残業なし)	社会と関わりを持っていたい。母が辛かったと言っていたので。〔母は子育て期に社会と離れて孤独を感じていた。〕
	(A):②フルタイム(残業なし) (B):②フルタイム(残業なし) (C):②フルタイム(残業なし) (D):②フルタイム(残業なし) (E):②フルタイム(残業なし)	自分の職種として場所を問わず復職しやすいところがあるので、子どもがいない時や大きくなったらフルタイム、育児中も落ち着けば働きたい。〔職種が医療系(リハビリ)なので選択の幅が広い。〕
未婚女性 30 代	(A):①フルタイム(残業あり) (B):③フルタイム(時間の融通可) (C):③フルタイム(時間の融通可) (D):③フルタイム(時間の融通可) (E):③フルタイム(時間の融通可)	<b>子どもの危機にそばに居られる環境が良いと思う</b> 。〔今の職場では無理。女性の目が厳しい。〕
	(A):①フルタイム(残業あり) (B):⑥家事・育児に専念 (C):⑤家でできる仕事 <b>(D):⑤家でできる仕事</b> (E):③フルタイム(時間の融通可)	教育費諸々のお金の不安はあるが、 <b>子どもがちゃんと物心つくくらいまでは働かないで、子どものそばにいたい</b> 。

10) 「女性の理想の働き方」についてそう考える理由（続き）

未既婚・性別・年代	結婚した女性の働き方 (アンケート調査 Q31 の回答)	Q33 何が理由でそう思うの？
未婚女性 30 代	(A):①フルタイム(残業あり) (B):③フルタイム(時間の融通可) (C):②フルタイム(残業なし) (D):①フルタイム(残業あり) (E):①フルタイム(残業あり)	<u>子どもの世話をする時間が必要になると思うので、子育て中は時間的余裕が欲しい。</u> [今の仕事なら実現できそうな気がする。]
	(A):④パート・アルバイト (B):⑥家事・育児に専念 (C):⑥家事・育児に専念 <b>(D):⑥家事・育児に専念</b> (E):④パート・アルバイト	<u>子どもが小さいうちはできるだけ家事・育児に専念するのが良い。</u>
	(A):⑥家事・育児に専念 (B):⑥家事・育児に専念 (C):⑥家事・育児に専念 <b>(D):⑥家事・育児に専念</b> <b>(E):⑥家事・育児に専念</b>	仕事は、お金が許せば辞めたい。 <u>子どもについていてあげたい。</u>
	(A):①フルタイム(残業あり) (B):③フルタイム(時間の融通可) (C):③フルタイム(時間の融通可) (D):③フルタイム(時間の融通可) (E):③フルタイム(時間の融通可)	小さいころは家でできる仕事。小学生くらいは融通の利く仕事。中学生からはフルタイム。子どもも成長できそうだから。 [今の職場では、実現できそうにはない。産むと周囲からプレッシャーがある。子の病気等で休むときなど。親がいない人は苦勞している。] [子どもができると部署異動になったり、暗黙でやめる雰囲気もある。] [男性社会。女性の方にしわ寄せで圧がかかる。]
	(A):②フルタイム(残業なし) (B):③フルタイム(時間の融通可) (C):③フルタイム(時間の融通可) (D):③フルタイム(時間の融通可) (E):②フルタイム(残業なし)	今と同じ形で働き続けたい。家庭だけでなく、外にも出たい。自分で稼ぎたい。
	(A):①フルタイム(残業あり) (B):③フルタイム(時間の融通可) (C):③フルタイム(時間の融通可) (D):③フルタイム(時間の融通可) (E):①フルタイム(残業あり)	(友)できればフルタイムで働きたいと言っていた。自分の時間・世界を持つため。 [(友)家だけだと閉塞感を感じるそう。]
	(A):②フルタイム(残業なし) (B):④パート・アルバイト (C):④パート・アルバイト (D):③フルタイム(時間の融通可) (E):③フルタイム(時間の融通可)	子どもがいない時は将来のために貯金をしたいので、長く働きたい。子どもが小さい時は、時間にゆとりを持ちたいので、短く働きたい。 [今の職場は、「フルタイムだが時間の融通がきく仕事」をすることができそう。時短勤務は難しいと思う。]
既婚女性 20 代	(A):③フルタイム(時間の融通可) (B):⑥家事・育児に専念 (C):⑥家事・育児に専念 <b>(D):⑤家でできる仕事</b> (E):④パート・アルバイト	<u>子どもと居たいので。</u>
	(A):③フルタイム(時間の融通可) (B):⑥家事・育児に専念 (C):④パート・アルバイト (D):④パート・アルバイト (E):④パート・アルバイト	子どもは4歳～小学生の時は、短時間(パート)の方が向き合う時間が多く取れる。中学生になって手が離れたくらいでフルタイム(残業無し)。

10) 「女性の理想の働き方」についてそう考える理由（続き）

未既婚・性別・年代	結婚した女性の働き方 (アンケート調査 Q31 の回答)	Q33 何が理由でそう思うの？
既婚女性 20 代	(A):②フルタイム(残業なし) (B):⑤家でできる仕事 (C):④パート・アルバイト (D):④パート・アルバイト (E):④パート・アルバイト	パートタイム、融通が利く。経済面&子育ての面もあるが、妻自身のライフスタイル(仕事や人生に対し)を貫きたいので。[103万、130万のカベ。デメリットの方が多すぎる。]
	(A):④パート・アルバイト (B):⑥家事・育児に専念 (C):⑥家事・育児に専念 (D):④パート・アルバイト (E):④パート・アルバイト	<u>自分が子どもの頃「鍵っ子」だったので、自分の子どもにはそうしたくないから</u> (帰ってきた時は家に居たい)。(※①～③は選んでいない。)
既婚女性 30 代	(A):①フルタイム(残業あり) (B):④パート・アルバイト (C):③フルタイム(時間の融通可) (D):②フルタイム(残業なし) (E):②フルタイム(残業なし)	ミニ児童会館に預けて働く。[フルタイムで勤務中。子どもは早朝練習のあるクラブ活動に入っていて、一緒に登校・通勤できる。夕方子どもはミニ児童会館で過ごす。]
	(A):①フルタイム(残業あり) (B):⑤家でできる仕事 (C):④パート・アルバイト (D):④パート・アルバイト (E):④パート・アルバイト	<u>子どもが3歳になるまでは初めての成長をちゃんとみたいから、大きくなったら働いていく</u> (経済状況による)。
	(A):①フルタイム(残業あり) (B):③フルタイム(時間の融通可) (C):③フルタイム(時間の融通可) (D):③フルタイム(時間の融通可) (E):②フルタイム(残業なし)	<u>子どもが小さいときはなるべくそばにいて成長を見守りたかった</u> 。年齢的に正社員で新しい仕事に就くのが難しいので、育休も取り、経済面も考慮した役職に就いて、良い切り替えになっている。
	(A):③フルタイム(時間の融通可) (B):⑥家事・育児に専念 (C):⑤家でできる仕事 (D):⑤家でできる仕事 (E):⑤家でできる仕事	家庭中心のライフスタイルを送りたい(ただ、人それぞれだと…) <u>子どもと居られる時間は短いと聞くと、家族と過ごしていたいから</u> 。両立しているママさんがいるから。自営なので、自由に組み立てて暮らしていきたい。[収入と子育てライフワークのバランス]
	(A):③フルタイム(時間の融通可) (B):③フルタイム(時間の融通可) (C):③フルタイム(時間の融通可) (D):③フルタイム(時間の融通可) (E):③フルタイム(時間の融通可)	家計を支える。老後に備える。教育資金。
	(A):(不明) (B):(不明) (C):(不明) (D):(不明) (E):(不明)	<u>子育ての面</u> 。家族の時間確保。
	(A):①フルタイム(残業あり) (B):⑥家事・育児に専念 (C):④パート・アルバイト (D):④パート・アルバイト (E):③フルタイム(時間の融通可)	<u>家事・育児を優先したい</u> ので、必要最低限の収入が欲しい。
	(A):①フルタイム(残業あり) (B):③フルタイム(時間の融通可) (C):③フルタイム(時間の融通可) (D):③フルタイム(時間の融通可) (E):③フルタイム(時間の融通可)	いざという時のために母親も働いていた方が良い。教育費+α(歯科矯正費や習い事)やレジャー費にしたいから。でも今はしていません。いざという時、迎えに行けるように。

10) 「女性の理想の働き方」についてそう考える理由（続き）

未既婚・ 性別・年代	結婚した女性の働き方 (アンケート調査 Q31 の回答)	Q33 何が理由でそう思うの？
既婚女性 30 代	(A):④パート・アルバイト (B):⑥家事・育児に専念 (C):⑥家事・育児に専念 (D):④パート・アルバイト (E):④パート・アルバイト	パートタイム(短時間)。家事や子育てに 対しての時間に余裕がなくなるから。
	(A):①フルタイム(残業あり) (B):⑥家事・育児に専念 (C):④パート・アルバイト (D):③フルタイム(時間の融通可) (E):③フルタイム(時間の融通可)	<b>子どもが小さい頃の時間は、人生で特別 だと思う。その時間をじっくり味わいた いから、3歳までは育児に専念する。</b> 〔人 生 80 年、うまれてから 3 年は特別な時 期だと思う。〕
	(A):①フルタイム(残業あり) (B):④パート・アルバイト (C):③フルタイム(時間の融通可) (D):③フルタイム(時間の融通可) (E):②フルタイム(残業なし)	経済面で少しは働く必要があるが、 <b>子育 てを中心にして考えた。子育てに融通が 利くように。</b>
	(A):①フルタイム(残業あり) (B):⑤家でできる仕事 (C):⑤家でできる仕事 (D):④パート・アルバイト (E):④パート・アルバイト	時間に融通がきく短時間労働。子どもを 優先するべき。母親が外に出るのも大 事。
	(A):①フルタイム(残業あり) (B):②フルタイム(残業なし) (C):②フルタイム(残業なし) (D):②フルタイム(残業なし) (E):②フルタイム(残業なし)	子どもがいれば、保育園や学童の時間制 限があるので残業 NG。でも社会に出て働 きたい。キャリアも積みたいので、フル タイムでずっと働きたい。〔夫の働き方 や保育日の利用時間に制限がある。〕



### 11) 2人の子どもの持つのに最低限必要と思う世帯年収

◎2人の子どもの持つのに最低限必要と思う世帯年収(Q34(1))を見ると、その最低額は未婚男性では400万円、既婚男性では280万円、未婚女性では400万円、既婚女性では300万円であった。参加者全体の平均金額は595.8万円、アンケート調査結果の全体平均額が623.3万円だったことから、2人の子どもの持つと考える世帯年収として「400万円」が一つの区切り(下限額)としてあると考えられる。

◎なお、「400万円」以下を挙げた人については、現在の自分(+恋人・配偶者)の年収との比較を聞いたところ(Q34(3))、「①相当高い」「②少し高い」と答えたのは、男性は4名中3名、女性は4名中、未婚20代の1名のみであった。

◎上記の世帯年収額の根拠(付加される金額の根拠)として男性、女性とも最も多く挙げられたのが子どもの教育費であった(男性4名、女性12名)。「教育費がより必要になるから」「子どもの学費を考えて」「…習い事が必要だから」などのように挙げられている。

未既婚・性別・年代	Q34(1)2人の子どもの持つのに最低限必要と思う世帯年収はいくら?	Q34(2)その根拠は?	Q34(3)それは今の自分(+恋人・配偶者)の年収と比較してどう?
未婚男性 20代	550万円	親の年収(実体験)〔親は家・車持ちだった。〕	①相当高い
	700~800万円	現状+αとして考えた。〔現状でも1人は可能だと思うが…。〕	②少し高い
未婚男性 30代	<b>400万円</b> 〔漠然と2,000万円位?〕	<b>教育費</b> 、結婚時+α	<b>①相当高い</b>
	450万円	親を見て、現在の環境を踏まえて。〔医療費など生活費がかかる。〕	①相当高い
	450~500万円	<b>教育費がより必要になるから。</b> 〔私立大学進学の可能性。保険のCMも見て。〕	①相当高い
	800万円	家族が増えてお金がかかる( <b>教育費</b> )〔第一に大学への進学。第二に幼児期の託児サービス(高いと聞いている)。〕	②少し高い
既婚男性 20代	700万円	現在の収入で養えそう?	③少し低い
既婚男性 30代	<b>280万円</b> 〔わからない。〕	感覚で。	<b>②少し高い</b>
	<b>350万円</b>	生活費+α。	<b>④相当低い</b>
	500万円程度	周りの家庭環境・同僚の様子を見て。	③少し低い
	全く想像できない。	本気で考えたことがないが、将来のことも考えないと。	①相当高い

11) 2人の子どもを持つのに最低限必要と思う世帯年収（続き）

未既婚・性別・年代	Q34(1)2人の子どもを持つのに最低限必要と思う世帯年収はいくら？	Q34(2)その根拠は？	Q34(3)それは今の自分(+恋人・配偶者)の年収と比較してどう？
既婚女性 30代	600万円以上	生活費+貯金をしていくため。	③少し低い
	<b>400万円</b> [わからないけど1,500万円/人くらい？]	<b>学費を確保。</b>	<b>①相当高い</b>
未婚女性 20代	800万円？	勘。[自分年収×2+子育て費用、のイメージ。]	②少し高い
	<b>400万円</b>	親がそうだったから(大卒までの想定。後は一人暮らし等、自立してほしい)。	<b>①相当高い</b>
	500万円	2人分の養育費に+αで。[母親の働き方を見て。]	①相当高い
	600万円以上。	自分の年収が300万円くらいなので、相手もこの位と仮定した結果。[相手が東京の人。地域格差も心配(札幌での生活した場合を想定)。]	②少し高い
	700万円	実体験(親の収入)。[高卒までこれくらいは必要？(親を見ての想像)]	①相当高い
	450万円以上	月25万円+ボーナスで生活できるかな。[ボーナスは貯蓄。子育てに使う。] <b>【大卒まで考えているが、子どもにも公立校への進学や奨学金などを考えてほしい。】</b>	①相当高い
	800万円	今の生活水準をそのまま保てそうだから。	②少し高い
	500万円	想像(子どもが社会人になるまで、これくらいは必要?)。	①相当高い
未婚女性 30代	500~600万円 [手取りで。]	なんとなく。親を見て。	①相当高い
	600万円	このくらいあったら、何とかなるような気がする。[ <b>教育費。</b> ]	①相当高い
	450万円？	<b>教育にお金がかかりそう。</b> [親が私にしてくれたことを、私の子どもにもしてあげたい。] [子どもを育てるのにかかる費用は1,000万円/人と考えている]	①相当高い
	750万円	ほしい。[もう生活に追われてギスギスしたくない。]	②少し高い
	800万円	<b>子どもの学費を考えて。</b> [大学に進学すると一人1,000万円かかると聞いたので、このくらいは最低限必要かと思った。]	③少し低い
	1,000万円	結婚生活スタートの金額+(1人分)200万円×2人 [不安だから多めに見積もっているのかも]	①相当高い



11) 2人の子どもを持つのに最低限必要と思う世帯年収（続き）

未既婚・性別・年代	Q34(1)2人の子どもを持つのに最低限必要と思う世帯年収はいくら？	Q34(2)その根拠は？	Q34(3)それは今の自分(+恋人・配偶者)の年収と比較してどう？
未婚女性 30代	1,000万円以上	<b>2人の大学費用。</b> 〔習い事も考えるなど、考え出すときりがないが。〕	①相当高い
	<b>400万円</b>	子育てにはお金がかかる。〔 <b>教育の考え方次第でもっとかかる。</b> 〕	③ <b>少し低い</b>
	600万円	友人たちを見ていると、そのくらいかかっているようだから。〔世帯の一般的な経費に加えて、ケガ、病気、 <b>学費</b> というイメージ〕	①相当高い
	550万円	結婚するのに400万円くらいかと思ったので、そこに+α。	①相当高い
既婚女性 20代	400～600万円	現在子ども1人で年収200～300万円だから単純に倍にした(子どもがしたいことなどを考えて、私が働く時間を変える)。	①相当高い
	500万円	今の年収に少しプラスで500万円だから。	②少し高い
	500～600万円	<b>教育・医療・娯楽</b> それぞれの費用が掛かる+将来の貯蓄をしたい。	①相当高い
	500万円	分からない、なんとなく。確か自分の実家がそれくらいだった(2人兄妹)。	②少し高い
既婚女性 30代	<b>400万円</b>	報道などで、女性が結婚相手に求める年収が400万円という答えが最多であった、と見たから。	④ <b>相当低い</b>
	500～700万円	今、子ども一人で最低限の中で暮らしており、二人以上となれば、このくらいかかると思う。	①相当高い
	600～700万円くらい	<b>保育料、大学の入学費用、塾代や習い事など、教育費用の面。</b> 〔保育料、結構高い。大学費用も高い！準備が大変！〕	②少し高い
	600～700万円	月最低30万円と考えて、子どもの保険、 <b>学費</b> の出費でぎりぎりだから2人だと倍の600～700万円。	②少し高い
	800万円	保険や <b>習い事が必要だから。</b>	②少し高い
	800万円くらい。	テレビや雑誌など(具体的な数字を見たわけではない。)また、主人が余裕をみたがる。	②少し高い
	800万円	暮らしてみても感じる。〔公共のサービスが利用しづらい自治体もある。〕	ほぼ同じ。

11) 2人の子どもを持つのに最低限必要と思う世帯年収（続き）

未既婚・性別・年代	Q34(1) 2人の子どもを持つのに最低限必要と思う世帯年収はいくら？	Q34(2) その根拠は？	Q34(3) それは今の自分(＋恋人・配偶者)の年収と比較してどう？
既婚女性 30代	質を問わなければ年収 <b>300万円代</b> だと思う。〔リサイクルや公共サービスを上手に利用すればお金はかからないのでは？〕	札幌市は子育てが充実している。人に助けをもらおうと安くなる？〔お金でははかれない幸せの価値がある。〕	<b>④相当低い</b>
	500万円	現在で少し余裕があるので、少しプラス。	②少し高い
	600万円	<b>学費</b> や保険、生活費が多くかかる。	②少し高い
	700～800万円	子育てに余裕を持ちたいから。	②少し高い
	800万円	<b>学費</b> 。習い事もさせたいから。	①相当高い
	600～800万円(600万円：公立大学、800万円：私立大学)	<b>学費や習い事</b> 、交通費、単身赴任の費用が必要。	②少し高い

## 12) 経済的不利を補うために結婚することについてどのように考えるか

◎内閣府調査報告書の「欧米社会では所得の低いカップルが経済的な問題を解消するために同棲・事実婚を開始することが多いとされる…」(p103)、「稼得役割を男性に求めない、換言すれば非正規雇用の男女が結婚したり、稼得力の低い男性と高い女性が結婚するようなパターンが増えてこないかぎり、稼得力の低い男性の不利は変わらない」(p108)との指摘にヒントを得て、経済的な不利を補うためにカップルになるという考え方についてどの程度受容できるかを聞いた設問である。

◎まず、考えたことの有無を聞いたが(Q41(1))、男性では6名、女性では18名が「ある」と答えた。

◎そういう考えについてどう思うか聞いたところ(Q41(2))、上記の計24名中22名が、また、考えたことが「ない」人でも男性は4名、女性は5名(総計31名)が肯定的な意見を示した。特に女14(未婚30代)が「友人がそういう考えで結婚したが、すごく幸せそうなので良いと思う」と述べているように、身近にロールモデルがある人もいる。

未婚・性別・年代	Q41(1)「自分一人だけだと収入が少ないから、誰かと夫婦になってやりくりを楽にしよう・子どもを持てるようになろう」という考え方について、考えたことが?	Q41(2) そういう考えについて、どう思う?
未婚男性 20代	<u>ある。</u>	<u>この考えとは関係なく、結婚することは人生の中で必要であるし、良いことであると金銭に余裕があれば、生活にも余裕ができて</u>
未婚男性 30代	<u>ある</u> (経済的負担を減らすため)。	<u>楽をしようとする考えはあり。子どもを持つ場合、ちゃんと育てられるならあり</u> (ビジョン・しつけがなければなし)。
	<u>ある。</u>	<u>良いと思う。</u> 家賃(ローン)とか折半できる。
	水商売の女性のヒモになれば良い、と考えたことがある。 [楽になりたいから。]	<u>カップルが納得しているなら、あり。</u> 子どもがいること→生まれてくる子どもがかわいそうなので、やめるべき。
	ない。	自分の収入が少ないのに、人を頼っても…。甘い考えに思えてしまう。
	ない。	自立もお互いにできていないと、同棲してもどちらかが依存してしまうと思うから。
	ない。	生活が苦しい。
既婚男性 20代	ない。	<u>そういう考え方もあり。</u>
	<u>ある</u> (子どもが欲しいから)。	<u>いいと思うし、話もする。</u> [他人に迷惑をかけなければ。]
	ない。	<u>結婚理由としては有りだと思う。</u>
	ない。	考え方としては有りだと思うが、男としての考え方とは違う気がする(子どもが欲しい、一緒にいたいから結婚)。 [女性に頼って…というのはいかがなものかと。]
	ない。	<u>相手も同じ考えなら良いのでは。</u> [まずはパートナーあつての「結婚」なのでは?]
	ない。	<u>お互いに納得しているのであればOK。</u>
未婚女性 20代	<u>ある。</u>	<u>相手にもよるが、良いと思う。</u> [相手もそのような考えを持ってこそ。]
	ない。	考え方は人それぞれなので、別にどうも思わない。 [言われれば考えることもあ]
	ない。	<u>そういう考えもありだな、とは思う。</u>

未既婚・ 性別・年代	Q41(1)「自分一人だけだと収入が 少ないから、誰かと夫婦になって やりくりを楽にしよう・子どもを 持てるようになろう」という考え 方について、考えたことが？	Q41(2) そういう考えについて、どう思う？
未婚女性 20 代	<u>ある。</u>	<u>別に良いと思う。</u>
	<u>ある。</u>	<u>いいと思う。支え合ってこそ夫婦。</u>
	ない。	人によると思うが、自分はそういう結婚を 幸せとは思わない。〔幸せになれそうに ないと思う。〕
	ない。	お互いに一人で生きていける者同士で結婚 した方が良いのでは？〔金銭的な理由で一 緒になるのは良くない。〕
	ない。	よく分からない。「好き」という気持ちは？ 〔自立できるようになるのを第一に考えるべ い。〕
	ない。	全然あると思う。ただ、自分にはないだ け。〔この考えを聞いた後も、そうは思わ ない。そのための結婚ではない。〕
未婚女性 30 代	<u>ある。</u>	申し訳ない。〔相手に頼ることになると思 うので悪いな…。〕
	ない。	“結婚=金”の考え方をしたことがない。そう 考えるのは悪いとは思わないけど…。〔そ ういう考え方が悪いとは思わない。ありだ と思いが、思ったことがない。あまり理解 できない。〕
	<u>ある。</u>	<u>アリだと思う。1人であるより2人である 方がきつと良い。</u> 〔就職する頃に、働か なくてもおれと結婚すればよいと言われて、 それも悪くないと思ったことがある。〕
	<u>ある。</u>	<u>良いと思います。</u> 〔実行はしない。思いはあ るけど。〕
	ない。	自分を押し殺せる人なのだと思います。 〔我慢しないで一人で気楽に過ごすのも良 いのかなと思う…。〕
	<u>ある</u> (子どもが欲しいから)。	<u>あり。</u> 〔若いうちに結婚しなくてよかった (出来てないけど)。後悔していない。〕
	ない。	<u>友人がそういう考えで結婚したが、すごく 幸せそうなので良いと思う。</u> 〔(友)その友 人は、ある時期から「働いても楽にならない。 子どももほしいから」と婚活を頑張っ ていたところ、5ヶ月で結婚を決め、1年 後の今は赤ちゃんが産まれており、そう いう考え方はありだと思う〕
	ない。	<u>それも良いと思います。</u>
既婚女性 20 代	<u>ある。</u>	甘い考えだと思う。支え合ってこそ夫婦だ と思うので、自分が楽できるからとの理由 で結婚すべきではない。
	ない。	<u>ありだと思う。</u>
	<u>ある。</u>	<u>支え合って生きることに結婚の意義があ る。</u>
	<u>ある。</u>	<u>ありだと思う。お金がないと何もできないか ら。</u>
既婚女性 30 代	ない。	安易。世の中甘くない。

未既婚・ 性別・年代	Q41(1)「自分一人だけだと収入が 少ないから、誰かと夫婦になって やりくりを楽にしよう・子どもを 持てるようになろう」という考え 方について、考えたことが？	Q41(2) そういう考えについて、どう思う？
既婚女性 30 代	ない。	人それぞれなので、そういう考え方はあっても良い。でも、上手くいくかは自分と相手次第だと思う。理解するのは難しい。
	<u>ある。</u>	<u>自然なことかなと思う。</u>
	<u>ある。</u>	<u>人には言えないけど、良いと思う。</u>
	<u>ある。</u>	<u>幸せなら良いと思う。</u> 〔理由はともかくお互いが幸せになるなら。〕
	<u>ある。</u>	<u>肯定。</u> 女性の本能だし、働いて稼ぐべきとは思えない。仕事もシビアだし。
	<u>ある。</u>	<u>良いと思う。</u> 女性の収入は男性より低い場合が多い。
	ない。	「子どもを持たない」という風にしないと、やりくりは楽にならないと思う。「子どもを持てるように」という目的はある。
	ない。	頭いいなあと思います。でも出来ないなあ。そんなにうまくいくかな？
	ない。	お金のために結婚するという考えはない。
	<u>ある</u> (子どもが欲しいから)。	<u>(収入のこと)男である必要はないのでは？(子どものこと)結婚する目的となる大きな理由だと思う。</u>
	<u>ある。</u>	<u>子どもがほしいので考えた。あり得ると思</u>
	ない。	<u>自分の収入が少なければあると思う。</u> そもそも、昔の女性は旦那に養ってもらう前提で結婚しているし、その流れが今もある(政治的に)。

### 13) 結婚のプレッシャー

◎結婚のプレッシャーの有無については（Q42(1)）、男性の8名、女性の27名が「ある」「あった」と答えた。

◎誰からかとの問（Q42(2)）に対しては、特に「双方の親」「同居する家族」「主人の実家」「市内に住む親戚から」など自身・パートナーの親・親戚が多く挙げられている（男性6名、女性12名）。

◎親・親戚からのプレッシャーを受けた人は、その結果どのように考えたかという問（Q42(3)）に対して、「出来るだけ早めに結婚しよう」「どんな結婚したいか、理想像を考え始めた」と前向きに働いた人が5名（男性2名、女性3名）、「モチベーションはぐっと下がり、1人が楽とってしまったている」「SNSでパートナー探し、無理をしている」などマイナスに働いた人が5名（男性2名、女性3名）であった。

◎なお、プレッシャーを与えたのが「自分」と回答した人も男性3名、女性で7名いた。

未既婚・性別・年代	Q42(1) 結婚のプレッシャーって？	Q42(2) それはどこに住む誰からのプレッシャー？	Q42(3) その結果、結婚についてどう考えている？
未婚男性 20代	<u>ある。</u>	自分自身。この年頃になって、一人で出歩くのが恥ずかしい。	良い機会があれば、積極的に参加するようにしたい。
	<u>ある。</u>	<u>双方の親。</u> 〔自分の親は長崎。パートナーは札幌。〕	<u>パートナーをしっかり支えていきたいと考える。</u> プレッシャーによる重荷はない。（モチベーションは変わらない。）
未婚男性 30代	ない(以前はあった)。	<u>農村部のおじさん。</u>	<u>モチベーションになっていない。</u> そんなよさそうに見えない。けんか。
	<u>ある。</u>	自分。	色々行動したが…。
	<u>ある。</u>	<u>親から「離婚しても良いから結婚しろ」と言われる。</u> ただ、母親が同性について悪口を言っているのを聞くと、結婚相手も同じことを言う気がして結婚する気が萎える。	<u>モチベーションはぐっと下がり、1人が楽とってしまったている。</u>
	<u>ある。</u>	自分。	現状、すぐに雇用の改善は望めないため、税金控除や投資を勉強している。今は非正規雇用だが、無期限雇用の確約が得られたら結婚したい。
既婚男性 20代	<u>ある。</u>	広い家に住む。	結婚相手を見つける。
既婚男性 30代	ない。	—	—
	ない。	—	—
	<u>あった。</u>	<u>嫁の両親(特に母親)</u>	<u>出来るだけ早めに結婚しよう</u> 〔プレッシャー。収入も安定しない時期ではあったが、踏ん切りはついた。同棲するくらいなら早く決める。〕
	<u>あった。</u>	妻と <u>妻方の母親</u>	〔同棲時期にあった。「子どもが欲しい」「孫が欲しい」という声があった。女性としては当然。〕
	ない。	—	気楽に生きてきた。

13) 結婚のプレッシャー (続き)

未既婚・性別・年代	Q42(1) 結婚のプレッシャーって？	Q42(2) それはどこに住む誰からのプレッシャー？	Q42(3) その結果、結婚についてどう考えている？
既婚男性 30 代	<u>あった。</u>	<u>親、嫁。</u>	そろそろしないとなあ、と思ったが、気持ちの踏ん切りがつかなかった。〔 <u>プレッシャーが良い方向に働いてくれた。</u> 〕
	ない。	—	—
未婚女性 20 代	<u>ある。</u>	<u>札幌に住む母。</u> 〔遠回しに「孫が欲しい」と言われた。〕	今は気にしないようにしている。夢が一番を考えてしまうので。〔自分のタイミングが一番。(プレッシャーは感じていない。)]
	<u>ある。</u>	<u>市内に住む親戚から。</u> 〔親からのプレッシャーは無し。〕	結婚はしたいが、他人の意見は聞き流している。
	<u>ある。</u>	自分と世間。〔世間→結婚や出産適齢期の情報。〕	真剣に考えて行動している。
	<u>ある。</u>	<u>同居する家族</u> や職場の人。〔女性から言うと、男性側にプレッシャーを与えてしまう？〕〔姉妹は子どもがいるので、それも多少プレッシャーに。〕〔25~26 歳くらいからプレッシャーが。27 歳で結婚が危ういと言われる。28 歳になると自分でも気にする。〕	<u>「うるさいな…(結婚)したいんだよ、こっちは。」</u>
	ない。	—	まだ若いから放っておいてほしい。〔親は早婚(22~23 歳)だから、来年くらいには？〕〔「25 歳はクリスマスケーキ」と職場で言われた。〕
	ない。	—	好きな人、良い人と結婚したい。
	ない。	—	結婚はしたいが、出来なくても良い。〔「孫の顔が見られなくても良い」と親に言われた(結婚が絶対ではない)。〕
	ない。	—	自分の中で良いタイミングの時に結婚する。
未婚女性 30 代	<u>ある。</u>	自分。	全く具体的に考えていない。今は恋愛かな？
			考えない。〔結婚していないことで「性格に問題あり」と思われることも不安。誰にも選ばれなかったということだから。〕〔といいながら、「この人と結婚するなら一人で居た方がマシ」と思う。自分に問題ある自覚あり。考える前に行動…とは思っているがなかなかできていない〕



13) 結婚のプレッシャー (続き)

未既婚・性別・年代	Q42(1) 結婚のプレッシャーって？	Q42(2) それはどこに住む誰からのプレッシャー？	Q42(3) その結果、結婚についてどう考えている？
未婚女性 30 代	<u>ある。</u>	<u>田舎に住む両親</u>	自分でもしたいと思っているけど、そこまでのステップに至っていないのでプレッシャーを感じる。〔遠距離恋愛で年3回しか会えないので、結婚したいがリアクションがない。〕〔兄も結婚していない。親も焦っている。〕〔相手がいるだけにプレッシャーは違う意味で強くなる。〕
	ない(以前はあった)。	職場のおじさん、 <u>母</u> 。	<u>ちゃんと考えてみようと思った。</u>
	<u>ある。</u>	世間一般。道行く人に、「結婚していないんだなあと思われている」と考えているときがある。	重荷。少し婚活に向けての行動に移りました。
	ない。	世間	ない。〔テレビや雑誌を見ていると、「結婚したり、彼氏がいないとダメなの?」と思わされる。〕
	ない。	—	楽だけど、婚活に必死さがなくなるかも。親は結婚が幸せというわけでもないし、というようなことを言っている。〔はげましなのかも。弟も結婚していないが同棲中なのでゆとりがあるのかも。〕
	<u>ある。</u>	<u>親</u> 。	<u>プレッシャーで彼氏と別れた。</u> 〔長くつきあっていたのだが、「結婚したい」と言ったら別れることになった。〕
	<u>ある。</u>	<u>親</u> 、会社の上司。	つながっている。〔3年前に結婚をやめたら気が楽になったが、最近結婚していないことや、付き合い合っている人がいないことで、見下げられているのかなと思うことが続いている。無理やりに紹介されたり、年代的に高齢者にあたる人からしつこく告白されるなど。結婚する方が良いのだ、と思うことが増えた。〕
	<u>ある。</u>	周りの友達など。	プレッシャーはあり、早く結婚したいが、誰でもいい訳ではない。
既婚女性 20 代	ない。	—	できちゃった結婚だったので、双方の両親に有無を言わせなかった。私の親にとっては初孫なので、大事に育てようとやる気になっている。
	<u>あった。</u>	<u>主人の実家</u> 。	<u>良かった。</u>
	<u>あった。</u>	まわりの友人たちを見て。兄・妹に子どもがまだいないので。	影響なし。

13) 結婚のプレッシャー (続き)

未既婚・性別・年代	Q42(1) 結婚のプレッシャーって？	Q42(2) それはどこに住む誰からのプレッシャー？	Q42(3) その結果、結婚についてどう考えている？
既婚女性 20 代	<u>あった。</u>	子どもが欲しいと思う自分からプレッシャーを感じる。周りからは特にない。	旦那は今すぐ結婚しなくても…と言っていたが、結果的には結婚に進めてくれたから良かった。
既婚女性 30 代	<u>あった。</u>	心の中の自分。〔この間がプレッシャーでストレスになりました。〕〔4年で離婚した。よくもったと思う。一番の理由は、人と一緒に生活することが辛かった。一人に慣れてしまっていた。相手もそのようで、互いに自分ルール of 厳しい 2 人だった。〕	とにかく、結婚はもうイヤ。
	ない。	両親からも結婚しないと思われていた。	(子どもが)出来れば出来たで良いし、長女がいたので淋しくもなかった。長女を育てることに精いっぱいだった。
	<u>あった。</u>	自分で勝手にプレッシャーを感じていた。	親(函館在住)に孫を見せてあげたい。育ててもらったから。喜んでかわいがってくれるので、親孝行になったかな、と思った。
	<u>あった。</u>	自分。	しっかり考えた。
	<u>あった。</u>	<u>近くに住む(元気な)親。</u>	<u>どんな結婚したいか、理想像を考え始めた</u> (親みたくなりたいか?)
	<u>あった。</u>	<u>母。</u>	少しあった。
	<u>あった。</u>	報道による孤独死。	結婚して、一人の老後を回避したい。
	ない。	—	自分の好きなタイミングでできて良かった。
	<u>あった。</u>	誰かからではなく自分。	頑張っています(自己満足ですが…)。
	ない。	—	〔プレッシャーをかけられる年齢があるのかも。〕
	<u>あった。</u>	<u>旭川に住んでいた祖母</u> (現在は他界)。	北海道に引っ越しきっかけの一つになった。
	(友) <u>ある。</u>	<u>家族</u> や友人。	<u>SNS でパートナー探し、無理をしている。</u> 落ち着いてほしいと思う。
ない。	—	—	

#### 14) 子どもを持つプレッシャー

- ◎子どもを持つプレッシャーの有無については（Q43(1)）、男性の 8 名、女性の 25 名が「ある」「あった」と答えた。
- ◎誰からかとの問（Q43(2)）に対しては、ここでも「自分の親」「相手の親」「旭川近郊に住む夫の祖母・叔母・母」など、など自身・パートナーの親・親戚が多く挙げられた。
- ◎その結果、どのように考えたかという問（Q43(3)）に対して「なるべく早くに欲しいと考えている」「いた方がいいかな」と思う気持ちになった」と前向きに働いた人が 3 名（男性 1 名、女性 2 名）、「モチベーションにならない」「少しだけ悩みの種に」「重荷」などマイナスに働いた人が 4 名（男性 1 名、女性 3 名）であった。
- ◎なお、プレッシャーを与えた人として「自分」を挙げた人は男性 3 名、女性で 6 名だった。

未既婚・性別・年代	Q43(1) 子どもを持つことについてのプレッシャーって？	Q43(2) どこに住む誰からのプレッシャー？	Q43(3) その結果、子どもを持つことについてどう考えている？
未婚男性 20 代	ない。	—	—
	<u>ある。</u>	<u>自分の親。</u>	<u>なるべく早くに欲しいと考えている。</u>
未婚男性 30 代	<u>ある。</u>	<u>親</u> (言わないけど期待しているらしい)。	<u>モチベーションにならない。</u>
	ない。	—	—
	<u>ある。</u>	<u>親</u> や周りの目。	それでも子どもは欲しいと思います。
	<u>ある。</u>	自分。	重荷ではあるが、目標として育てたい。
既婚男性 20 代	ない。	—	—
	ない。	—	—
既婚男性 30 代	<u>ある。</u>	<u>父親。</u>	出来るだけ頑張っているが、あきらめている。
	<u>ある。</u>	嫁の親。	—
	<u>ある。</u>	<u>親</u> 、上司。	真剣に考えていない。〔上司に「男は子孫を残してナンボ!」〕
	ない。	—	—
	<u>ある。</u>	自分。	仕事を頑張ろうと思う。〔自分で自分にプレッシャー。子どもが 20 歳になった時のことを考えると…。〕

14) 子どもを持つプレッシャー（続き）

未既婚・性別・年代	Q43(1) 子どもを持つことについてのプレッシャーって？	Q43(2) どこに住む誰からのプレッシャー？	Q43(3) その結果、子どもを持つことについてどう考えている？
未婚女性 20 代	ない。	—	友人の子どもで、今は満足している。〔周りにいる友人の子どもを見て、満たされてしまっている。〕〔子育ての大変さをみると「キツそうだな。やっぱりいいかな」と思ってしまう。〕
	<u>ある。</u>	<u>相手の親。</u>	<u>少しだけ悩みの種に。</u>
	<u>ある。</u>	自分と世間。	早く産まなくては、と焦る。
	<u>ある。</u>	<u>同居する家族。</u> 職場の人。	早く産まないと体力的にキツイ。子どもが 20 歳で親が還暦なのはキツイ。〔体力と欲しい人数を考えると自分でもプレッシャーを感じる。〕〔SNS からのプレッシャーもキツイ(子どもの写真ばかり。)] 〔社会が維持できないのは困るが、そのために個人の家庭が苦労したり子どもに不自由な思いはさせたくない。〕
	<u>ある。</u>	<u>親。</u>	<u>子どもができるなら持ちたい。</u>
	ない。	—	子どもは欲しいが、産まねばならないと考えたことがなく、ましてや誰かに強制されるものではない。ちょうど良いタイミングであっても。〔そもそも余裕がないと子育てできない。〕〔年齢だけで強制されたくない(夫以外に。)]
	ない。	—	—
	ない。	—	結婚もまだなので、深く考えたことがない。
未婚女性 30 代	<u>ある。</u>	自分。	真人間に育てられるか。
<u>ある。</u>	挙げるとしたら金銭面。	子どもを持つことでのプレッシャーはあまり考えてなかった。	
<u>ある。</u>	<u>母。</u>	<u>「いた方がいいかな」と思う気持ちになった。</u>	
<u>ある。</u>	自分の年齢。	ただ焦る。	
<u>ある。</u>	自分自身。	リミットが近い。	

14) 子どもを持つプレッシャー (続き)

未既婚・性別・年代	Q43(1) 子どもを持つことについてのプレッシャーって？	Q43(2) どこに住む誰からのプレッシャー？	Q43(3) その結果、子どもを持つことについてどう考えている？
未婚女性 30 代	<u>ある。</u>	友達、 <u>親</u>	年齢。
	ない。	—	でも、出来るなら欲しいです。
	ない。	—	(友)実母からのプレッシャーがあり、対外受精で妊娠している。本人は不安で一杯になっている。自分以外から受けるプレッシャーで子どもを産むのは正解なの？
	<u>ある。</u>	自分。	まだ行動等に反映されるところまで行っていない。
既婚女性 20 代	<u>ある。</u>	<u>私の両親、兄(病気)。</u>	今は一人だけど、もう一人欲しい。余裕はないけど。
	ない。	—	良かった。
	<u>ある。</u>	自分自身・友人(育てられるか、産めるか)	逆に健康について考えるように。同年代の友達を作ってあげたい。
	<u>ある。</u>	子どもが欲しいから、それなら「結婚が先でしょ」と思った自分からのプレッシャー(自分が不妊だとわかっていたので。あと年齢的にも)。	結婚して不妊治療に進んでいけるので、良かった。
既婚女性 30 代	ない。	—	子どもはいた方が良い。成長がみられる。意欲がわく。
	あった。	<u>2人目の時にあった。夫の両親にとっては血のつながった孫がないので(私自身へのプレッシャー)。</u>	夫も私も検査に行ったり、子どもが出来やすいように色々と考えていたが、 <u>ストレスになっていた。</u>
	ある。	報道の影響。親などからのプレッシャーはない。	孤独死を回避したい。
	ある。	<u>義理の両親。</u>	<u>重荷。</u>
	ある。	自分自身へのプレッシャー。	プレッシャーはありましたが、何とかなる。産んで後悔はしていません。
	あった。	<u>実家の両親(あまり親戚がない)。</u>	—
	あった。	<u>夫の母</u>	悪気ないようだったのであまり気にならなかった。
	あった。	<u>近くに住む親、世間？</u>	何歳までに産まないと病気になる、と聞いた(でも、子どもに選ばれるものなので、のんびり構えたいと…)
	ある。	<u>母・職場の人。</u>	少し焦りがあった。
	あった。	まわりの友達。	早くほしいと思っていた。
なかった。	—	入籍前、婚約中に妊娠したので、その暇がなかった(祖母が他界した後だったため)。人生が大きく変わる大イベントだった、よくも悪くも。持たない選択もありだと思う。	

14) 子どもを持つプレッシャー (続き)

未既婚・性別・年代	Q43(1) 子どもを持つことについてのプレッシャーって？	Q43(2) どこに住む誰からのプレッシャー？	Q43(3) その結果、子どもを持つことについてどう考えている？
既婚女性 30代	ある。	<b>家族</b> 、友人、年齢。	子どもができて良かった。
	ある。	<b>旭川近郊に住む夫の祖母・叔母・母</b> 。結婚当時住んでいた沼田町の仕事関係の人たち。	結婚してからずっと子どもが欲しかったが、なかなか出来なかった。欲しくないわけではないのに「早く(子どもを)」「仕事しているから(子ども)が出来ないと言われ、夫の実家方面に行きたくなかった。〔地方のお年寄りの気持ちが大きかった。悪気を感じるくらい。〕

### 15) 「家を継ぐ」ことについてどう思うか

◎本設問はグループヒアリングの時間の関係で一部の人に聞いている。

◎考えたことはあるかとの問 (Q44(1)) に対して「ある」と答えたのは 27 名中 1 名のみだった。

◎一方で「家を継ぐ」との考え方についてどう思うかとの問 (Q44(2)) に対しては「心構えがしっかりして良いと思う」「あり。良いと思います」「立派だと思し、人間らしいと思います」と比較的肯定的に捉えている人が 27 名中 11 名いた。

未既婚・性別・年代	Q44(1)「家を継ぐために結婚する」と考えたことはある?	Q44(2) そういった考え方についてどう思う?
未婚男性 20 代	ない	無理に結婚しても不幸になるだけなので、納得のいく人と結婚すればよいと思う。
	ない	今のご時世、その考え方は古いかと思う。
未婚男性 30 代	ない	そういう家に生まれた人はしょうがない(かわいそうだけど)。
	ない	<b>心構えがしっかりして良いと思う。</b>
	ない	家業もないし、現実味がない。
未婚女性 20 代	ない	家を継ぐことを一切考えていないから。
	ない。	<b>あっても良い考えだと思う。</b> 私の叔母は自分の姓を残すために、婿を取った。[気に入った姓を残したいから婿を取ることも?]
	ない。	どうしても、となったら自分が頑張るかな…(自分の実家の家業の場合)。相手の家業の場合でも「良いのでは?」としか思わない。[家業は継ぐが、そのことで相手にプレッシャーをかけたくない。]
未婚女性 30 代	ない。	収入が見込めるなら。[経済的課題をクリアできれば、継いでも良い。]
	ない。[次女だから言われたことがない?]	仕方がない。自分は女だし次女だから継ぐ気はない。相手が自分の家を継ぎたいのなら継げばよいのでは?
	ない。	大変だけど頑張る。
	ない。	<b>別にありだと思う。</b>
	ない。	—
既婚女性 20 代	<b>ある。</b>	<b>あり。良いと思います。</b>
	ない。	<b>別に良いと思う。</b>
	ない。	<b>血縁を絶やさないという意味での「継ぐ」は大事。</b>
	ない	<b>良いと思う。</b>
既婚女性 30 代	ない	<b>家業がある家庭なら強制はできないが、継続できるならした方が良いと思う。</b>
	ない。	<b>考え方としては有りだと思う(本人が納得していれば)。</b>
	ない。	家柄によっては仕方がない、継がなくてはいけない状況はあると思う。夫も私も特に必要がなかったため。
	ない。	それに縛られて条件などがきつくなって、大変そうだと思う(他人事)。
	ない。	あまり好きじゃない。
	ない。	<b>立派だと思し、人間らしいと思います。</b>
	ない。	<b>代々続いている家で、本人が望むなら良いと思う。</b>
	ない。	お墓であれば堅苦しいなと思う。家業であれば大変そうだなと思う。
ない。	<b>あり得ると思う。</b>	
ない。	次男と結婚したから考えない。夫の両親に大きな財産はないので。あっても放棄しよう、と夫と話している。	



## Ⅲ. 総括

---

### 1. 調査結果のまとめ

#### (1) 経済力の低さが婚姻率・出生率に影響

- ◎特に男性において、年収の高さ、雇用の安定度（正規雇用）が、実際の婚姻率（p.9）や恋人との交際状況（p.11）、結婚観＝結婚への意欲（p.21、24）、相手を探そうとする意欲（p.35、36）に大きく影響していることがわかった。
- ◎なお、未婚男性は結婚や子育てにかかる金額を、相手となる未婚女性が考えている金額よりも（また、もしかすると実際にかかる金額よりも）大目に見積もりがちということもある（p.28、44）。
- ◎経済力のなさ（「経済力がない」という意識）は、直接的な「生活資金」「結婚式」が足りないことへの不安（p.32）だけではなく、特に非正規雇用者については「結婚相手にめぐり合うことは難しい」という諦め（p.33）、ひいては相手を探そうとする意欲の減退（p.35）にもつながっている。
- ◎経済力がないことは、本市の全国最低レベルの出生率の低さにも大きく影響していると考えられる（p.40、42）。
- ◎グループヒアリングでも、子どもをさらに持つ際の条件、子どもを3人以上持つ条件として「経済的なゆとり」「年収アップ」などが挙げられたように（p.75、78）、収入・経済的な要因が最も大きい。

#### (2) 結婚意欲は全国よりも低い

- ◎結婚したほうが良いと思う人の割合は全国と比べて低く、特に未婚男性20代が最も差が大きい（p.19）。
- ◎年収が低い方、正規雇用よりも非正規雇用の方が、結婚したほうが良いと考える人の割合が少なく（p.21）、経済的な要因が結婚意欲に影響を与えている。
- ◎未婚者が考える結婚相手にめぐり合う可能性について、全国と比べて低く、男性20代が最も差が大きい（p.33）。正規雇用よりも非正規雇用の方が、めぐり合うと思う人の割合は低く、経済的な要因が影響を与えていることが伺える。

#### (3) 恋愛・結婚意欲の低さの理由は人間関係の狭さ・希薄さ

- ◎恋愛に対しての構え方として、「いざ交際」となると結婚まで考える反面、自分から積極的に動かず受動的であるという像が見える（p.16、17）。また、前述したように、特に男性は結婚相手を探そうとする意欲が低い（p.34）。
- ◎ただそれは、自身のみの問題ではなく、恋愛相手や結婚相手を紹介してくれる人が友人関係や仕事関係にいない＝周辺の間人間関係が狭い・希薄であるためでもあると考えられる（p.17、18）。
- ◎そのため、結婚については、友人や知人の結婚や結婚生活、出産・子育てに触れたり聞いたりすることが少ないため、結婚したいという気持ちあまり起こらない（p.27）。
- ◎そういった状況を生む環境として、グループヒアリングで聞かれたように、札幌の「充実した都市環境」「娯楽があり便利」ということも影響しているかもしれない（p.66）。札幌は「リトル東京」と揶揄されることがあるが、東京と同様、都市の利便性が、人と人の交流を促進する方向ではなく、一人でもやっていける環境を（積雪期の外出の不便さとも相まって）作り出している側面が大きいのではないかと推測できる。

#### **（４）「子育てと仕事の両立」を望むが、女性は家計の担い手について男性を期待**

- ◎結婚し子どもを持ちながら、仕事を一生続けるもしくは子育て後に再び仕事を持つ「子育てと仕事の両立」を望む人は8割近くにのぼる。(p.46)
- ◎「結婚し子どもを持ちながら、仕事を一生続ける」ことを望む割合は男女ともに全国よりも低い。
- ◎「自分が家計を担うべき」と考える男性は全国と比較して少ない反面、女性は（全国と同程度ではあるが）男性よりも「夫が家計を担うべき」と考えている。
- ◎「夫が家計を担うべき」と考えている女性は早々に（20代のうちに）「家計を担える男性⇨家計を担おうと考える男性」を見つけて一緒になっている（p.49）。ただ、未婚のままの女性の理想は比較的高いため（32）、なかなか結婚まで進めない、という構図も見えてくる。
- ◎女性が相手に求める理想の高さについては「自分の物差しに合った相手と出会えない」「出会っても良い人がいない」という声がグループヒアリングでも聞かれた。(p.58)。

## 2. 婚姻率・出生率向上のための取組の方向性案

### **（１）「仕事と子育ての両立」には「子育て優先」も大切**

- ◎出産後に「カップルで経済的な問題を解消」するためには、子育て中の女性が就労しやすい環境整備（保育・教育、職場、就業制度等）が大切なことは言うまでもないが、その際に大切なことは、単に「子育て中にも就業できる」ことだけではない。グループヒアリングで、女性になるべく時間の融通が効く就業形態を選ぶ理由として「子どもの成長を最初に見たいから」「子どもに我慢させたくない」という意見が出されたように（p.82）、「子育て中の就業」には「子育てを優先」できることが大切である。
- ◎また、グループヒアリングで「出来るだけ仕事は続けたい」「働きたい気持ちを理解してほしい」といった意見が出されたように（p.69）、「お金を稼ぐため」というだけではなく、仕事を通じて社会と触れ合いたい気持ちを汲めることも大切である。  
これらのための制度・仕組みづくり、雰囲気づくりも求められる。

### **（２）「経済的な問題を解消するための結婚」の像を示す**

- ◎内閣府調査報告書でも示唆されている「経済的な問題を解消するための同棲・事実婚」に対する拒否反応は比較的薄かった（42）。
- ◎「そのためだけの同棲・事実婚」となると問題であるが、経済（収入）的にも助け合って幸せな結婚生活を送るカップルのあり方を示すことは有効ではないかと考えられる。
- ◎なお、本市の若者が結婚生活に必要と考えている年収の平均値は 462.8 万円（p.28）、結婚に踏み切ろうと決断する際の下限額は 300 万円（p.72）と考えられる。
- ◎また、2人の子どもを持つのに必要と考える年収の平均値は 623.3 万円（p.44）、持とうと踏み切る下限額は 400 万円と考えられる（p.88）。
- ◎行政施策として実施すべきかはさておき、上記の平均値以下（なるべく下限額近く）で結婚生活・子育てを行うための方策や工夫、ライフスタイル、事例などを示すことも取組としては考えられる。

### (3) 「出会い」「婚活」イベントより交流を広げる・深める取組・工夫を

- ◎婚姻率を上げる取組として、民間だけではなく行政でも近年「街コン」「婚活パーティー」などが行われている。しかし、グループヒアリングで「趣味や興味のあることの集まり」「特に特別なシチュエーションはなく、実生活で自然に惹かれ合えば良い」「「出会い」を前面に出しすぎている飲み会」といった意見が出されているように (p.61)、直接的に「出会い」「婚活」を目的としたイベントには拒否反応が少なからずある。また、前述したように、アンケート調査では本市の若者の結婚相手を探す意欲はあまり強くないという結果が出ている (p.34)。
- ◎また、グループヒアリングで、同じ「趣味や興味のあること (を持った人) の集まり」や、「(男女が) お互いを意識しない (しすぎない) ようなイベント」「自然に惹かれ合えば良い」など、自然・日常・普通の出会い方がより求められている (p.61)。
- ◎「婚活」「出会い系」の取組を否定するものではないが、そういったことを全面に出さない取組が有効であると考えられる。
- ◎それは何か特別なイベントを新たに行うということではなく、既存の取組にからめて若者等の参加者・関係者の交流を広げる、関係性を深めるという方向が望ましいのではないか。
- ◎例えば、本調査事業においては 20 数名の 20~30 代の男女を集めてグループヒアリングを行ったが、このような会合やワークショップと絡めて参加任意の交流会を実施する、引き続き交流を生むための連絡先の交換を促したり、そのための仕組みを設けるということが考えられる。
- ◎また、若者向けだけに限らないが、自発的なまちづくり活動や趣味、生涯学習、表現・芸術活動等を通じた交流を促すため、これらのために活用できる場の開設や、既存の場をより活用しやすくするための仕組みづくり、そういった場・仕組みを活用してもらうためのプロモーションなども考えられる。
- ◎なお、以上のような交流を生むための取組は、即効性を期待して短期的に行うべきものではなく、息長く続けていくべきものである。
- ◎このような交流が継続して行われることで、前述したような「若い女性が相手に求める理想の高さ＝男性に対する過度な期待」(p.32、58) も「すり合わせ」がなされたり、恋愛に対する消極性 (p.17) も緩和されていくと考えられる。

## IV. 資料

### 1. アンケート調査・調査票

#### 札幌市の出生率に関する市民アンケート調査

札幌市では、ここ数年のうちに人口減少が始まることを見込まれていることから、平成28年1月に「さっぽろ未来創生プラン」を策定いたしました。このプランでは、「安定した雇用を生み出す」と「結婚・出産・子育てを支える環境づくり」を基本目標に掲げ、将来の人口減少を緩和する対策を実施することとしています。

本アンケート調査は、20歳代、30歳代の若い世代の皆様が結婚や子どもを持つことについてどのような意識をお持ちなのかを伺い、今後札幌市が進める人口減少対策検討の基礎資料とするために実施するものです。

つきましては、ご多忙中とは存じますが、何卒ご協力をお願いいたします。

##### ◎調査の対象者

- ・札幌市内にお住まいの20代・30代の方。
- ・札幌市の住民基本台帳記載の情報に基づき、対象者を無作為抽出しお送りしています。

##### ◎ご回答にあたって

- ・原則として、封筒の宛名の方がご記入ください。
- ・ご回答は、選択肢の場合は当てはまる番号を○（マル）で囲んでください。
- ・（括弧）または下線で示す部分には具体的内容をご記入ください。
- ・調査票へのご回答は統計的に処理するため、個人が特定される形で公表されることはありません。
- ・調査票は平成28年6月17日（金）までに同封の返信用封筒にてご返送願います。（当日消印有効）
- ・このアンケートは、ウェブフォーム、Eメールにてご回答いただくことも可能です。PC、スマートフォンから <http://goo.gl/p86EeP> または下のQRコードにアクセスしてください。
- ・アンケート調査票の発送・回収・集計は、調査業務を委託した（株）ノーザンクロスが行います。
- ・調査結果の概要は平成29年1月頃に札幌市ホームページで公表する予定です。



##### ◎アンケートに関するお問合せ先：

###### ■調査業務受託者：株式会社ノーザンクロス（担当：井上、島崎）

電話：011-232-3661（※受付時間：平日9:00～18:00）

Eメール：shusshou@northerncross.co.jp

###### ■調査実施者：札幌市まちづくり政策局政策企画部企画課（担当：秋林、大森）

電話：011-211-2192（※受付時間：平日8:45～17:15）

この調査票は両面印刷です。次のページ（裏面）から設問が始まります

**あなたご自身のことについてお聞きします**

**Q1** あなたの性別を教えてください。

- |      |      |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

**Q2** あなたの年齢を教えてください。

- |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|
| 1 20～24歳 | 2 25～29歳 | 3 30～34歳 | 4 35～39歳 |
|----------|----------|----------|----------|

**Q3** あなたが現在お住まいの区を教えてください。

- |       |       |       |          |
|-------|-------|-------|----------|
| 1 中央区 | 4 白石区 | 7 清田区 | 10 手稲区   |
| 2 北区  | 5 厚別区 | 8 南区  | 11 他の市町村 |
| 3 東区  | 6 豊平区 | 9 西区  | ( )      |

**Q4** あなたの出身地を教えてください。

- |       |       |       |            |
|-------|-------|-------|------------|
| 1 中央区 | 4 白石区 | 7 清田区 | 10 手稲区     |
| 2 北区  | 5 厚別区 | 8 南区  | 11 道内の他市町村 |
| 3 東区  | 6 豊平区 | 9 西区  | 12 他の都道府県  |
|       |       |       | 13 国外      |

<Q4で「11～13」(出身地は札幌市以外)とお答えの方にお聞きします>

**Q5** あなたが札幌市に引っ越してこられた理由は何ですか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

- |                        |
|------------------------|
| 1 就職のため                |
| 2 転職のため (仕事が決まっていた)    |
| 3 求職のため (仕事が決まっていなかった) |
| 4 開業のため                |
| 5 転勤のため                |
| 6 住宅事情や生活環境上の理由        |
| 7 子育て環境上の理由            |
| 8 結婚又は離婚のため            |
| 9 通勤、通学が不便だったため        |
| 10 入学、進学、転校、受講のため      |
| 11 家族、親族と同居又は近くに住むため   |
| 12 家族、親族から独立 (別居) するため |
| 13 その他 ( )             |

**Q6** あなたは、結婚なさっていますか(事実婚を含む)。

- |                                      |
|--------------------------------------|
| 1 現在配偶者がいる                           |
| 2 現在配偶者はいないが、以前結婚していたことがある (離婚・死別など) |
| 3 現在配偶者はおらず、今まで結婚したことはない (未婚)        |

**Q7** あなたには、子どもが何人いらっしゃいますか。

- |      |      |        |
|------|------|--------|
| 1 0人 | 3 2人 | 5 4人   |
| 2 1人 | 4 3人 | 6 5人以上 |

**Q8** あなたのお仕事についてお尋ねします。

(A)お勤めの状況について教えてください。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 正規の職員・従業員	7 自家営業の手伝い（家族従業者）
2 パート・アルバイト	8 家庭内の賃仕事（内職）
3 契約社員	9 無職・家事専業
4 会社などの役員	10 学生
5 雇人のある自営業主	11 その他（ ）
6 雇人のない自営業主	

<(A)で1～8とお答えの方にお聞きします>

(B)職種について教えてください。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 管理職	7 農林漁業
2 専門・技術職	8 生産工程従事
3 事務職	9 輸送・機械運転
4 販売	10 建設・採掘
5 サービス	11 運搬・清掃・包装など
6 保安職	12 その他（ ）

<皆さんにお聞きします>

**Q9** あなたご自身の昨年の年収額を教えてください。

1 収入はない	7 500万円以上～600万円未満
2 100万円未満	8 600万円以上～800万円未満
3 100万円以上～200万円未満	9 800万円以上～1,000万円未満
4 200万円以上～300万円未満	10 1,000万円以上
5 300万円以上～400万円未満	11 わからない
6 400万円以上～500万円未満	

**Q10** あなたは、以下の生活項目について、日頃、1日に何時間くらいを費やしていますか。それぞれ平日と休日に分けて数字でお答えください。なお、当てはまらない場合は「0時間」とご記入ください。

	平日	休日
(A) 仕事（残業、通勤往復を含む）	_____時間	_____時間
(B) 家事	_____時間	_____時間
(C) 育児	_____時間	_____時間

**Q11** あなたの現在のお住まいは、あなたのご両親の家とどの程度離れていますか。

1 同居している
2 同じ敷地内の別棟に住んでいる
3 近居している（日常的に行き来できる距離）
4 遠くに住んでいる
5 両親はすでに亡くなっている

**Q12** あなたの現在のお住まいは、あなたの配偶者の(ご両)親の家とどの程度離れていますか。

- 1 同居している
- 2 同じ敷地内の別棟に住んでいる
- 3 近居している(日常的に行き来できる距離)
- 4 遠くに住んでいる
- 5 両親はすでに亡くなっている
- 6 配偶者はいない

**Q13** あなたの最終学歴(在学中・中退を含む)を教えてください。

- |            |               |
|------------|---------------|
| 1 中学校      | 5 短期大学・高等専門学校 |
| 2 高等学校     | 6 大学          |
| 3 専門学校(中卒) | 7 大学院         |
| 4 専門学校(高卒) |               |

**ここからは、あなたの配偶者の方についてお聞きします**

<「現在配偶者がいる」方にお聞きします>

**Q14** あなたの配偶者の現在のお仕事についてお聞きします。

(A)お勤めの状況について教えてください。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |             |                   |
|-------------|-------------------|
| 1 正規の職員・従業員 | 7 自家営業の手伝い(家族従業者) |
| 2 パート・アルバイト | 8 家庭内の賃仕事(内職)     |
| 3 契約社員      | 9 無職・家事専業         |
| 4 会社などの役員   | 10 学生             |
| 5 雇人のある自営業主 | 11 その他( )         |
| 6 雇人のない自営業主 | 12 配偶者はいない        |

<(A)で1~8とお答えの方へうかがいます>

(B)職種について教えてください。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |          |               |
|----------|---------------|
| 1 管理職    | 7 農林漁業        |
| 2 専門・技術職 | 8 生産工程従事      |
| 3 事務職    | 9 輸送・機械運転     |
| 4 販売     | 10 建設・採掘      |
| 5 サービス   | 11 運搬・清掃・包装など |
| 6 保安職    | 12 その他( )     |

<「現在配偶者がいる」方にお聞きします>

**Q15** あなた方ご夫婦の昨年の年収額(合算額)を教えてください。

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1 収入はない           | 7 500万円以上~600万円未満   |
| 2 100万円未満         | 8 600万円以上~800万円未満   |
| 3 100万円以上~200万円未満 | 9 800万円以上~1,000万円未満 |
| 4 200万円以上~300万円未満 | 10 1,000万円以上        |
| 5 300万円以上~400万円未満 | 11 わからない            |
| 6 400万円以上~500万円未満 |                     |



**ここからは、「恋人との交際」についてお聞きします**

<皆さんにお聞きします>

**Q16** あなたと恋人の方との交際状況について教えてください。

- |   |                           |       |
|---|---------------------------|-------|
| 1 | 現在交際している恋人がいる             | →Q17へ |
| 2 | 現在交際している恋人はいない(かつてはいた)    | →Q17へ |
| 3 | 現在交際している恋人はいない(まだ交際経験がない) | →Q18へ |
| 4 | すでに結婚している                 | →Q17へ |

<Q16で「1～2」恋人がいる(いたことがある)、または「4」すでに結婚している」とお答えの方にお聞きします>

**Q17** あなたと、配偶者、恋人の方とはどのようなきっかけでお知り合いになりましたか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

- |   |                     |    |          |
|---|---------------------|----|----------|
| 1 | 学校                  | 9  | 合コンやパーティ |
| 2 | 学校以外のサークルやクラブ活動・習い事 | 10 | 結婚相談所    |
| 3 | 職場や仕事の関係            | 11 | 街なかや旅行先  |
| 4 | 幼なじみ・隣人関係           | 12 | アルバイト先   |
| 5 | 地域の活動               | 13 | インターネット  |
| 6 | ボランティア活動            | 14 | その他      |
| 7 | 友人や兄弟姉妹を通じて         |    | (具体的に )  |
| 8 | 見合い(親戚・上司の紹介も含む)    |    |          |

<Q16で「3」現在交際している恋人はいない(まだ交際経験がない)」とお答えの方にお聞きします>

**Q18** あなたは今、恋人が欲しいですか。

- |   |    |       |   |     |       |
|---|----|-------|---|-----|-------|
| 1 | はい | →Q20へ | 2 | いいえ | →Q19へ |
|---|----|-------|---|-----|-------|

<Q18で「2 いいえ」とお答えの方にお聞きします>

**Q19** あなたが今、恋人が欲しいと思わない理由を教えてください。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |   |                   |
|---|-------------------|
| 1 | 仕事や勉強に力を入れたい      |
| 2 | 自分の趣味に力を入れたい      |
| 3 | 友人と過ごす時間を大切にしたい   |
| 4 | 過去に恋愛で失敗した        |
| 5 | 恋愛が面倒             |
| 6 | 恋愛に興味がない          |
| 7 | 他人と恋人として交際するのがこわい |
| 8 | その他 ( )           |

<皆さんにお聞きます>

**Q20** あなたが恋人として交際する上での不安は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |    |                                |
|----|--------------------------------|
| 1  | 気になる人がいても、どのように声をかけてよいかわからない   |
| 2  | どうしたら親しい人と恋人になれるのかわからない        |
| 3  | 恋愛交際の進め方がわからない                 |
| 4  | 恋人として交際するのがなんとなくこわくて、交際に踏み切れない |
| 5  | 過去の失恋経験からまた振られるのではないかと思う       |
| 6  | 自分は魅力がないのではないかと思う              |
| 7  | 自分が恋愛感情を抱くことができるのか不安だ          |
| 8  | そもそも出会いの場所がない                  |
| 9  | その他 ( )                        |
| 10 | 特になし                           |

**Q21** 恋愛に関するあなたの考えについて教えてください。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |    |                             |
|----|-----------------------------|
| 1  | 恋愛よりも勉強や仕事を優先したい            |
| 2  | 恋愛よりも趣味を優先したい               |
| 3  | 交際をすると相手との結婚を考える            |
| 4  | それほど好きではない人とも恋愛や交際をしてもかまわない |
| 5  | いつも恋愛をしていたい                 |
| 6  | 気になる相手には自分から積極的にアプローチをする    |
| 7  | 相手からアプローチがあれば考える            |
| 8  | 恋愛には興味がない                   |
| 9  | 恋愛は面倒だと感じる                  |
| 10 | 恋愛することに自信がない                |
| 11 | この中に当てはまるものはない              |

**Q22** あなたは交際相手との出会いを求めるために、どのようなことを行いたいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |   |                |    |                              |
|---|----------------|----|------------------------------|
| 1 | 友人に紹介を頼む       | 8  | お見合いをする                      |
| 2 | 職場の同僚や先輩に紹介を頼む | 9  | 民間の結婚支援事業を利用する               |
| 3 | 合コンやパーティに行く    | 10 | 地方自治体や NPO などの団体の結婚支援事業を利用する |
| 4 | ネットの婚活サイトを利用する | 11 | その他 ( )                      |
| 5 | 趣味のサークルに入る     | 12 | 特に何もしない                      |
| 6 | 資格取得のための学校に通う  |    |                              |
| 7 | 親や親戚に紹介を頼む     |    |                              |

**Q23** あなたの周囲に実際に、結婚相手の紹介を頼めるような人はいますか(いましたか)。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |   |       |   |         |
|---|-------|---|---------|
| 1 | (両) 親 | 6 | 職場の上司   |
| 2 | 兄弟姉妹  | 7 | 近所の人    |
| 3 | 親戚    | 8 | その他 ( ) |
| 4 | 友人    | 9 | 特にいない   |
| 5 | 職場の同僚 |   |         |

ここからは、「結婚」についてお聞きします

Q24 あなたは、結婚についてどのようにお考えですか。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1 必ずしたほうが良い   | 3 無理してしなくても良い |
| 2 できればしたほうが良い | 4 しなくて良い      |

Q25 あなたは、世間では結婚はどのように考えられていると思いますか。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1 必ずしたほうが良い   | 3 無理してしなくても良い |
| 2 できればしたほうが良い | 4 しなくて良い      |

Q26 あなたは、ご自身の結婚の時期について、どのように考えていますか。

- |                |              |
|----------------|--------------|
| 1 すでに結婚している    | 4 いずれは結婚したい  |
| 2 すぐにでも結婚したい   | 5 結婚するつもりはない |
| 3 2～3年以内に結婚したい | 6 わからない      |

<Q26 で「1～4」(すでに結婚している、将来結婚したい)とお答えの方にお聞きします>

Q27 あなたが結婚したい(したかった)理由を教えてください。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                              |
|------------------------------|
| 1 家族を持ちたい                    |
| 2 子どもが欲しい                    |
| 3 好きな人と一緒にいたい                |
| 4 やすらぎが欲しい・一人で寂しい            |
| 5 家事の負担を減らしたい                |
| 6 両親や親戚を安心させたい               |
| 7 経済的な安定を得たい                 |
| 8 社会的に認められたい                 |
| 9 老後に一人でいたくない                |
| 10 適齢期だと思っている                |
| 11 子どもが生まれるのであれば結婚したほうが良いと思う |
| 12 その他 ( )                   |

<Q26 で「1～4」(すでに結婚している、将来結婚したい)とお答えの方にお聞きします>

Q28 あなたが、結婚相手に望むことは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| 1 価値観が近いこと       | 10 一緒にいて気をつかわないこと  |
| 2 家事分担           | 11 容姿が好みであること      |
| 3 家事や家計をまかせられること | 12 経済力があること        |
| 4 恋愛感情           | 13 親が同意してくれること     |
| 5 共通の趣味があること     | 14 年齢              |
| 6 職種             | 15 自分の仕事を理解してくれること |
| 7 学歴             | 16 自分の親と同居してくれること  |
| 8 金銭感覚           | 17 その他 ( )         |
| 9 一緒にいて楽しいこと     | 18 特にない            |

<皆さんにお聞きます>

**Q29** あなたは、あなたの周囲でどのようなことがあると、ご自身の結婚を強く意識しますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                            |  |
|----------------------------|--|
| 1 親や家族から結婚するよう言われる         |  |
| 2 職場の人や仕事の関係者から結婚について聞かれる  |  |
| 3 友人・知人・近所の人などから結婚について聞かれる |  |
| 4 周りの友人・知人が次々と結婚や出産をする     |  |
| 5 友人の幸せな結婚や家庭の様子を感じる       |  |
| 6 周囲から幸せな結婚の話聞く            |  |
| 7 その他 ( )                  |  |
| 8 結婚を強く意識することはない           |  |

**Q30** あなたが結婚生活をスタートさせるにあたって必要だと思う夫婦の年収は、どのくらいだとお考えですか。

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1 収入は関係ない         | 7 500万円以上～600万円未満   |
| 2 100万円未満         | 8 600万円以上～800万円未満   |
| 3 100万円以上～200万円未満 | 9 800万円以上～1,000万円未満 |
| 4 200万円以上～300万円未満 | 10 1,000万円以上        |
| 5 300万円以上～400万円未満 | 11 わからない            |
| 6 400万円以上～500万円未満 |                     |

**「結婚」と「仕事」についてお聞きます**

<皆さんにお聞きます>

**Q31** 結婚した女性の働き方についてご意見をうかがいます。あなたが女性の場合はあなたご自身の希望する働き方を、あなたが男性の場合は配偶者の方に希望する働き方を、結婚や子供の状況別にそれぞれお答えください。

	(1) 急な残業もあるフルタイムの仕事	(2) ないフルタイムだが残業の	(3) 融通がきく仕事	(4) フルタイムだが時間のパート・アルバイト	(5) 家でできる仕事	(6) 仕事は持たず、家事・育児に専念する
(A) 結婚して子どもがいない時→	1	2	3	4	5	6
(B) 末子が3歳以下の時→	1	2	3	4	5	6
(C) 末子が4歳以上小学校入学前の時→	1	2	3	4	5	6
(D) 末子が小学生の時→	1	2	3	4	5	6
(E) 末子が中学生の時→	1	2	3	4	5	6

**ここからは、未婚の方へ「結婚」についてお聞きします**

<未婚の方(Q6 で「3 現在配偶者はおらず、今まで結婚したことはない」とお答えの方)にお聞きします>

**※既婚の方(離婚された方含む)は、Q36 にお進みください。**

**Q32** あなたが現在結婚していない理由を教えてください。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 適当な相手にめぐり合わないから
- 2 自由や気楽さを失いたくないから
- 3 結婚後の生活資金が足りないと思うから
- 4 雇用が安定していないから
- 5 結婚の必要性を感じないから
- 6 結婚資金が足りないから
- 7 趣味や娯楽を楽しみたいから
- 8 異性とうまくつきあえないから
- 9 まだ若すぎるから
- 10 仕事が忙しすぎるから
- 11 仕事を優先したいから
- 12 住宅のめどが立たないから
- 13 親や周囲が同意しないから
- 14 結婚するつもりはないから
- 15 その他 ( )

**Q33** あなたは、今後、結婚相手にめぐり合う可能性について、どのようにお考えですか。

- 1 必ずあると思う
- 2 どちらかといえばあると思う
- 3 どちらかといえば難しいと思う
- 4 かなり難しいと思う

**Q34** あなたは、今後、結婚相手にめぐり合わないとき、どうしますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 結婚相手に求める条件を譲歩・変更する
- 2 いろいろな方法を使って、結婚相手を探す
- 3 いままで対象外だった人たちも含めて結婚相手を探す
- 4 その他 ( )
- 5 無理に結婚することはしない
- 6 特に何もしない

**Q35** あなたは、何歳くらいまでに結婚していなかったら、結婚に向けた積極的な対応をとると思いますか。

- 1 \_\_\_\_\_歳くらいになったら (具体的な年齢を記入)
- 2 特に何歳までとは考えていない
- 3 わからない
- 4 特に行動はしない

**ここからは、「子ども」や「育児」についてお聞きします**

<皆さんにお聞きします>

**Q36** あなたは、子どもを、あと何人くらい欲しいですか。

※現在子どもがいる方は、今の子どもの数を除いて、これから欲しいと思う子どもの人数をお答えください。

1	0人	3	2人	5	4人
2	1人	4	3人	6	5人以上

<Q36で「1 0人」とお答えの方)にお聞きします>

**Q37** あなたが、(これ以上)子どもが欲しくないと思うのはなぜでしょうか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |    |                              |
|----|------------------------------|
| 1  | 今の家族構成に満足している                |
| 2  | ひとりひとりに十分手をかけて育てたい           |
| 3  | 仕事にさしきわりの出そう・仕事を続けるのが難しくなりそう |
| 4  | 配偶者の家事・子育てへの協力が期待できない        |
| 5  | 親の協力が期待できない                  |
| 6  | 保育サービスを利用できない                |
| 7  | 経済的に難しい                      |
| 8  | 育児にかかる費用が心配                  |
| 9  | 将来の教育費が心配                    |
| 10 | 住居が狭い                        |
| 11 | 自分や夫婦だけの時間がとれない              |
| 12 | 子どもと一緒に過ごす時間を十分にとれない         |
| 13 | 子育てをする体力がない                  |
| 14 | その他 ( )                      |
| 15 | 特にない                         |

<皆さんにお聞きします>

**Q38** あなたは、世間では子どもを実際に何人くらい欲しいと考えていると思いますか。

1	0人	3	2人	5	4人
2	1人	4	3人	6	5人以上

**Q39** あなたが、子育てで不安に思っていることは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 子育てするのが大変そう
- 2 仕事をしながら子育てすることが難しそう
- 3 きちんとした子どもに育てられるか自信がない
- 4 仕事にさしさわりがでそう
- 5 配偶者の家事・子育てへの協力が期待できない
- 6 親の協力が期待できない
- 7 保育サービスを利用できない
- 8 経済的にやっていけるか
- 9 自分や夫婦だけの時間がとれない
- 10 子どもと一緒に過ごす時間を十分にとれない
- 11 子育てをする体力がない
- 12 その他 ( )
- 13 特になし

**Q40** あなたは、あなたの周囲でどのようなことがあると、ご自身が子どもを持つことを意識しますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 親や家族から子どもをもつよう言われる
- 2 職場の人や仕事の関係者から子どもについて聞かれる
- 3 友人・知人・近所の人などから子どもについて聞かれる
- 4 周りの友人・知人が次々と結婚や出産をする
- 5 友人の幸せな結婚や家庭の様子を感じる
- 6 周囲から幸せな子どもの話を聞く
- 7 その他 ( )
- 8 子どもを持つことを意識することはない

**Q41** あなたは、実際に欲しい人数の子どもを持つにあたって必要だと思う夫婦の年収は、どのくらいとお考えですか。

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1 収入は関係ない         | 7 500万円以上～600万円未満   |
| 2 100万円未満         | 8 600万円以上～800万円未満   |
| 3 100万円以上～200万円未満 | 9 800万円以上～1,000万円未満 |
| 4 200万円以上～300万円未満 | 10 1,000万円以上        |
| 5 300万円以上～400万円未満 | 11 わからない            |
| 6 400万円以上～500万円未満 |                     |

次のページ（裏表紙）が最後のページです



ここからは、理想とする結婚後の仕事や家事・育児についてお聞きます

**Q42** あなたは、女性の生き方についてどのように考えていますか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける
- 2 結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ
- 3 結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない
- 4 結婚するが子どもは持たず、仕事を一生続ける
- 5 結婚せず、仕事を一生続ける
- 6 上記のどれにも当てはまらない

**Q43** あなたは、結婚生活において、夫婦の間で家計をどのように担うのが良いと思いますか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 夫が家計の担い手となる
- 2 どちらかという夫が家計の主な担い手となる
- 3 どちらも同じくらい
- 4 どちらかという妻が家計の主な担い手となる
- 5 妻が家計の担い手となる

以下はグループヒアリング調査へのご参加のお願いです

- ・札幌市では、今回のアンケート調査結果を踏まえ、結婚や子どもを持つことについてのお考えを直接お聞きするためのグループヒアリング調査を行います。
- ・グループヒアリング調査は9月いずれかの土日祝日の午後に、中央区内の会議室にて行います。所要時間は3時間程度、気軽なワークショップ形式で行う予定です。
- ・ご参加いただいた方には3,000円の謝礼を差し上げます。
- ・グループヒアリング調査にご参加いただける方は、下記に連絡先のご記入をお願いいたします。
- ・ご参加者として選定させていただいた方には、8～9月に本調査業務の受託者である(株)ノーザンクロスより連絡をさせていただきます。(※選定されなかった方には連絡を差し上げません。ご了承ください)

<b>【お名前】</b> (フリガナ)	<b>【年齢】</b>  歳
<b>【ご住所】</b> 〒	
<b>【連絡先】</b> 電話： Eメール：	

※電話番号は日中の連絡が可能な番号を、Eメールアドレスはパソコンからの送信メールを受信可能なアドレスをご記入願います。

アンケート調査はこれで終了です。ご協力ありがとうございました  
ご記入いただいた調査票は平成28年6月17日(金)までに投函してください

## 2. アンケート調査・ウェブページ、アンケートフォーム

札幌市の出生率に関する市市民アンケート調査 ご協力のお願い

札幌市では、ここ数年のうちに人口減少が始まることが見込まれていることから、平成28年1月に「さっぽろ未来創生プラン」を策定いたしました。このプランでは、「安定した雇用を生み出す」と「結婚・出産・子育てを支える環境づくり」を基本目標に掲げ、将来の人口減少を緩和する対策を実施することとしています。

本アンケート調査は、20歳代、30歳代の若い世代の皆様が結婚や子どもを持つことについてのどのような意識をお持ちなのかを伺い、今後札幌市が進める人口減少対策検討の基礎資料とするために実施するものです。

つきましては、ご多忙中とは存じますが、何卒ご協力をお願いいたします。

※この調査は、札幌市から業務を受託した株式会社ノーザンクロスが回答の集計を行います。  
※調査結果は統計的に処理するため、個人が特定される形で公開されることは一切ございません。

**調査の対象者**

- 札幌市にお住まいの20代～30代の方  
※札幌市の住民基本台帳記載の情報に基づき、対象者を無作為抽出しています。

**ご回答にあたって**

- 原則として、調査対象者として選出された方がご回答ください。  
※調査対象者以外の方によるご回答はご遠慮下さい。
- インターネットでご回答いただく場合、郵送された調査票により重複してご回答されないようご注意ください。
- また、すでに郵送された調査票にてご回答いただいた方は、インターネットにより重複してご回答されないようお願い申し上げます。

**回答方法**

(1) web上で回答する  
こちらのリンクより、アンケート回答フォームのページへお進みください。  
※外部サイトへ移動します。

(2) Wordファイルのアンケート調査票に回答を書き込み、メールで返信する  
ダウンロード (Word)

【返信先】  
メールアドレス：shusshou@northerncross.co.jp  
(株式会社ノーザンクロス 担当：井上、島崎 宛)

(3) PDFファイルのアンケート調査票を印刷して回答を書き込み、郵送で返信する。  
(または、回答をスキャンしたデータか撮影した画像をメールで返信する)

ダウンロード (PDF)

【返信先】  
郵送：〒060-0041 札幌市中央区大通東2丁目3-1  
第36桂和ビル7階 株式会社ノーザンクロス 宛

メールアドレス：shusshou@northerncross.co.jp  
(株式会社ノーザンクロス 担当：井上、島崎 宛)

**アンケート締切日**

平成28年6月17日 (金)

<アンケートに関するお問い合わせ先>

【調査業務受託者】株式会社ノーザンクロス  
担当：井上、島崎  
電話：011-232-3661  
Eメール：shusshou@northerncross.co.jp

【調査業務実施者】札幌市まちづくり政策局政策企画部企画課  
担当：秋林、大森  
電話：011-211-2192

札幌市の出生率に関する市 〓

← → ↻ 🏠 [https://questant.jp/q/2016\\_shusshou#page1](https://questant.jp/q/2016_shusshou#page1) 🔍 ☆ ☰

札幌市の出生率に関する市民アンケート調査

01 / 050

**Q1. 【あなたご自身のことについてお聞きします】**

あなたの性別を教えてください。  
【必ず回答】

男性  
 女性

**Q2. あなたの年齢を教えてください。**  
【必ず回答】

20～24歳  
 25～29歳  
 30～34歳  
 35～39歳

**Q3. あなたが現在お住まいの区を教えてください。**  
【必ず回答】

中央区  
 北区  
 東区  
 白石区  
 厚別区  
 豊平区  
 清田区  
 南区  
 西区  
 手稲区  
 他の市町村

**Q4. あなたの出身地を教えてください。**  
【必ず回答】

中央区  
 北区  
 東区  
 白石区  
 厚別区  
 豊平区  
 清田区  
 南区  
 西区  
 手稲区  
 市内の他市町村  
 他の都道府県  
 国外

### 3. グループヒアリング調査・説明資料

**札幌市の出生率に関する意識調査  
グループヒアリング**

日時：平成28年9月17日（土）14:00～17:00  
場所：道特会館 5階大会議室A  
主催：札幌市  
司会・運営：株式会社ノーザンクロス



0

**本日のプログラム**

1. 開会・主催者挨拶
2. 主催・運営スタッフの紹介
3. ガイダンス
4. グループヒアリング

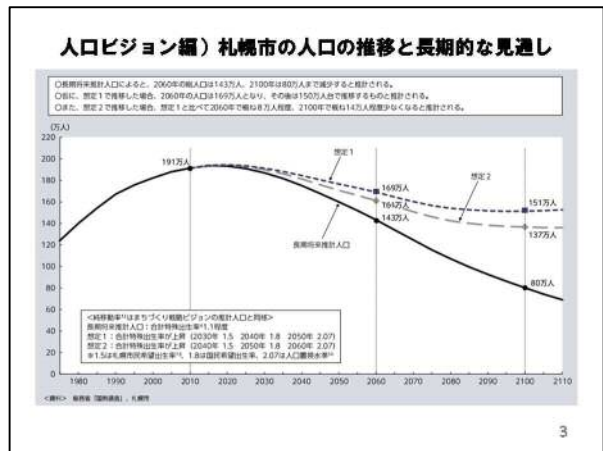
1

**意識調査の背景**

国の「地方創生」の方針を受けて、札幌市では平成28年1月に「さっぽろ未来創生プラン」を策定



2



**総合戦略(編) 基本目標と未来創生アクション**

**基本目標1**

安定した雇用を生み出す

(1) 札幌市産業の競争力強化【分野別】  
(2) 札幌市産業を支える基盤づくり【業種横断的】  
(3) 地域が必要とする人材の育成・定着

**基本目標2**

結婚・出産・子育てを支える環境づくり

(1) 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援  
(2) 子どもへの支援の充実  
(3) 子育てを支える社会の形成

※施策の柱ごとにKPIを設定

**未来創生アクション**

グローバル展開

まちの魅力アップ

若者の希望実現

安心子育て

人材の育成

4

**意識調査の目的**

20歳代、30歳代の若い世代の皆様が結婚や子どもを持つことについてどのような意識をお持ちなのかを伺い、今後札幌市が進める人口減少対策検討の基礎資料とするために実施するものです。

5

**意識調査の目的**

20歳代、30歳代の若い世代の皆様が結婚や子どもを持つことについてどのような意識をお持ちなのかを伺い、今後札幌市が進める人口減少対策検討の基礎資料とするために実施するものです。

5

**グループヒアリングの目的**

アンケート調査結果を踏まえ、20歳代、30歳代の方が、恋愛や結婚、子どもを持つことについてどのように考えているのか、深掘りしてお聞きすること。

※アンケート調査＝定量調査  
ヒアリング調査＝定性調査

6



## 回答についてのお願い

1. 「世間一般」ではなく「自分自身」のこととして回答してください。
2. 自分が（現在）該当しない場合は、「知人・友人」で該当する人、または、自分の過去を思い返して回答してください。
3. できるだけ具体的に回答してください。
4. 正直にご回答願います。

## 回答の書き方

イニシャル

設問番号

友人・知人についての場合は FriendのF

選択肢の番号

書ききれなければ 2枚、3枚になっても可

8

## ワークシート

9

とても大切！

## ワークショップの掟

- 其の一 頭に浮かんだことは、些細なことでも、「ちょっと違うかも」と思っても、**恥ずかしながら言ってみること**
- 其の二 人の話は途中でさえぎらず**よく聞くこと**
- 其の三 人の言ったことを**批判したり茶化したりしないこと**
- 其の四 他の人が発言できるよう、**発言は短めに**すること
- 其の五 **気軽に明るく楽しく取り組むこと。**

10

## 5. グループヒアリング・ヒアリング票

### 0. 導入の質問です！

Q01. (1) 自分はコミュカある方だと思う？

- ①ある
- ②どちらかと言えばある方
- ③どちらかと言えばない方
- ④ない

(2) どんなところが？

Q02. (1) ずばり、今一番ほしいものは？

(2) その理由は？

### 1. 恋愛についてお聞きします！

Q11. (1) 恋人がいない人は、なぜ恋愛しないの？（恋愛したくない？ 恋愛よりも大切なことがある？ 自分に自信がない？ 出会いの機会がない？）

(2) どうすれば恋人を作ろうとするの？

Q12. (1) どんな「出会い方」が理想？

(2) 【恋人がいる人・既婚】実際はどんな「出会い方」だった？

(3) どんな「出会いの場」があれば参加したいと思う？

（例えば、合コン、婚活パーティー、出会いサイト・サービスについてはどう思う？ どういうふうだったら／どういうふうに誘われたら参加したい？）

### 2. 結婚についてお聞きします！【未婚用】

Q21. 全国と比較して札幌市の20・30代が「結婚しなくてもよい」と考えているのはなぜだと思う？  
（札幌市 38.0%、全国 30.9%〔都市部 34.7%、地方部 29.3%〕）

Q22. (1) 夫婦の家計の担い方として、どれが望ましいと思う？

- ①主に夫が担う
- ②（妻も担うが）夫がより担う
- ③両方が均等に担う
- ④（夫も担うが）妻がより担う
- ⑤主に妻が担う

(2) そうするのが良いと思う最も大きな理由は？

#### 【未婚】

Q23. (1) 結婚生活をスタートさせるのに最低限必要と思う世帯年収はだいたいいくらだと思う？  
（10万円単位で）。

(2) その根拠は？（例：自分と彼女の年収を合わせるとそれくらいだから、〇〇が必要になるから、××で見たから）

(3) それは今の自分（+恋人）の年収と比較してどう？

- ①相当高い
- ②少し高い
- ③少し低い
- ④相当低い

### 2. 結婚についてお聞きします！【既婚用】

Q21. 全国と比較して札幌市の20・30代が「結婚しなくてもよい」と考えているのはなぜだと思う？  
（札幌市 38.0%、全国 30.9%〔都市部 34.7%、地方部 29.3%〕）

Q22. (1) 夫婦の家計の担い方として、どれが望ましいと思う？

- ①主に夫が担う
- ②（妻も担うが）夫がより担う
- ③両方が均等に担う
- ④（夫も担うが）妻がより担う
- ⑤主に妻が担う

(2) そうするのが良いと思う最も大きな理由は？

#### 【既婚】

Q23. (1) 結婚生活スタート時の世帯年収は、だいたいいくらだった？（10万円単位で）。

(2) それは今から振り返るとどうだった？

- ①十分だった
- ②ちょうどだった
- ③少し足りなかった
- ④足りなかった

3. 子どもを持つことについてお聞きします！

- Q31. (1) 子どもは何人持ちたい？ (2) それはなぜ？
- Q32. (1) 自分が子どもを3人以上持つことについて  
①真剣に考えたことがある  
②想像したことはある  
③想像したこともない
- (2) 3人以上持つことについて改めて想像すると  
①ぜひほしい  
②どちらかと言えばほしい  
③どちらかと言えばほしくない  
④ほしくない
- (3) どのような条件がどの程度クリアされれば3人以上持ちたいと思う？ あるいはなぜほしくないの？
- Q33. 子どもができてからの妻（母親）の働き方はアンケートで聞きました（ふせんには書かなくて良いです。発表だけ）。何が理由でそう思うの？（経済面？子育ての面？ライフスタイルのイメージ？）
- Q34. (1) 2人の子どもの持つのに最低限必要と思う世帯年収はいくら？  
(2) その根拠は？（例：〇〇が必要になるから、××で見たから）  
(3) それは今の自分（+恋人・配偶者）の年収と比較してどう？  
①相当高い ②少し高い ③少し低い  
④相当低い

4-1. また、結婚についてお聞きします！

- Q41. (1) 「自分一人だけだと収入が少ないから、誰かと夫婦になってやりくりを楽にしよう・子どもを持てるようになるろう」という考え方について、考えたことが ある ない？  
(2) そういう考えについて、どう思う？
- Q42. (1) 結婚のプレッシャーって ある ない？  
(2) それはどこに住む誰からのプレッシャー？  
(3) その結果、結婚についてどう考えている？（どの程度、行動・モチベーションにつながっている？逆に重荷になっている？）  
(※既婚者については、そういうことがあったか、なかったか。あった結果、どうだったか)
- Q43. (1) 子どもを持つことについてのプレッシャーって ある ない？  
(2) それはどこに住む誰からのプレッシャー？  
(3) その結果、子どもを持つことについてどう考えている？（どの程度、行動・モチベーションにつながっている？逆に重荷になっている？）  
(※子どもがいる人については、そういうことがあったか、なかったか。あった結果、どうだったか)
- Q44. (1) 「家を継ぐために結婚する」と考えたことはある？  
(2) そういった考え方についてどう思う？